

# 2020年度

## 事業実績報告書

### < 法人本部 >

#### < 障がい者施設 >

##### 【北広島リハビリセンター】

北広島リハビリセンター更生部  
北広島リハビリセンター療護部  
北広島リハビリセンター診療部  
のびのびファイン

##### 【地域サポートセンターみなみ】

障がい福祉サービス事業所みなみ  
障がい児通所支援事業所みなみ  
障がい者生活支援センターみらい  
障がい相談支援事業所みなみ

#### < 高齢者施設 >

##### 【北広島地域サポートセンター四恩園】

北広島リハビリセンター特養部四恩園  
北広島ショートステイ四恩園  
北広島デイサービスセンター四恩園  
デイホームさとみ  
デイホームかたる  
北広島団地地域交流ホームふれて  
北広島市みなみ高齢者支援センター

##### 【北広島団地地域サポートセンターともに】

北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園  
北広島居宅介護支援事業所四恩園  
北広島訪問看護ステーション四恩園  
北広島グループホーム四恩園  
北広島複合型サービス四恩園  
サービス付き高齢者向け住宅しおん

# 目 次

<p>基本理念 … 1</p> <p>2020年度社会福祉法人北海長正会事業実績 … 2</p> <p>法人役員等名簿（2021年3月31日現在） … 4</p> <p>2020年度理事会・評議員会・監事会開催状況 … 5</p> <p>経営委員会（経営会議）開催状況 … 11</p> <p>運営委員会（幹部会議）開催状況 … 15</p> <p>サービス検討委員会（障がい者施設）開催状況 … 18</p> <p>サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況 … 19</p> <p>2020年度資金収支決算報告書 … 20</p> <p><b>【障がい者施設関係】</b></p> <p>1. 運営管理 (1) 職員の状況 … 24</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 職員研修実施状況 … 27</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) ボランティア受入状況 … 29</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 面会者状況 … 29</p> <p style="padding-left: 20px;">(5) 施設見学等受入状況 … 30</p> <p style="padding-left: 20px;">(6) 実習生(研修生)受入状況 … 30</p> <p style="padding-left: 20px;">(7) 2020年度施設行事等実施状況 … 31</p> <p>2-1. 利用者支援状況（更生部） … 32</p> <p>2-2. 利用者支援状況（療護部） … 35</p> <p>2-3. 利用者支援状況（短期入所） … 38</p> <p>2-4. ADL状況 … 39</p> <p>2-5. 食事量形態別食数 … 40</p> <p>2-6. 院外受診状況表 … 41</p> <p>2-7. 理学療法実施状況 … 42</p> <p>2-8. 作業療法実施状況 … 43</p> <p>2-9. 言語療法実施状況 … 43</p> <p>2-10. 自助具制作状況 … 43</p> <p>2-11. 外来患者月別実績表 … 44</p> <p>3. 在宅福祉サービス事業実績状況 … 44</p> <p>4-1. 利用者支援状況（障がい福祉サービス） … 45</p> <p>4-2. 利用者支援状況（障がい児通所支援） … 47</p> <p>5. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況 … 48</p> <p>6-1. リスクマネジメント報告（更生部・療護部） … 51</p> <p>6-2. リスクマネジメント報告（福祉サービス・障がい児通所） … 52</p> <p>2020年度事業総括 … 53</p>		<p><b>【高齢者施設関係】</b></p> <p>1. 運営管理 (1) 職員の状況 … 68</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 職員研修状況 … 70</p> <p>2. 事業実施状況 … 72</p> <p>(1) 特養部 1) 施設サービス利用者状況 … 72</p> <p style="padding-left: 20px;">2) 施設サービス行事等実施状況 … 75</p> <p style="padding-left: 20px;">3) ボランティア受入状況 … 76</p> <p style="padding-left: 20px;">4) 四恩園面会者数 … 76</p> <p style="padding-left: 20px;">5) 家族ボランティア報告 … 76</p> <p>・特別養護老人ホーム 要介護度別利用者状況 … 77</p> <p>3. 在宅福祉サービス事業実施状況 … 78</p> <p>・短期入所生活介護要介護度別利用状況 … 78</p> <p>・デイサービスセンター要介護度別利用状況 … 79</p> <p>・デイホームかたる要介護度別利用状況 … 80</p> <p>・デイホームさとみ要介護度別利用状況 … 81</p> <p>・ホームヘルプサービス要介護度別利用状況(定期巡回) … 82</p> <p>・ホームヘルプサービス要介護度別利用状況(介護保険) … 83</p> <p>・ホームヘルプサービス要介護度別利用状況(自立支援法) … 84</p> <p>・居宅介護支援事業所要介護度別利用状況 … 85</p> <p>・訪問看護ステーション要介護度別利用状況 … 86</p> <p>・複合型サービス要介護度別利用状況 … 87</p> <p>・グループホーム要介護度別利用状況 … 88</p> <p>・サービス付き高齢者向け住宅要介護度別利用状況 … 89</p> <p>4-1. 北広島市みなみ高齢者支援センター 相談実施報告① … 90</p> <p>4-2. 北広島市みなみ高齢者支援センター 相談実施報告② … 91</p> <p>5-1. 2020年度ふれて・ともにコンデション体操・スマホ相談 … 92</p> <p>5-2. 2020年度ふれて・ともにミニ講座動画一覧表 … 93</p> <p>6. 2020年度地域交流ホームふれて 来場者数 … 94</p> <p>7. 2020年度地域サポートセンターともに 地域交流スペース利用状況 … 95</p> <p>2020年度事業総括 … 96</p> <p>2020年度高齢者施設リスクマネジメント結果 … 108</p>
--	--	---

# 基本理念

施設の信条 < 信頼 > < 恕(思いやり) > < 和 >

社会福祉法人北海長正会は、「ノーマライゼーションの理念」と「自立支援」を基調とし、施設サービス及び在宅サービスの機能を有効に活用し、お客様本位のサービスの提供により要援護者の「基本的人権」「人間としての尊厳」「自己実現」が保たれ、サービス機能の向上を図り、地域の福祉サービスの拠点として一人一人が生きがいを持ち、心豊かな安心した生活が送れるよう、「生活の質」の充実に努めることを基本理念とします。

基本理念を形骸化させないため、職員は施設の信条と共に次の6項目を実践します。

## 1. 【お客様に喜んでもらえるように】

私たちは、お客様本位のサービス提供を実践し「かかりつけ施設」としての信頼を高め、お客様に喜んでもらえるよう誠心誠意努めます。

## 1. 【お客様の役に立てるように】

私たちは、福祉倫理・知識・技術の修得を怠ること無く、自己啓発に励み、お客様の役に立てるようその向上に努めます。

## 1. 【地域に求められる資源として】

私たちは、サービスが地域の方々の生活を支え、無くてはならない資源として求められるサービスを提供できるようその実践に努めます。

## 1. 【力が出る「ほうれんそう」】

私たちは、お客様の役に立つために、一人一人の力を全体の力とするため報告・連絡・相談を徹底しチームワークの結束に努めます。

## 1. 【地域の資源の活用とつながり】

私たちは、お客様のニーズ充足のために関係機関・職種との連携に努め、地域の資源を活用し必要なサービスの提供に努めます。

## 1. 【信頼は接し方から】

私たちは、「同じ目線の高さ」「さわやかなあいさつと笑顔」「声がけ」「聞き手に回る」お客様との日々の接し方が信頼を生むことを知り、その実践に努めます。

## 2020年度主要課題について

### 1. 法人を取り巻く情勢と課題

#### (1) 働き手を確保するための新たな取り組み

「外国人留学生制度」を活用した外国人介護人材の受け入れについては、残念ながら世界中にまん延した新型コロナウイルス感染症によりミャンマーからの入国は遅れ当法人への就職も1年先送りとなった。関係者の努力により2020年12月に無事入国、2021年4月から専門学校で学業をスタートさせた。卒業となる2年後が楽しみである。星槎道都大学のインターンシップ制度による就業学生数は徐々増え当法人にとって今や貴重な人材である。学生は就業体験の場であるが、この機会を通してこの仕事の魅力を伝えることを忘れてはならない。

従来の求人、求職のマッチングだけではなく、ホームページ、SNS等の活用や職業説明会などに参加し、福祉の仕事の魅力や当法人の取り組みを積極的に発信してきた。そのかいあって、採用にたどり着くケースも増えてきている。この取り組みは今後も継続していく。

#### (2) 感染症防止対策の強化に向けて

世界的大流行となった新型コロナウイルスは出現から1年が経過した。国内においては変異ウイルスの出現などから未だに予断を許さない状況にある。当法人においては、在宅サービスをご利用いただいているお客様がコロナウイルスに感染したという事例があったが、幸い他のお客様や職員に感染が拡大することはなかった。

コロナ禍で人との繋がりが断たれ孤立したり、感染に対する恐れから介護サービスの利用を控えるという問題が起きている。在宅ではフレイルを引き起こす危険性が高まった1年であった。また入所施設においては、面会自粛や外出・外泊の禁止といったことから今までとは違う生活を強いられることとなった。ワクチン接種が普及し、感染に対する恐怖から一日も早く解放されることを望みたい。いかなる感染症も「持ち込まない・拡げない・持ち出さない」を基本に感染症防止対策を法人が一丸となって取り組んでいかなければならない。

### 2. 法人事業の課題

#### (1) 人材の確保・育成・定着に向けた働き方改革

2021年4月制定に向け既存の各種規程の改正及び新たな規程制定を行った。主旨としては、①当法人事業の拡大（縮小）に伴う規程の見直し・追加、②働き方改革関連法など法律の改正に即した各種規程の見直し、③各種規程と業務実態と合っていない箇所への対応、④多様な働き方や働きやすい環境整備に向けたものである。コロナウイルスの出現によって、医療機関・福祉施設で働く者の感染リスクやストレスなどについても対応していかなければならない。働きがいのある職場、魅力あふれる職場、安全・安心な職場づくりを目指していく。

#### (2) 障がい者施設、高齢者施設の大規模改修工事に向けて

地域サポートセンター四恩園の工事内容は、給水・給湯配管の更新、浴槽設備の更新、暖房配管更新、厨房設備更新を予定している。工事期間中は浴室、厨房設備が一定期間使用できないばかりか工事に伴う騒音、粉塵、断水等の問題を抱え、高齢のお客様に相当な混乱と不安を強いることとなる。これらの諸問題を回避する方法として、特養部のお客様については北広島リハビ

リセンターの空き部屋を利用し、デイサービス四恩園ご利用のお客様については地域サポートセンターともに活動室を活用する。以上から障がい者施設の大規模改修工事は先送りし四恩園の大規模改修工事後とした。工事計画は双方の制度（介護保険法、障がい者総合支援法）の運営基準に関わることから、今後も所轄機関とサービス提供の方法について十分協議を行い進めていく。

### （３）地域の福祉サービスの拠点として

障がい者施設で４月にスタートさせたリハビリ特化型通所介護「のびのびファイブ」は、上半期こそ新型コロナウイルスのまん延時期と重なり利用登録者数は伸び悩んだが、下半期においては登録者数が増加傾向にある。コロナウイルスに翻弄されたい年であったが、地域の障がい者（児）、高齢者が抱える生活課題や多様化・複雑化する福祉ニーズに対して、法人が有する専門性やケアの力で最期まで住み慣れた地域で安心した暮らしが継続できるよう地域住民、自治体とともに三位一体となって事業の推進に努めていかなければならない。

## 3. 2020年度決算状況概要

2020年度決算における収益状況は当法人の主力財源となる介護保険事業収益が前年度から約3.3%の増加となる一方、障害福祉サービス等事業収益が約7.5%、減少したことにより法人全体でのサービス活動収益は前年度を約1.2%下回る実績となっている。

当該年度における特徴としては障がい者施設における取組の中で前年度より事業の休止を行ってきた「障がい相談支援事業みなみ」を2020年6月末で廃止した他、当法人のグランドデザインに基づき、「北広島リハビリセンター更生部」を2021年3月末で廃止し、同一施設種別である「北広島リハビリセンター療護部」へ移管したことが挙げられる。また新型コロナウイルス感染症の影響により通所系並びに訪問系事業の利用減少が散見され、収益面での低下が顕著に表れた年度であるといえる。障害福祉サービス等収益の減少は主に障がい者支援施設のグランドデザインに基づく取組の中で施設利用者現員数の調整に伴う稼働率の低下がその一因である他、通所系事業の中核施設である「障がい福祉サービス事業所みなみ」のコロナ禍による利用控え、新規事業である地域密着型通所介護「のびのびファイブ」の開始時から上半期にかけての利用の低迷が想定外の事由として収益面に影響が及んだものとして捉えている。このことから2020年度は障がい者施設での減収を高齢者施設の増収で補う形で推移したものと考えている。一方で対応するサービス活動費用については前年度から約3%増で推移している。感染症の予防と拡大を回避する上で対策費の増大は否めない状況であるといえる。その他の特徴としては障がい者施設において、積立資産から24,800千円の取り崩しを行い、資金面での対策として措置したことが挙げられる。

最終的な決算として資金収支計算上での当期資金収支差額は△18,228千円となり、事業活動計算上の当期活動増減差額は△34,057千円を計上したことで前期より純資産を55,591千円減少させた実績となっている。次年度でも引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策をさらに強化し、安心して利用できる体制の構築が急務である。財政面においては更生部を移管した障がい者支援施設である療護部を段階的に障害程度区分の調整を図りながら、利用稼働率を引き上げて増収を図ることや高齢者施設の利用稼働率がさらに安定した状態で維持できるよう、取り組むことにしたい。

# 法人役員等名簿

## 【理事・監事】 < 理事：7名、監事：2名 >

2021年3月31日現在

	役職名	氏名	役員初就任年月日	今期(第23期)任期	備考
1	理事長	三瓶 徹	2000.10.18	2019.6.20～※	代表権有 2018.8.30理事長就任
2	常務理事	中川 浩一	2016.10.18	2019.6.20～※	
3	理事	中村 琢哉	2010.10.18	2019.6.20～※	
4	理事	石黒 絵里	2010.10.18	2019.6.20～※	
5	理事	對馬 伸泰	2016.10.18	2019.6.20～※	
6	理事	神部 健史	2016.10.18	2019.6.20～※	
7	理事	長澤 邦彦	2019. 6.20	2019.6.20～※	
1	監事	高 畠 徹	2017. 4. 1	2019.6.20～※	
2	監事	前田 泰則	2016.10.18	2019.6.20～※	

※選任後2年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

## 【評議員】 < 評議員：8名 >

2021年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第9期)任期	備考
1	安宅 鋭治	2010. 4. 1	2017. 4. 1～※	
2	姉崎 重延	2010.10.18	2017. 4. 1～※	
3	小江 久恵	2008. 4. 1	2017. 4. 1～※	
4	河井 芳樹	2017. 4. 1	2017. 4. 1～※	
5	酒井 喜代司	2008. 4. 1	2017. 4. 1～※	
6	富田 政義	2002. 4. 1	2017. 4. 1～※	
7	野村 幸宏	2017. 4. 1	2017. 4. 1～※	
8	吉田 俊文	2010. 4. 1	2017. 4. 1～※	

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

## 【評議員選任解任委員】 < 委員 5名 >

2021年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第1期)任期	備考
1	高 畠 徹	2017. 4. 1	2017.4. 1～ ※	法人 監事
2	前田 泰則	2017. 1.12	2017.1.12～ ※	法人 監事
3	市川 茂春	2017. 1.12	2017.1.12～ ※	外部 委員
4	三木 千晶	2017. 1.12	2017.1.12～ ※	外部 委員
5	齊藤 久男	2017. 1.12	2017.1.12～ ※	法人 事務局

※選任後4年以内に終了する会計年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

## 【苦情解決第三者委員】 < 障がい者施設：2名、高齢者施設：2名 >

2021年3月31日現在

	氏名	初就任年月日	今期(第11期)任期	備考
1	桂 靖恵	2010. 4. 1	2020. 4. 1～2022. 3.31	障がい者施設担当
2	福原 淑子	2020. 4. 1	2020. 4. 1～2022. 3.31	障がい者施設担当
1	島谷 清張	2018. 4. 1	2020. 4. 1～2022. 3.31	高齢者施設担当
2	藤野 紀代子	2018. 4. 1	2020. 4. 1～2022. 3.31	高齢者施設担当

## 2020年度 理事会・評議員会・監事会開催状況

### <理事会開催状況>

#### 【第192回理事会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2020年6月9日付(全理事同意承認年月日・全監事確認年月日)  
同意者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事  
確認者 高島監事 前田監事  
提案者 三瓶理事長  
記録 中川常務理事  
内容 <決議事項>

1. 福祉現場におけるハラスメント対応規程の制定について
2. 令和3年度社会福祉施設等施設整備費補助金の申請について
3. 障がい相談支援事業所みなみの事業廃止手続きについて
4. 経理規程の一部改正について
5. 2019年度事業実績報告の審議について
6. 2019年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
7. 2019年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
8. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
9. 2020年度第60回評議員会(定時評議員会)の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 2020年度事業計画の一部見直しについて
3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
4. 外国人留学生受入に係る経過報告について

#### 【第193回理事会】

日時 2020年9月8日(火) 15:30 ~ 17:00  
場所 地域サポートセンターともに 活動室  
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事  
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の定員変更について
2. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
3. 2020年度第61回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 各種規程の見直しについて
2. 法人監事による内部監査報告について
3. 理事の職務執行状況報告について  
(2019年度第4四半期及び2020年度第1四半期の本部・施設運営状況報告)
4. 令和3年度社会福祉施設等整備費補助事業の延期について
5. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
6. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業申請について
7. 外国人留学生受入に係る経過報告について
8. 令和2年7月豪雨の義援金について
9. ふるさと企業大賞の内示について
10. 高齢者施設元利用者ご家族からの損害賠償請求について

#### 【第194回理事会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2020年12月1日付(全理事同意承認年月日・全監事確認年月日)  
同意者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事  
確認者 高島監事 前田監事  
提案者 三瓶理事長  
記録 中川常務理事  
内容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の事業廃止手続きについて
2. 高齢者・障がい者施設の大規模修繕工事について
3. 2020年度第62回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 定年の延長について
3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
4. いきいきライフ(通所型サービスA)の定員変更について
5. 令和2年度介護ロボット導入支援事業費補助金の内示について
6. 外国人留学生受入に係る経過報告について
7. ふるさと企業大賞の受賞について

【第195回理事会】

日時 2021年3月9日(火) 15:30 ~ 17:00  
場所 地域サポートセンターともに 活動室  
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事  
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 役員等報酬規程の一部改正について
3. 経理規程の一部改正について
4. 北広島リハビリセンター更生部の廃止に伴う基本財産等の移管について
5. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算(案)の審議について
6. 2021年度事業計画(案)の審議について
7. 2021年度法人会計各拠点区分収支予算(案)の審議について
8. 北広島リハビリセンター特養部四恩園の大規模改修工事について
9. 北広島リハビリセンター更生部の廃止に伴う施設長の解任について
10. 地域サポートセンターみなみの施設長の選任について
11. 2020年度第63回評議員会の招集について

<報告事項>

1. 法人監事による内部監査報告について
2. 理事の職務執行状況報告について  
(2020年度第2四半期及び第3四半期の本部・施設運営状況報告)
3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
4. 石狩振興局からの社会福祉推進功労者に対する感謝状の授与について
5. 2021年度長期勤続職員の表彰について

【臨時理事会】

日時 2021年3月23日(火) 15:30 ~ 16:50  
場所 地域サポートセンターともに 活動室  
出席者 三瓶理事長 中川常務理事 中村理事 石黒理事 對馬理事 神部理事 長澤理事  
高島監事 前田監事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 <提案趣旨> 就業規則及び諸規程改定の趣旨について

<決議事項>

1. 管理規則の一部改正について
2. 就業規則の一部改正について
3. パート職員就業規程の一部改正について
4. 給与規程の一部改正について
5. 育児休業等に関する規則の一部改正について
6. 介護休業等に関する規則の一部改正について
7. 正職員B就業規程の制定について
8. 再雇用職員就業規程の制定について
9. 嘱託職員就業規程の制定について
10. 車両管理規程の制定について



## <評議員会開催状況>

### 【第60回評議員会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2020年6月25日付(全評議員同意及び承認年月日)

同意者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員  
野村評議員 吉田評議員

提案者 三瓶理事長

記録 中川常務理事

内容 <決議事項>

1. 福祉現場におけるハラスメント対応規程の制定について
  2. 令和3年度社会福祉施設等施設整備費補助金の申請について
  3. 障がい相談支援事業所みなみの事業廃止手続きについて
  4. 経理規程の一部改正について
  5. 2019年度事業実績報告の審議について
  6. 2019年度決算に係る計算書類及び財産目録の審議について
  7. 2019年度決算に係る社会福祉充実残額の審議について
  8. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
- <報告事項>
1. 2020年度事業計画の一部見直しについて
  2. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
  3. 外国人留学生受入に係る経過報告について

### 【第61回評議員会】

日時 2020年9月24日(木) 15:00 ~ 16:30

場所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 野村評議員  
吉田評議員

三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 富田評議員

内容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の定員変更について
  2. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算案の審議について
- <報告事項>
1. 各種規程の見直しについて
  2. 理事の職務執行状況報告について
  3. 令和3年度社会福祉施設等整備費補助事業の延期について
  4. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
  5. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業申請について
  6. 外国人留学生受入に係る経過報告について
  7. 令和2年7月豪雨の義援金について
  8. ふるさと企業大賞の内示について
  9. 高齢者施設元利用者ご家族からの損害賠償請求について

### 【第62回評議員会】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による決議の省略(みなし決議)

年月日 2020年12月17日付(全評議員同意及び承認年月日)

同意者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員  
野村評議員 吉田評議員

提案者 三瓶理事長

記録 中川常務理事

内容 <決議事項>

1. 北広島リハビリセンター更生部の事業廃止手続きについて
  2. 高齢者・障がい者施設の大規模修繕工事について
- <報告事項>
1. 定年の延長について
  2. 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
  3. いきいきライフ(通所型サービスA)の定員変更について
  4. 令和2年度介護ロボット導入支援事業費補助金の内示について
  5. 外国人留学生受入に係る経過報告について
  6. ふるさと企業大賞の受賞について

【第63回評議員会】

日 時 2021年3月25日(木) 15:00 ~ 17:00

場 所 地域サポートセンターともに 活動室

出席者 安宅評議員 姉崎評議員 小江評議員 河井評議員 酒井評議員 富田評議員

野村評議員 吉田評議員

三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

内 容 <決議事項>

1. 定款の一部変更について
2. 役員等報酬規程の一部改正について
3. 経理規程の一部改正について
4. 北広島リハビリセンター更生部の廃止に伴う基本財産等の移管について
5. 2020年度法人会計各拠点区分収支補正予算(案)の審議について
6. 2021年度事業計画(案)の審議について
7. 2021年度法人会計各拠点区分収支予算(案)の審議について
8. 北広島リハビリセンター特養部四恩園の大規模改修工事について
9. 北広島リハビリセンター更生部の廃止に伴う施設長の解任について
10. 地域サポートセンターみなみの施設長の選任について

<報告事項>

1. 各種諸規程等の制定及び一部改正について
2. 理事の職務執行状況報告について
3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策とその経過について
4. 石狩振興局からの社会福祉推進功労者に対する感謝状の授与について
5. 2021年度長期勤続職員の表彰について

## <監事会(法人内部監査等)開催状況>

### 【第187回監事会(法人内部監査)】

日時 2020年6月2日(火) 14:30 ~ 17:00  
日時 北広島リハビリセンター 会議室  
出席者 高島監事 前田監事  
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 ① 第192回理事会の議案内容確認  
② 理事・評議員の職務執行状況(2020年1月~3月分)  
③ 2019年度事業実績状況  
④ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)  
⑤ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況  
⑥ 2019年度決算状況(計算書類・附属明細書・社会福祉充実残額他)  
⑦ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)  
⑧ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)  
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他  
⑩ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)  
⑪ 契約関係全般  
⑫ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

### 【第188回監事会(法人内部監査)】

日時 2020年9月1日(火) 14:00 ~ 16:50  
場所 北広島リハビリセンター 会議室  
出席者 高島監事 前田監事  
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 ① 第193回理事会の議案内容確認  
② 理事・評議員の職務執行状況(2020年4月~6月分)  
③ 障がい者施設のグランドデザインに伴う利用状況  
④ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)  
⑤ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況  
⑥ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)  
⑦ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)  
⑧ 各種証憑書類等の精査及び照合他  
⑨ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)  
⑩ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

### 【第189回監事会(法人内部監査)】

日時 2020年11月24日(火) 14:00 ~ 16:30  
場所 北広島リハビリセンター 会議室  
出席者 高島監事 前田監事  
立会者 三瓶理事長 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席  
欠席者 なし  
内容 ① 第194回理事会の議案内容確認  
② 理事・評議員の職務執行状況(2020年7月~9月分)  
③ 障がい者施設のグランドデザインに伴う利用状況  
④ 事業費補助事業の状況  
⑤ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)  
⑥ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況  
⑦ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)  
⑧ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)  
⑨ 各種証憑書類等の精査及び照合他  
⑩ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)  
⑪ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

### 【第190回監事会(法人内部監査)】

日 時 2021年3月5日(金) 14:00 ~ 16:30

場 所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 高島監事 前田監事

立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

- 内 容
- ① 第195回理事会の議案内容確認
  - ② 理事・評議員の職務執行状況(2020年10月~12月分)
  - ③ 障がい者施設のグランドデザインに伴う利用状況
  - ④ 2020年度予算補正及び決算見込状況の確認
  - ⑤ 2021年度事業計画案及び当初予算案の確認
  - ⑥ 法人・施設運営及び管理状況(利用者処遇他)
  - ⑦ 法令・定款・諸規程の整備及び遵守状況
  - ⑧ 会計処理状況(会計伝票、総勘定元帳、現金預金出納帳他)
  - ⑨ 資産及び負債残高確認(現金預金、固定資産、積立資産、借入金他)
  - ⑩ 各種証憑書類等の精査及び照合他
  - ⑪ 利用者預り金の管理状況(残高、出納、記帳、保管方法等)
  - ⑫ 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防・拡大防止対策

### 【臨時監事会(各種規程審議)】

日 時 2021年3月16日(火) 14:00 ~ 16:30

場 所 北広島リハビリセンター 会議室

出席者 高島監事 前田監事

立会者 中川常務理事 神部理事 他法人事務局員5名同席

欠席者 なし

- 内 容
- ① 臨時理事会の議案内容確認及び精査
    - ・管理規則の一部改正
    - ・就業規則の一部改正
    - ・パート職員就業規則の一部改正
    - ・給与規程の一部改正
    - ・育児休業等に関する規則の一部改正
    - ・介護休業等に関する規則の一部改正
    - ・正職員B就業規程の制定
    - ・再雇用職員就業規程の制定
    - ・嘱託職員就業規程の制定
    - ・車両管理規程の制定

経営委員会（経営会議）開催状況 2020年度実績

日 時	議 題
2020年4月22日（水） 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 外国人留学生について 4. 新型コロナウイルスの対応について 5. ふるさと企業大賞の候補事業者に対する調査について <報告事項> 1. 職員代表の選出結果について 2. 特定処遇改善加算の申請について 3. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 4. 介護職員資格取得支援制度利用の募集について 5. 在籍状況について 6. 3月の実績状況について 7. 新型コロナウイルスの影響について 8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について 9. 各サービス事業所の動向と課題
2020年5月27日（水） 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 賞与（6月分）について 3. 法人事業委員会の進捗状況について 4. 福祉現場におけるハラスメント対応規程について 5. 新型コロナウイルスの対応について 6. 処遇改善加算・特定処遇改善加算の支給について <報告事項> 1. 社会福祉施設等における事故発生時の報告事務取扱要領の一部改正について 2. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 3. 人事について 4. 在籍状況について 5. 4月の実績状況について 6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について 7. 各サービス事業所の動向と課題
2020年6月24日（水） 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<検討事項> 1. 財務等の報告について 2. 法人事業委員会の進捗状況について 3. 基本理念の変更について 4. 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の対応について 5. 新型コロナウイルス感染者発生時の対応について 6. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について 7. 新型コロナウイルス感染症に伴う各学校等からの実習生受入れについて 8. 職員送迎バス運行時間の変更について 9. 令和2年豪雨災害に対する義援金について 10. 更生部定員の変更について <報告事項> 1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 2. 職員異動等に伴う委員会メンバーの補充について 3. 星槎道都大学介護職員初任者研修について 4. 人事等について 5. 在籍状況について 6. 5月の実績状況について 7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について 8. 各サービス事業所の動向と課題

日 時	議 題
2020年7月29日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の対応について</li> <li>4. 新型コロナウイルス感染者の対応について</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について</li> <li>6. 送迎バス運行時間の変更について</li> <li>7. 令和2年7月豪雨被害に対する義援金について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 法人合同福祉セミナーの開催について</li> <li>3. 人事等について</li> <li>4. 在籍状況について</li> <li>5. 6月の実績状況について</li> <li>6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>7. 各サービス事業所の動向と課題</li> </ol>
2020年8月26日(水) 10:30～12:00 出席者 6名 欠席者 1名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. コロナ禍におけるこれからの法人事業について</li> <li>4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に係る交付申請について</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染症に対する保険対応について</li> <li>7. 新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設等への応援職員派遣協力について</li> <li>8. 職員代表の選任について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 法人合同福祉セミナーの開催について</li> <li>3. 特養元利用者家族からの損害賠償請求に伴う示談交渉の結果について</li> <li>4. 星槎道都大学介護初任者研修について</li> <li>5. 人事について</li> <li>6. 在籍状況について</li> <li>7. 7月の実績状況について</li> <li>8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>9. 各サービス事業所の動向と課題</li> </ol>
2020年9月25日(水) 9:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 2020年度事業計画(上半期)ヒアリングについて</li> <li>4. 新型コロナウイルスによる感染拡大防止策について</li> <li>5. グループホームにおける新型コロナウイルス感染疑いの対応について</li> <li>6. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について</li> <li>7. 経営会議メンバーによるICT活用の取り組みについて</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 令和2年度介護ロボット導入支援事業費補助金の内示について</li> <li>3. 法人合同福祉セミナーの開催について</li> <li>4. 地域密着型通所介護「のびのびファイン」運営推進会議の開催について</li> <li>5. 障がい者施設第6回サービス検討委員会の開催について</li> <li>6. 北海道民間社会福祉事業職員共済会からの「感謝応援の品」について</li> <li>7. サッポロシニアライオンズクラブからの大根寄贈(収穫作業)について</li> <li>8. 人事等について</li> <li>9. 在籍状況について</li> <li>10. 8月の実績状況について</li> <li>11. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>12. 各サービス事業所の動向と課題</li> </ol>

日 時	議 題
2020年10月28日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 北広島リハビリセンター特養部四恩園大規模改修工事について</li> <li>4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 法人合同福祉セミナーの開催について</li> <li>3. 「いきいきライフ」(介護予防・日常生活支援総合事業)の定員変更について</li> <li>4. 優良安全運転管理事業所表彰について</li> <li>5. 人事について</li> <li>6. 在籍状況について</li> <li>7. 9月の実績状況について</li> <li>8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>9. 各サービス事業所の動向と課題</li> </ol>
2020年11月25日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 北広島リハビリセンター更生部の事業廃止手続きについて</li> <li>4. 「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の一部改正について</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 北広島市令和2年度実地指導計画と年度別実地指導対象事業所について</li> <li>3. 人事について</li> <li>4. 在籍状況について</li> <li>5. 10月の実績状況について</li> <li>6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>7. 各サービス事業所の動向と課題</li> </ol>
2020年12月23日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 定年延長について</li> <li>4. 「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の一部改正について</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> <li>6. ZOOMを利用する研修への参加方法について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 人事等について</li> <li>3. 在籍状況について</li> <li>4. 11月の実績状況について</li> <li>5. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> <li>6. 各サービス事業の動向と課題について</li> </ol>
2021年1月27日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 2021年度理事会・評議員会等の予定について</li> <li>4. 報酬改定に伴い、法人として取り組むことについて</li> <li>5. 北広島リハビリセンター特養部四恩園大規模改修工事について</li> <li>6. 法人が所有する土地・建物(市内大曲緑ヶ丘1丁目14番地27)の活用について</li> <li>7. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> <li>8. 新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>9. 当法人の診療体制について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉推進功労者に対する感謝状贈呈式について</li> <li>2. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>3. 介護福祉士資格取得支援制度について</li> <li>4. 人事等について</li> <li>5. 各サービス事業の動向と課題について</li> <li>6. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> </ol>

日 時	議 題
2021年2月24日(水) 14:00～15:30 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 法人諸規程の改正並びに制定について</li> <li>4. 新規採用職員研修について</li> <li>5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> <li>6. 新型コロナウイルスワクチン接種について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 四恩園大規模改修工事について</li> <li>3. 2020年度分処遇改善加算の支給について(障がい者施設関連)</li> <li>4. 介護報酬改定に伴う加算算定作業について(高齢者施設関連)</li> <li>5. 人事等について</li> <li>6. 各サービス事業の動向と課題について</li> <li>7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> </ol>
2021年3月24日(水) 10:30～12:00 出席者 7名 欠席者 0名	<p>&lt;検討事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務等の報告について</li> <li>2. 法人事業委員会の進捗状況について</li> <li>3. 法人諸規程の改正について</li> <li>4. 2021年度法人事業執行委員会(案)について</li> <li>5. 2021年度各種委員会(案)について</li> <li>6. 2021年度事業計画ヒアリングについて</li> <li>7. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について</li> <li>8. 新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>9. 介護報酬改定に伴う身体拘束適正化委員、虐待防止委員、安全管理(リスクマネジメント委員)について</li> <li>10. 資格取得支援事業について</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況</li> <li>2. 四恩園大規模改修工事について</li> <li>3. 長期勤続表彰職員について</li> <li>4. 職員送迎バスの運行時間の変更について</li> <li>5. 人事等について</li> <li>6. 各サービス事業の動向と課題について</li> <li>7. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について</li> </ol>



運営委員会(幹部会議)開催状況 2020年度実績

日 時	議 題
2020年4月24日(金) 9:30～11:00 出席者 16名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 2020年度事業方針、事業計画のヒアリングについて 3. 新型コロナウイルス感染症の対応について 4. 外国人留学生の状況について 5. 職員代表の選出結果について 6. 職員健康診断について 7. 特定処遇改善加算について 8. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 9. 介護職員資格取得支援制度について 10. 職員福利事業について 11. 人事等について 12. 各サービス事業の動向と課題について 13. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年5月29日(金) 9:30～11:00 出席者 16名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 賞与(6月分)について 3. ヒアリングの実施について 4. 福祉現場におけるハラスメント対応規程について 5. 新型コロナウイルスの対応について 6. 処遇改善加算・特定処遇改善加算の支給について 7. 社会福祉施設等における事故発生時の報告事務取扱要領の一部改正について 8. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 9. 人事等について 10. 各サービス事業の動向と課題について 11. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年6月26日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 1名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の対応について 3. 新型コロナウイルス感染者発生時の対応について 4. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について 5. 職員送迎バス運行時間の変更について 6. 令和2年豪雨災害に対する義援金について 7. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 8. 更生部定員の変更について 9. 人事等について 10. 各サービス事業の動向と課題について 11. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年7月31日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後の対応について 3. 新型コロナウイルス感染者の対応について 4. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について 5. 送迎バス運行時間の変更について 6. 令和2年7月豪雨被害に対する義援金について 7. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 8. 法人合同福祉セミナーの開催について 9. 人事等について 10. 各サービス事業の動向と課題について 11. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について

日 時	議 題
2020年8月28日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. コロナ禍におけるこれからの法人事業について 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 4. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業に係る交付申請について 5. 新型コロナウイルス感染症に対する保険対応について 6. 新型コロナウイルス感染症に係る社会福祉施設等への応援職員派遣協力について 7. 職員代表の選任について 8. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 9. 特養元利用者家族からの損害賠償請求に伴う示談交渉の結果について 10. 星槎道都大学介護初任者研修について 11. 人事等について 12. 各サービス事業の動向と課題について 13. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年9月30日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 2020年度事業計画(上半期)ヒアリングについて 3. 新型コロナウイルスによる感染拡大防止策について 4. グループホームにおける新型コロナウイルス感染疑いの対応について 5. 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業について 6. 経営会議メンバーによるICT活用の取り組みについて 7. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 8. 令和2年度介護ロボット導入支援事業費補助金の内示について 9. 地域密着型通所介護「のびのびファイン」運営推進会議の開催について 10. 人事等について 11. 各サービス事業の動向と課題について 12. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年10月30日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 北広島リハビリセンター特養部四恩園大規模改修工事について 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 4. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 5. 法人合同福祉セミナーの開催について 6. 「いきいきライフ」(介護予防・日常生活支援総合事業)の定員変更について 7. 優良安全運転管理事業所表彰について 8. 人事等について 9. 各サービス事業の動向と課題について 10. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年11月27日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 北広島リハビリセンター更生部の事業廃止手続きについて 3. 「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の一部改正について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 6. 介護保険法報酬改定の動向について 7. 障害者総合支援法報酬改定の動向について 8. 人事等について 9. 各サービス事業の動向と課題について 10. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2020年12月25日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 定年延長について 3. 「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」の一部改正について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. ZOOMを利用する研修への参加方法について 6. 人事等について 7. 各サービス事業の動向と課題について 8. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について

日 時	議 題
2021年1月29日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 報酬改定に伴い、法人として取り組むことについて 3. 北広島リハビリセンター特養部四恩園大規模改修工事について 4. 法人が所有する土地・建物(市内大曲緑ヶ丘1丁目14番地27)の活用について 5. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 6. 新型コロナウイルスワクチン接種について 7. 当法人の診療体制について 8. 社会福祉推進功労者に対する感謝状贈呈式について 9. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 10. 介護福祉士資格取得支援制度について 11. 人事等について 12. 各サービス事業の動向と課題について 13. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2021年2月26日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 法人諸規程の改正並びに制定について 3. 新規採用職員研修について 4. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 5. 新型コロナウイルスワクチン接種について 6. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 7. 四恩園大規模改修工事について 8. 2020年度分処遇改善加算の支給について(障がい者施設関連) 9. 介護報酬改定に伴う加算算定作業について(高齢者施設関連) 10. 人事等について 11. 各サービス事業の動向と課題について 12. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について
2021年3月26日(金) 9:30～11:00 出席者 15名 欠席者 0名	<議題> 1. 事業の推移と財務等の報告について 2. 法人諸規程の改正について 3. 2021年度法人事業執行委員会(案)について 4. 2021年度各種委員会(案)について 5. 2021年度事業計画ヒアリングについて 6. 新型コロナウイルス感染拡大防止策について 7. 新型コロナウイルスワクチン接種について 8. 資格取得支援事業について 9. 障がい者施設グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクト委員会進捗状況 10. 四恩園大規模改修工事について 11. 長期勤続表彰職員について 12. 職員送迎バスの運行時間の変更について 13. 人事等について 14. 各サービス事業の動向と課題について 15. 事業別事故及びヒヤリハット等の状況について

サービス検討委員会(障がい者施設)開催状況 2020年度実績

日 時	議 題
<p>第4回サービス検討委員会 2020年4月22日(水)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止 対策による書面報告及び審議</p>	<p>&lt;議題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業の実績状況について               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 北広島リハビリセンター更生部</li> <li>2) 北広島リハビリセンター療護部</li> <li>3) 北広島リハビリセンター診療部</li> <li>4) 障がい児通所支援事業所みなみ</li> <li>5) 障がい福祉サービス事業所みなみ</li> <li>6) 障がい者生活支援センターみらい</li> <li>7) 障がい者施設共通事項</li> </ol> </li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の対応について</li> <li>3. 次回委員会の開催予定について</li> </ol>
<p>第5回サービス検討委員会 2020年7月29日(水)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止 対策による書面報告及び審議</p>	<p>&lt;議題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業の実績状況について               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 北広島リハビリセンター更生部</li> <li>2) 北広島リハビリセンター療護部</li> <li>3) 北広島リハビリセンター診療部</li> <li>4) 障がい児通所支援事業所みなみ</li> <li>5) 障がい福祉サービス事業所みなみ</li> <li>6) 障がい者生活支援センターみらい</li> <li>7) 障がい者施設共通事項</li> </ol> </li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の対応について</li> <li>3. 次回委員会の開催予定について</li> </ol>
<p>第6回サービス検討委員会 2020年10月28日(水) 14:00～15:30 出席者 9名 欠席者 6名</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止 対策により9名で開催</p>	<p>&lt;議題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業の実績状況について               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 北広島リハビリセンター更生部</li> <li>2) 北広島リハビリセンター療護部</li> <li>3) 北広島リハビリセンター診療部</li> <li>4) 障がい児通所支援事業所みなみ</li> <li>5) 障がい福祉サービス事業所みなみ</li> <li>6) 障がい者生活支援センターみらい</li> <li>7) 障がい者施設共通事項</li> </ol> </li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の対応について</li> <li>3. 次回委員会の開催予定について</li> </ol>
<p>第7回サービス検討委員会 2021年1月27日(水)</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止 対策による書面報告及び審議</p>	<p>&lt;議題&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業の実績状況について               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 北広島リハビリセンター更生部</li> <li>2) 北広島リハビリセンター療護部</li> <li>3) 北広島リハビリセンター診療部</li> <li>4) のびのびファイン</li> <li>5) 障がい児通所支援事業所みなみ</li> <li>6) 障がい福祉サービス事業所みなみ</li> <li>7) 障がい者生活支援センターみらい</li> <li>8) 障がい者施設共通事項</li> </ol> </li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症の対応について</li> <li>3. 次回委員会の開催予定について</li> </ol>

サービス検討委員会（高齢者施設）開催状況 2020 年度実績

日 時	議 題
<p>第 79 回サービス検討委員会 2020 年 4 月 23 日（木） 新型コロナウイルス拡大 により中止 書面にて確認</p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業実施状況と事故、ヒヤリハット、ペリアゴーゲ報告</li> <li>2. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について</li> </ol> <p>&lt;外部委員より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペリアゴーゲに対してスタッフ全員で共有してほしい。それが家族や利用者が望んでいることの理解につながるのではないかと。</li> <li>・自身の健康管理だけでも大変なところ利用者への配慮への努力に敬意を表したい。</li> </ul>
<p>第 80 回サービス検討委員会 2020 年 7 月 30 日（木） 新型コロナウイルス拡大 により中止 書面にて確認</p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業実施状況と事故、ヒヤリハット、ペリアゴーゲ報告</li> <li>2. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について</li> </ol> <p>&lt;外部委員より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを縮小することなく永続していることへの謝辞</li> </ul>
<p>第 81 回サービス検討委員会 2020 年 10 月 29 日（木） 出席者 19 名 欠席者 0 名</p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業実施状況と事故、ヒヤリハット、ペリアゴーゲ報告</li> <li>2. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について</li> <li>4. 高齢者施設元利用者家族からの損害賠償請求とその顛末</li> </ol> <p>&lt;外部委員より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防げる事故と防げない事故があり、入所時からそのことを丁寧に説明することが大切との意見がある</li> </ul>
<p>第 82 回サービス検討委員会 2021 年 1 月 21 日（木） 新型コロナウイルス拡大 により中止 書面にて確認</p>	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各事業実施状況と事故、ヒヤリハット、ペリアゴーゲ報告</li> <li>2. 特養入所待機状況及び入居優先順位、入所判定</li> <li>3. 新型コロナウイルス感染症に伴う対策について</li> <li>4. デイホームかたる利用者の陽性反応にともなう対応について</li> <li>5. 石狩管内特別養護老人ホームクラスター発生の伴う職員派遣について</li> </ol> <p>&lt;外部委員より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応が大変になることが原因かは不明だが些細なヒヤリハットの数が増えているような気がする。職員の負担の大きさがうかがえると気遣う意見がある。</li> </ul>

2020年度資金収支決算報告書  
(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

No.1

<法人本部・障がい者施設>

(単位 円)

収支区分及び科目	拠点区分	法人本部	更生部	療護部	のびのびファン	診療部	小計①	備考
事業活動による収入								
介護保険事業収入		0	0	0	14,499,501	1,455	14,500,956	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
障害福祉サービス事業収入		0	78,956,603	392,632,592	0	0	471,589,195	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費
老人福祉事業収入		0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
医療事業収入		0	0	0	0	16,766,047	16,766,047	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
その他の事業収入		2,700,000	871,227	977,115	1,565,239	857,624	6,971,205	北広島市委託事業費
研修事業収入		0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料
経常経費寄附金収入		0	0	42,000	0	0	42,000	法人及び施設寄附金・寄附物品
受取利息配当金収入		77	62	474	13	23	649	預金利息
その他の収入		3,766,110	619,616	4,385,466	0	754,288	9,525,480	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
事業活動収入 計①		6,466,187	80,447,508	398,037,647	16,064,753	18,379,437	519,395,532	
人件費支出								
役員報酬支出		433,230	0	0	0	0	433,230	職員給与、諸手当
職員給料支出		7,365,890	46,076,154	176,015,019	11,163,477	2,427,363	243,047,903	職員給与、諸手当
職員賞与支出		2,030,000	11,930,237	34,995,769	2,276,291	808,500	52,040,797	職員期末手当
非常勤職員給与支出		0	24,270,619	57,914,991	1,804,398	3,708,668	87,698,676	臨時職員等賃金
派遣職員費支出		0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費
退職給付支出		7,857,980	1,640,433	13,321,126	44,500	44,500	22,908,539	退職共済掛金
法定福利費支出		818,567	10,629,054	39,651,024	2,169,596	994,222	54,262,463	社会保険料事業主負担額
人件費 小計 A		18,505,667	94,546,497	321,897,929	17,458,262	7,983,253	460,391,608	
事業費支出								
給食費支出		0	4,658,379	21,050,049	0	0	25,708,428	利用者給食材料
介護用品費支出		0	136,106	1,084,332	0	0	1,220,438	利用者直接処遇用介護用品購入費
医薬品費支出		0	0	0	0	1,605,780	1,605,780	診療用医薬品購入費
診療・療養等材料費支出		0	0	0	0	408,613	408,613	診療用消耗品等購入費
保健衛生費支出		0	27,163	167,607	5,225	0	199,995	利用者健診費
医療費支出		0	0	2,360	0	0	2,360	利用者医療機関診療費
被服費支出		0	567,023	1,981,600	0	0	2,548,623	利用者衣類・寝具等購入費
教養娯楽費支出		0	78,936	788,726	660	0	868,322	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
日用品費支出		0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品
水道光熱費支出		0	4,409,353	14,021,852	419,840	496,198	19,347,243	電気・ガス・水道料
燃料費支出		0	2,543,970	11,195,305	362,175	336,050	14,437,500	重油、灯油代
消耗器具備品費支出		128,040	103,413	1,308,536	995,696	113,351	2,649,036	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
保険料支出		0	0	0	0	0	0	利用者損害保険料
賃借料支出		0	696,185	1,624,564	0	0	2,320,749	利用者処遇用器具・備品等リース料
葬祭費支出		0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費
車輦費支出		0	368,355	2,231,806	32,411	30,152	2,662,724	車輛燃料費、車輛検査費等
業務委託費支出		0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
諸謝金支出		50,000	50,000	80,000	50,000	0	230,000	職員紹介謝礼
検査費支出		0	0	0	0	1,368,136	1,368,136	診療用検査費
雑支出		450,644	0	29,066	0	49,375	529,085	その他の事業費支出
事業費支出 小計 B		628,684	13,638,883	55,565,803	1,866,007	4,407,655	76,107,032	
福利厚生費支出		1,887,203	445,586	1,140,599	61,976	39,164	3,574,888	職員検診、福利事業諸費他
職員被服費支出		0	77,318	444,091	78,210	105,382	705,001	職員貸与制服、作業衣等購入費
旅費交通費支出		76,470	20,410	60,200	2,000	0	159,080	旅費、目当、外勤手当
研修研究費支出		25,274	30,600	60,000	0	0	115,874	研修会参加費
事務消耗品費支出		368,275	132,340	706,331	43,080	398,805	1,648,831	事務用品購入費
印刷製本費支出		523,160	8,150	1,091,074	11,880	107,536	1,741,800	印刷物作成費・製本費
水道光熱費支出		0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料
燃料費支出		0	0	0	0	0	0	重油、灯油代
修繕費支出		500,000	940,819	5,359,747	0	0	6,800,566	建物・器具備品等修理費
通信運搬費支出		104,517	524,325	747,324	0	129,826	1,505,992	電話・FAX・切手・各種発送費
会議費支出		0	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費
広報費支出		78,100	0	367,267	125,135	0	570,502	広告折込料、チラシ、広報誌作成他
業務委託費支出		2,510,200	418,998	3,148,303	43,793	128,192	6,249,486	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
手数料支出		150,662	62,617	95,383	167,685	4,180	480,527	振込料、申請手数料・各種代行手数料他
保険料支出		304,025	294,984	616,231	90,330	9,590	1,315,160	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
賃借料支出		330,000	0	893,190	530,970	570,240	2,324,400	器具備品等リース料
土地・建物賃借料支出		0	0	0	0	0	0	土地及び建物等借入金
租税公課支出		279,000	19,800	141,500	0	58,700	499,000	印紙、自動車税他
保守料支出		0	951,102	3,275,101	0	325,319	4,551,522	建物及び各種機器等保守・点検料
渉外費支出		67,250	70,000	236,550	0	0	373,800	慶弔費、創設記念費等
諸会費支出		131,000	141,300	245,500	0	120,000	637,800	各種団体加盟会費・負担金
雑支出		1,962,758	669,559	819,648	1,570,828	1,030,805	6,053,598	その他の事務費支出
事務費支出 小計 C		9,297,894	4,807,908	19,448,399	2,725,887	3,027,739	39,307,827	
利用者負担軽減額		0	0	0	0	0	0	介護保険施設負担軽減額
支払利息支出		157,134	166,747	606,007	0	1,978	931,866	借入金利息、リース債務利息
その他の支出		0	0	0	0	0	0	利用者等外給食費他
流動資産評価減等による資金減少額		0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額
事業活動支出 計②		28,589,379	113,160,035	397,518,138	22,050,156	15,420,625	576,738,333	
事業活動資金収支差額③(①-②)		△ 22,123,192	△ 32,712,527	519,509	△ 5,985,403	2,958,812	△ 57,342,801	
施設整備等による収入								
施設整備等補助金収入		0	552,188	552,188	146,294	146,294	1,396,964	建物新築、改修等補助金
施設整備等寄附金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金
施設整備借入金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金
固定資産売却収入		0	0	0	0	0	0	
施設整備等収入 計④		0	552,188	552,188	146,294	146,294	1,396,964	
設備資金借入金元金償還支出		0	1,209,800	4,310,200	0	0	5,520,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
固定資産取得支出		0	552,188	717,188	146,294	146,294	1,561,964	固定資産新規取得額
固定資産売却・廃棄支出		0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額
ファナンス・リース債務の返済支出		0	192,171	1,374,092	0	57,158	1,623,421	パソコン他設備機器リース元金返済
施設整備等支出 計⑤		0	1,954,159	6,401,480	146,294	203,452	8,705,385	
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		0	△ 1,401,971	△ 5,849,292	0	△ 57,158	△ 7,308,421	
その他の収入								
長期運営資金借入金収入		0	0	0	0	0	0	退職共済出資金、各種積立金取崩額
積立資産取崩収入		4,659,810	681,505	17,697,918	0	0	23,039,233	退職共済出資金、各種積立金取崩額
事業区分間繰入金収入		6,741,000	8,400,000	0	0	0	15,141,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金収入		24,450,000	11,896,808	130,659	0	0	36,477,467	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による収入		0	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)
その他の活動収入 計⑦		35,850,810	20,978,313	17,828,577	0	0	74,657,700	
その他の支出								
長期運営資金借入金元金償還支出		9,984,000	0	0	0	0	9,984,000	退職共済出資金、各種積立金積立額
積立資産支出		190,140	1,520,065	6,133,290	506,040	119,460	8,468,995	退職共済出資金、各種積立金積立額
事業区分間繰入金支出		0	0	0	0	3,200,000	3,200,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金支出		1,000,000	1,260,659	12,626,808	0	0	14,887,467	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による支出		0	0	0	0	511,920	511,920	
その他の活動支出 計⑧		11,174,140	2,780,724	18,760,098	506,040	3,831,380	37,052,382	
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)		24,676,670	18,197,589	△ 931,521	△ 506,040	△ 3,831,380	37,605,318	
当期資金収支差額合計⑩(③+⑥+⑨)		2,553,478	△ 15,916,909	△ 6,261,304	△ 6,491,443	△ 929,726	△ 27,045,904	
前期末支払資金残高⑪		5,506,412	15,916,909	67,529,261	0	4,296,250	93,248,832	
当期末支払資金残高⑫(⑩+⑪)		8,059,890	0	61,267,957	△ 6,491,443	3,366,524	66,202,928	

2020年度資金収支決算報告書  
(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

No.2

<法人本部・障がい者施設>

(単位 円)

取支区分及び科目	拠点区分	障がい福祉サービス	障がい児通所支援	障がい相談支援	生活支援	小計②	合計(①+②)	備考
介護保険事業収入		0	0	0	0	0	14,500,956	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
障害福祉サービス事業収入		81,775,878	20,901,657	0	44,404,220	147,081,755	618,670,950	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護他給付費
老人福祉事業収入		0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
医療事業収入		0	0	0	0	0	16,766,047	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
その他の事業収入		977,147	574,000	0	479,335	2,030,482	9,001,687	北広島市委託事業費
研修事業収入		0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料
経常経費寄附金収入		0	0	0	0	0	42,000	法人及び施設寄附金・寄附物品
受取利息配当金収入		37	17	17	18	89	738	預金利息
その他の収入		2,184,724	1,680,263	0	0	3,864,987	13,390,467	実習費・食費(利用者以外)・雑収入他
事業活動収入 計①		84,937,786	23,155,937	17	44,883,573	152,977,313	672,372,845	
役員報酬支出		0	0	0	0	0	433,230	職員給与・諸手当
職員給料支出		27,934,223	7,381,837	0	20,348,841	55,664,901	298,712,804	職員給与・諸手当
職員賞与支出		6,266,325	1,356,717	0	4,686,150	12,309,192	64,349,989	職員期末手当
非常勤職員給与支出		26,503,697	3,343,354	0	2,172,617	32,019,668	119,718,344	臨時職員等賃金
派遣職員費支出		0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費
退職給付支出		5,239,860	490,590	0	178,000	5,908,450	28,816,989	退職共済掛金
法定福利費支出		7,190,860	1,839,243	0	4,558,597	13,588,700	67,851,163	社会保険料事業主負担額
人件費 小計 A		73,134,965	14,411,741	0	31,944,205	119,490,911	579,882,519	
給食費支出		2,418,928	0	0	0	2,418,928	28,127,356	利用者給食材料
介護用品費支出		0	0	0	0	0	1,220,438	利用者直接処遇介護用品購入費
医薬品費支出		0	0	0	0	0	1,605,780	診療用医薬品購入費
診療・療養等材料費支出		0	0	0	0	0	408,613	診療用消耗品等購入費
保健衛生費支出		20,678	16,779	0	0	37,457	237,452	利用者健診費
医療費支出		0	0	0	0	0	2,360	利用者医療機関診療費
被服費支出		0	0	0	0	0	2,548,623	利用者衣類・寝具等購入費
教養娯楽費支出		365,806	56,327	0	0	422,133	1,290,455	利用者行事・レクレーション等開催諸経費他
日用品費支出		0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品
水道光熱費支出		4,306,972	988,432	70,698	471,514	5,837,616	25,184,859	電気・ガス・水道料
燃料費支出		1,013,916	216,927	9,532	83,383	1,323,758	15,761,258	重油・灯油代
消耗器具備品費支出		514,294	52,980	0	8,660	575,934	3,224,970	利用者直接処遇消耗品・備品購入費
保険料支出		0	2,700	0	0	2,700	2,700	利用者損害保険料
賃借料支出		1,486,752	0	0	1,015,677	2,502,429	4,823,178	利用者処遇器具・備品等リース料
葬祭費支出		0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費
車輦費支出		2,962,072	586,384	17,241	234,381	3,800,078	6,462,802	車輦燃料費・車輦検査費等
業務委託費支出		0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
謝金支出		80,000	50,000	0	0	130,000	360,000	職員紹介謝礼
検査費支出		0	0	0	0	0	1,368,136	診療用検査費
雑支出		0	794,031	0	1,800	795,831	1,324,916	その他の事業費支出
事業費支出 小計 B		13,169,418	2,764,560	97,471	1,815,415	17,846,864	93,953,896	
福利厚生費支出		426,983	85,135	0	96,274	608,392	4,183,280	職員検診・福利事業諸費他
職員被服費支出		288,773	145,684	0	0	434,457	1,139,458	職員貸与制服・作業衣等購入費
旅費交通費支出		0	6,560	0	13,960	20,520	179,600	旅費・日当・外勤手当
研修研究費支出		36,000	32,000	0	85,019	153,019	268,893	研修会参加費
事務消耗品費支出		118,579	79,443	0	95,484	293,506	1,942,337	事務用品購入費
印刷製本費支出		279,861	3,960	0	165,626	449,447	2,191,247	印刷物作成費・製本費
水道光熱費支出		0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料
燃料費支出		0	0	0	0	0	0	重油・灯油代
修繕費支出		516,349	0	0	0	516,349	7,316,915	建物・器具備品等修理費
通信運搬費支出		415,281	123,201	0	759,539	1,298,021	2,804,013	電話・FAX・切手・各種発送費
会議費支出		0	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費
広報費支出		0	0	0	0	0	570,502	広告折込料・チラシ・広報誌作成他
業務委託費支出		1,559,352	109,060	2,795	49,696	1,720,903	7,970,389	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
手数料支出		256,582	69,577	0	2,373	328,532	809,059	振込料・申請手数料・各種代行手数料他
保険料支出		203,711	26,208	0	96,874	326,793	1,641,953	建物・設備損害保険料・職員損害保険料
賃借料支出		570,579	33,963	0	14,758	619,300	2,943,700	器具備品等リース料
土地・建物賃借料支出		0	0	0	360,000	360,000	360,000	土地及び建物等借入金
租税公課支出		10,500	94,700	0	3,400	108,600	607,600	印紙・自動車税他
保守料支出		838,394	162,650	20,361	40,755	1,062,160	5,613,682	建物及び各種機器等保守・点検料
渉外費支出		20,000	0	0	0	20,000	393,800	慶弔費・創設記念費等
諸会費支出		6,000	10,000	0	0	16,000	653,800	各種団体加盟会費・負担金
雑支出		738,151	560,628	0	160,631	1,459,410	7,513,008	その他の事務費支出
事務費支出 小計 C		6,285,095	1,542,769	23,156	1,944,389	9,795,409	49,103,236	
利用者負担軽減額		0	0	0	0	0	0	介護保険施設負担軽減額
支払利息支出		675,908	283,059	19,946	21,768	1,000,681	1,932,547	借入金利息・リース債務利息
その他の支出		0	0	0	0	0	0	利用者等外給食費他
流動資産評価減等による資金減少額		0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額
事業活動支出 計②		93,265,386	19,002,129	140,573	35,725,777	148,133,865	724,872,198	
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)		△ 8,327,600	4,153,808	△ 140,556	9,157,796	4,843,448	#####	
施設整備等補助金収入		259,600	0	0	146,294	405,894	1,802,858	建物新築・改修等補助金
施設整備等寄附金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築・改修等寄附金
施設整備借入金収入		0	0	0	0	0	0	建物新築・改修等資金借入金
固定資産売却収入		0	0	0	0	0	0	
施設整備等収入 計④		259,600	0	0	146,294	405,894	1,802,858	
設備資金借入金元金償還支出		5,464,800	2,296,800	158,400	0	7,920,000	13,440,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
固定資産取得支出		747,300	0	0	146,294	893,594	2,455,558	固定資産新規取得額
固定資産売却・廃棄支出		0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額
ファイナンス・リース債務の返済支出		194,340	45,726	0	820,324	1,060,390	2,683,811	パソコン他設備機器リース元金返済
施設整備等支出 計⑤		6,406,440	2,342,526	158,400	966,618	9,873,984	18,579,369	
施設整備等資金収支差額 ⑥ (④-⑤)		△ 6,146,840	△ 2,342,526	△ 158,400	△ 820,324	△ 9,468,090	#####	
積立資産取崩収入		4,346,150	401,590	5,400,000	0	10,147,740	10,147,740	退職共済出資金・各種積立金取崩額
事業区分間繰入金収入		0	0	0	0	0	15,141,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金収入		54,665	0	300,000	0	354,665	36,832,132	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による収入		0	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)
その他の活動収入 計⑦		4,400,815	401,590	5,700,000	0	10,502,405	85,160,105	
積立資産支出		1,046,490	287,665	0	718,860	2,053,015	12,037,015	退職共済出資金・各種積立金積立額
事業区分間繰入金支出		0	0	0	0	0	3,200,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
拠点区分間繰入金支出		930,000	0	5,454,665	0	6,384,665	21,272,132	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
その他の活動による支出		0	0	0	0	0	511,920	
その他の活動支出 計⑧		1,976,490	287,665	5,454,665	718,860	8,437,680	45,490,062	
その他の活動資金収支差額 ⑨ (⑦-⑧)		2,424,325	113,925	245,335	△ 718,860	2,064,720	39,670,043	
当期資金収支差額合計 ⑩ (③+⑥+⑨)		#####	1,925,207	△ 53,621	7,618,612	△ 2,559,917	#####	
前期末支払資金残高 ⑪		2,465,373	259,916	53,621	777,522	3,556,432	96,805,264	
当期末支払資金残高 ⑫ (⑩+⑪)		△ 9,584,742	2,185,123	0	8,396,134	996,515	67,199,443	

2020年度 資金収支決算報告書  
(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

No.3

<高齢者施設>

(単位 円)

拠点区分		特養部	デイサービス	デイホーム さとり	デイホーム かたる	ホームヘルプ	複合型 サービス	グループホーム	小計①	備考	
事業活動による収入	介護保険事業収入	231,181,978	84,792,544	15,924,204	66,931,493	43,054,366	78,921,955	88,956,380	609,762,920	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費	
	障害福祉サービス事業収入	0	0	0	0	30,747,190	0	0	30,747,190	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費	
	老人福祉事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他	
	医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費	
	その他の事業収入	1,742,557	1,240,707	575,000	849,800	902,707	964,107	808,707	7,083,585	街灯助成金他	
	研修事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料	
	経常経費寄附金収入	220,000	0	0	0	0	50,000	0	270,000	法人及び施設寄附金、寄附物品	
	受取利息配当金収入	617	227	85	81	109	241	117	1,477	預金利息	
	その他の収入	376,918	30,000	0	30,370	78,396	170,570	0	686,254	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他	
	事業活動収入 計①	233,522,070	86,063,478	16,499,289	67,811,744	74,832,768	80,056,873	89,765,204	648,551,426		
	人件費支出	職員給料支出	62,073,290	26,128,158	0	25,801,340	13,041,964	26,801,670	25,516,222	179,362,644	職員給与・諸手当
		職員賞与支出	13,258,550	5,328,325	0	5,914,000	2,884,950	5,469,050	4,920,130	37,775,005	職員長期手当
非常勤職員給与支出		47,450,993	22,144,919	10,187,925	10,572,476	38,787,840	22,651,055	33,058,356	184,853,564	臨時職員等賃金	
派遣職員費支出		0	0	0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費	
退職給付支出		2,122,275	89,000	0	89,000	0	1,830,580	243,255	4,374,110	退職共済掛金	
法定福利費支出		16,413,391	7,004,488	445,926	5,764,951	7,138,381	6,165,941	7,461,307	50,394,385	社会保険料事業主負担額	
人件費 小計 A		141,318,499	60,694,890	10,633,851	48,141,767	61,853,135	62,918,296	71,199,270	456,759,708		
事業費支出		給食費支出	20,312,800	4,052,568	577,703	4,183,512	0	3,295,070	6,265,416	38,687,069	利用者給食材料
		介護用品費支出	3,500,573	69,922	25,604	61,628	0	43,739	0	3,701,466	利用者直接処遇用介護用品購入費
		医薬品費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	診療用医薬品購入費
		診療・療養等材料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	診療用消耗品等購入費
		保健衛生費支出	373,424	161,035	16,592	165,902	27,318	132,215	220,110	1,096,596	利用者健診費
	医療費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者医療機関診療費	
	被服費支出	1,654,119	183,793	0	84,315	0	224,840	0	2,147,067	利用者衣類・寝具等購入費	
	教養娯楽費支出	250,715	379,700	49,130	281,684	55,247	105,819	222,979	1,345,274	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他	
	日用品費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品	
	水道光熱費支出	9,604,692	4,097,693	346,228	3,642,946	1,688,443	2,595,427	3,158,232	25,133,661	電気・ガス・水道料	
	燃料費支出	5,683,832	2,435,928	264,111	1,742,280	604,682	806,219	1,007,773	12,544,825	重油、灯油代	
	消耗器具備品費支出	1,735,743	224,740	101,016	258,761	23,932	376,785	383,440	3,104,417	利用者直接処遇消耗品、備品購入費	
保険料支出	0	0	0	2,700	0	0	0	2,700	利用者損害保険料		
賃借料支出	323,755	0	0	0	0	0	0	323,755	利用者処遇用器具・備品等リース料		
燃料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費		
車輦費支出	1,227,834	1,715,426	545,865	1,452,297	526,297	566,945	5,828	6,040,492	車輦燃料費、車輦検査費等		
管理費返還支出	0	0	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還		
諸謝金支出	140,000	0	50,000	0	0	30,000	120,000	340,000	介護職員初任者研修事業講師料		
雑支出	404,146	71,496	0	0	220	0	0	475,862	その他の事業費支出		
事業費支出 小計 B	45,211,633	13,392,301	1,976,249	11,876,025	2,956,139	8,267,059	11,263,778	94,943,184			
事務費支出	福利厚生費支出	1,145,158	256,474	89,360	214,346	314,250	281,374	290,038	2,591,000	職員検診、福利事業諸費他	
	職員被服費支出	258,295	0	0	16,764	0	0	0	275,059	職員貸与制服、作業衣等購入費	
	旅費交通費支出	2,000	0	0	2,180	0	0	0	4,180	旅費、日当、外勤手当	
	研修研究費支出	85,240	0	0	104,000	36,814	25,120	0	251,174	研修会参加費	
	事務消耗品費支出	1,235,068	528,673	34,434	536,795	75,189	488,790	572,479	3,471,428	事務用品購入費	
	印刷製本費支出	401,984	113,427	37,898	102,307	46,082	116,000	99,218	916,916	印刷物作成費・製本費	
	水道光熱費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料	
	燃料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	重油、灯油代	
	繕修費支出	950,883	1,363	0	71,741	0	157,976	59,400	1,241,363	建物・器具備品等修理費	
	通信運搬費支出	1,382,222	156,784	198,717	409,620	576,936	245,290	229,347	3,198,916	電話・FAX・切り手・各種発送費	
	会議費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	会議用茶菓子・食糧費	
	広報費支出	353,121	28,700	6,623	182,563	33,115	22,081	33,115	659,318	広告折込料、チラシ、広報誌作成他	
業務委託費支出	8,667,581	99,000	157,140	401,098	0	0	398,310	9,723,129	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費		
手数料支出	581,572	3,616	1,500	25,550	39,940	78,938	73,944	805,060	振込料・申請手数料・各種代行手数料他		
保険料支出	322,179	237,415	54,181	206,205	175,689	180,047	66,916	1,242,632	建物・設備損害保険料、職員損害保険料		
賃借料支出	1,219,207	1,004,174	0	285,460	525,975	334,744	258,870	3,628,430	器具備品等リース料		
土地・建物賃借料支出	0	0	0	0	0	0	0	0	土地及び建物等借入金		
租税公課支出	54,400	1,800	0	7,400	137,100	58,200	1,500	260,400	印紙、自動車税他		
保守料支出	1,464,305	651,131	0	470,800	227,535	303,380	379,225	3,496,376	建物及び各種機器等保守・点検料		
渉外費支出	275,000	75,000	5,000	5,000	85,000	0	70,000	515,000	慶弔費、創設記念費等		
諸会費支出	158,300	50,300	12,500	56,300	5,000	5,000	59,000	344,400	各種団体加盟会費・負担金		
雑支出	1,803,279	957,509	583,091	587,505	911,334	708,010	510,909	6,061,637	その他の事務費支出		
事務費支出 小計 C	20,357,794	4,165,366	1,180,444	3,685,634	3,189,959	3,004,950	3,102,271	38,686,418			
利用者負担軽減額	24,284	0	0	18,802	0	0	43,086	0	介護保険施設負担軽減額		
支払利息支出	67,520	22,042	2,918	18,246	49,027	112,016	288,331	560,100	借入金利息、リース債務利息		
その他の支出	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者等外給食費他		
流動資産評価減等による資金減少額	0	0	0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額		
事業活動支出 計②	206,979,730	78,274,599	13,793,462	63,740,474	68,048,260	74,302,321	85,853,650	590,992,496			
事業活動資金収支差額③(①-②)	26,542,340	7,788,879	2,705,827	4,071,270	6,784,508	5,754,552	3,911,554	57,558,930			
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	1,104,372	146,293	0	519,200	146,293	146,293	146,293	2,208,744	建物新築、改修等補助金	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金	
	施設整備借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0		
	施設整備等収入 計④	1,104,372	146,293	0	519,200	146,293	146,293	146,293	2,208,744		
施設整備等による支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	2,884,000	657,700	1,550,100	4,089,600	9,181,400	福祉医療機構・銀行借入金元金返済	
	固定資産取得支出	1,641,812	230,403	0	519,200	230,403	146,293	146,293	2,914,404	固定資産新規取得額	
	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,026,494	671,485	121,571	227,341	222,254	110,849	110,849	3,490,843	バシオン施設設備機器リース元金返済	
	施設整備等支出 計⑤	3,668,306	901,888	121,571	3,630,541	1,110,357	1,807,242	4,346,742	15,586,647		
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	△ 2,563,934	△ 755,595	△ 121,571	△ 3,111,341	△ 964,064	△ 1,660,949	△ 4,200,449	△ 13,377,903			
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	1,634,975	0	0	0	0	1,615,510	198,755	3,449,240	退職共済出資金、各種積立金取崩額	
	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	事業区分間の資金繰入額(内部取引)	
	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)	
	その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0	0	0	長期預り金収入(入居者敷金)	
	その他の活動収入 計⑦	1,634,975	0	0	0	0	1,615,510	198,755	3,449,240		
その他の活動による支出	積立資産支出	2,292,345	1,137,605	0	1,100,460	596,460	1,131,065	1,038,275	7,296,210	退職共済出資金、各種積立金積立額	
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	事業区分間の資金繰入額(内部取引)	
	拠点区分間繰入金支出	5,643,000	2,125,000	354,000	1,771,000	1,771,000	1,771,000	2,125,000	15,560,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)	
	その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他の活動支出 計⑧	7,935,345	3,262,605	354,000	2,871,460	2,367,460	2,902,065	3,163,275	22,856,210		
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	△ 6,300,370	△ 3,262,605	△ 354,000	△ 2,871,460	△ 2,367,460	△ 1,286,555	△ 2,964,520	△ 19,406,970			
当期資金収支差額合計⑩(③+④+⑨)	17,678,036	3,770,679	2,230,256	△ 1,911,531	3,452,984	2,807,048	△ 3,253,415	24,774,057			
前期末支払資金残高⑪	56,709,366	41,650,869	3,221,453	10,979,247	37,713,094	12,369,503	15,913,166	178,556,698			
当期末支払資金残高⑫(⑩+⑪)	74,387,402	45,421,548	5,451,709	9,067,716	41,166,078	15,176,551	12,659,751	203,330,755			



2020年度 資金収支決算報告書  
(自) 2020年4月1日 (至) 2021年3月31日

No.4

(単位 円)

<高齢者施設>

収支区分及び科目	拠点区分	居宅介護支援	訪問看護	高齢者支援センター	サ高住しおん	初任者研修	小計②	合計	備考
事業活動による収入		介護保険事業収入 54,498,111	11,314,274	42,228,550	0	0	108,040,935	717,803,855	施設・居宅・地域密着型サービス等介護給付費
		障害福祉サービス事業収入 0	0	0	0	0	0	30,747,190	生活介護・自立訓練・入所支援・居宅介護給付費
		老人福祉事業収入 0	0	0	54,180,511	0	54,180,511	54,180,511	サービス付き高齢者向け住宅家賃・管理費・食費他
		医療事業収入 0	7,165,202	0	0	0	7,165,202	7,165,202	外来診療・訪問介護療養費・予防接種委託事業費
		その他の事業収入 254,693	718,000	355,360	335,214	0	1,663,267	8,746,852	街灯灯助成金他
		研修事業収入 0	0	0	0	0	0	0	介護職員初任者研修事業受講料
		経常経費寄附金収入 50,000	0	0	0	0	50,000	320,000	介護職員初任者研修事業受講料
		受取利息配当金収入 123	41	72	44	0	280	1,757	預金利息
		その他の収入 52,833	269,705	40,500	246,340	0	609,378	1,295,632	実習費、食費(利用者以外)、雑収入他
		事業活動収入 計①	54,855,760	19,467,222	42,624,482	54,762,109	171,709,573	820,260,999	
人件費支出		職員給料支出 29,863,100	12,267,615	27,069,133	7,894,902	0	77,094,750	256,457,394	職員給与、諸手当
		職員賞与支出 6,368,995	2,721,400	5,594,015	1,751,730	0	16,436,140	54,211,145	職員期末手当
		非常勤職員給与支出 2,182,629	0	1,046,680	15,250,785	0	18,480,094	203,333,658	臨時職員等賃金
		派遣職員費支出 0	0	0	0	0	0	0	派遣職員委託費
		退職給付支出 133,500	3,072,760	44,500	619,048	0	3,869,808	8,243,918	退職共済掛金
		法定福利費支出 6,237,309	2,528,649	5,335,376	3,381,127	0	17,482,461	67,876,846	社会保険料事業主負担額
		人件費 小計 A	44,785,533	20,590,424	39,089,704	28,897,592	133,363,253	590,122,961	
事業費支出		給食費支出 0	0	0	9,309,838	0	9,309,838	47,996,907	利用者給食材料
		介護用品費支出 0	0	0	0	0	0	3,701,466	利用者直接処遇介護用品購入費
		医薬品費支出 0	0	0	0	0	0	0	診療用医薬品購入費
		診療・療養等材料費支出 0	0	0	0	0	0	0	診療用消耗品等購入費
		保健衛生費支出 0	40,549	0	0	0	40,549	1,137,145	利用者健診費
		医療費支出 0	0	0	0	0	0	0	利用者医療機関診療費
		被服費支出 0	0	0	0	0	0	2,147,067	利用者衣類・寝具等購入費
		教養娯楽費支出 0	0	0	40,175	0	40,175	1,385,449	利用者行事、レクリエーション等開催諸経費他
		日用品費支出 0	0	0	0	0	0	0	利用者現物給付日用品
		水道光熱費支出 1,125,600	562,794	240,000	3,272,985	0	5,201,379	30,335,040	電気・ガス・水道料
		燃料費支出 403,108	201,551	0	1,007,773	0	1,612,432	14,157,257	重油、灯油代
		消耗器具備品費支出 17,500	72,600	0	31,548	0	121,648	3,226,065	利用者直接処遇消耗品、備品購入費
		保険料支出 0	0	0	0	0	0	2,700	利用者損害保険料
		賃借料支出 0	0	0	0	0	0	323,755	利用者処遇器具備品等リース料
		葬祭費支出 0	0	0	0	0	0	0	利用者葬祭費
		車輻費支出 3,808	0	89,061	264,616	0	357,485	6,397,977	車輛燃料費、車輛検査費等
		管理費返還支出 0	0	0	0	0	0	0	サービス付き高齢者向け住宅管理費返還
		諸謝金支出 30,000	0	0	0	0	80,000	420,000	介護職員初任者研修事業講師料
		雑支出 0	0	0	0	0	0	475,862	その他の事業費支出
		事業費支出 小計 B	1,580,016	877,494	329,061	13,976,935	16,763,506	111,706,690	
活動による支出		福利厚生費支出 159,800	41,670	102,980	101,298	0	405,748	2,996,748	職員検診、福利事業諸費他
		職員被服費支出 0	0	0	0	0	0	275,059	職員給与補服、作業衣等購入費
		旅費交通費支出 0	890	0	0	0	890	5,070	旅費、日当、外勤手当
		研修研究費支出 22,000	0	159,880	2,180	0	184,060	435,234	研修会参加費
		事務消耗品費支出 216,643	439,908	127,393	47,550	0	831,494	4,302,922	事務用品購入費
		印刷製本費支出 229,160	35,820	883,927	53,789	0	1,202,696	2,119,612	印刷物作成費・製本費
		水道光熱費支出 0	0	0	0	0	0	0	電気・ガス・水道料
		燃料費支出 0	0	0	0	0	0	0	重油、灯油代
		修繕費支出 309,650	22,000	93,500	142,560	0	567,710	1,809,073	建物・器具備品等修理費
		通信運搬費支出 335,295	130,878	670,854	229,347	0	1,366,374	4,565,290	電話・FAX・切手・各種発送費
		会議費支出 0	0	9,944	0	0	9,944	9,944	会議用茶菓子・食糧費
		広報費支出 175,949	4,415	8,830	11,038	0	200,232	859,550	広告宣伝料、チラシ、広報誌作成他
		業務委託費支出 121,000	0	0	541,310	0	662,310	10,385,439	清掃・洗濯・警備・除雪等委託費
		手数料支出 4,800	5,473	22,623	99,246	0	132,142	937,202	送料・申請手数料・各種代行手数料他
		保険料支出 208,920	31,766	103,312	63,682	0	407,680	1,650,312	建物・設備損害保険料、職員損害保険料
		賃借料支出 189,315	116,873	535,565	617,224	0	1,458,977	5,087,407	器具備品等リース料
		土地・建物賃借料支出 0	0	784,800	0	0	784,800	784,800	土地及び建物等借入金
		租税公課支出 241,600	3,100	5,800	1,145,300	0	1,395,800	1,656,200	印紙、自動車税他
		保守料支出 151,690	75,845	0	379,225	0	606,760	4,103,136	建物及び各種機器等保守・点検料
		渉外費支出 0	37,050	45,000	45,000	0	127,050	642,050	慶弔費、創設記念費等
		諸会費支出 12,600	5,000	35,000	5,000	0	57,600	402,000	各種団体加盟費・負担金
		雑支出 208,963	732,722	765,918	345,155	0	2,052,758	8,114,395	その他の事務費支出
		事務費支出 小計 C	2,587,385	1,683,410	4,355,326	3,828,904	12,455,025	51,141,443	
		利用者負担軽減額 0	0	0	0	0	0	43,086	介護保険施設負担金軽減額
		支払利息支出 577,399	12,967	0	587,673	0	1,178,039	1,738,139	借入金利息、リース債務利息
		その他の支出 0	0	0	0	0	0	0	利用者等外給食他
		流動資産評価減等による資金減少額 0	0	0	0	0	0	0	利用者負担金徴収不能額
		事業活動支出 計②	49,530,333	23,164,295	43,774,091	47,291,104	163,759,823	754,752,319	
事業活動資金収支差額③(①-②)		5,325,427	△ 3,697,073	△ 1,149,609	7,471,005	0	7,949,750	65,508,680	
施設整備等収入		施設整備等補助金収入 146,293	0	0	811,786	0	958,079	3,166,823	建物新築、改修等補助金
		施設整備等寄附金収入 0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等寄附金
		施設整備借入金収入 0	0	0	0	0	0	0	建物新築、改修等資金借入金
		固定資産売却収入 0	0	0	0	0	0	0	
		施設整備等収入 計④	146,293	0	0	811,786	958,079	3,166,823	
施設整備等支出		設備資金借入金元金償還支出 8,041,600	108,900	0	8,430,100	0	16,580,600	25,762,000	福祉医療機構・銀行借入金元金返済
		固定資産取得支出 481,793	0	0	866,786	0	1,348,579	4,262,983	固定資産新取得額
		固定資産除却・廃棄支出 0	0	0	0	0	0	0	固定資産廃棄処分額
		ファイナンス・リース債務の返済支出 575,740	184,917	0	47,503	0	808,160	4,299,003	パソコン他設備リース元金返済
		施設整備等支出 計⑤	9,099,133	293,817	0	9,344,389	18,737,339	34,323,986	
施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)		△ 8,952,840	△ 293,817	0	△ 8,532,603	0	△ 17,779,260	△ 31,157,163	
その他の活動による収入		積立資産取崩収入 0	2,669,555	0	328,208	0	2,997,763	6,447,003	退職共済出資金、各種積立金取崩額
		事業区分間繰入金収入 0	0	0	0	0	0	0	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
		拠点区分間繰入金収入 0	0	0	0	0	0	0	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
		その他の活動による収入 0	0	0	710,000	0	710,000	710,000	長期預り金収入(入居者敷金)
		その他の活動収入 計⑦	0	2,669,555	0	1,038,208	3,707,763	7,157,003	
その他の活動による支出		積立資産支出 1,211,010	439,725	1,066,740	305,640	0	3,023,115	10,319,325	退職共済出資金、各種積立金積立額
		事業区分間繰入金支出 1,417,000	354,000	0	1,062,000	0	2,833,000	2,833,000	事業区分間の資金繰入額(内部取引)
		拠点区分間繰入金支出 0	0	708,000	0	0	708,000	16,268,000	拠点区分間の資金繰入額(内部取引)
		その他の活動による支出 0	0	0	710,000	0	710,000	710,000	
		その他の活動支出 計⑧	2,628,010	793,725	1,774,740	2,077,640	7,274,115	30,130,325	
その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)		△ 2,628,010	1,875,830	△ 1,774,740	△ 1,039,432	0	△ 3,566,352	△ 22,973,322	
当期資金収支差額合計⑩(③+⑥+⑨)		△ 6,255,423	△ 2,115,060	△ 2,924,349	△ 2,101,030	0	△ 13,395,862	11,378,195	
前期末支払資金残高⑪		10,500,771	10,141,006	7,274,966	△ 15,864,855	253,912	12,305,800	190,862,498	
当期末支払資金残高⑫(⑪+⑩)		4,245,348	8,025,946	4,350,617	△ 17,965,885	253,912	△ 1,090,062	202,240,693	

1. 運営管理

(I) 職員の状況

ア. 職員配置状況

○北広島リハビリセンター (更生部・療護部・診療部)

○北広島市介護予防・日常生活地域支援総合事業 (いきいきライフ・わくわくフィット)

○地域サポートセンターみなみ (障がい福祉サービス事業・障がい児通所支援事業・障がい相談支援事業)

○障がい者生活支援センターみらい

職 員				現 員				2021年 3月31日現在
項 目	北 広 島 リ ハ ビ リ セ ン タ ー			北広島市介護予防・ 日常生活支援総合事業	地 域 サ ポ ー ト セ ン タ ー み な み			障がい者生活支援 センターみらい
	更 生 部	療 護 部	診 療 部	いきいきライフ ・わくわくフィット ・のびのびフェイン	障がい福祉サービス事 業 所 み な み	障がい児通所支 援事業所みなみ	障がい相談支援 事業所みなみ	障がい者生活支援 センターみらい
施 設 長 (院長・管理者)	1	1		[1]	1	1		1
事 務 員		7[1] (2)	(1)		[1]			
生活相談員 相談支援専門員		3			2			5 [2] (1)
理 学 療 法 士		2	[1]	1[1]	1	[1]		
作 業 療 法 士		1		[1]	1	[1]		
言 語 聴 覚 士		[1]	1					
機能訓練指導員		4	[1]	1 [1]	[1] (1)			
医 師		[ (2) ]	(2)		[(1)]	[(1)]		
看 護 師		3 (4) [(1) ]	(1) [1]		1 (2) [(1)]	[1 (1) ]		
栄 養 士		2						
介 護 職 員		31 (25) [2]		1	2 (8) [1]	[(2)]		
保 育 士						1		
ケアサポーター		(9)			(6)	(3)		
調 理 師 (員)		6 (4)			1 (3)			
運 転 技 術 員		2 (1)		(1)		(1)		
そ の 他								
施設管理者					[1]			
ボイラー技師		1						
薬剤師								
看護助手		(1)						
管理当直		(3)						
管理日直								
レントゲン技師		[ (1) ]	(1)					
【地域支援事業】 喫茶管理者						(1)		
85 (81) [30]	1	63 (49) [8]	1 (5) [3]	3 (1) [4]	9 (20) [6]	2 (5) [7]		6 (1) [2]

( ) は嘱託・臨職

[ ] は兼務先・出向先

1. 運営管理  
 (1) 職員の状況  
 ア. 職員配置状況

- 北広島リハビリセンター（更生部・療護部・診療部）
- 北広島市介護予防・日常生活地域支援総合事業（いきいきライフ・わくわくフィット）
- 地域サポートセンターみなみ（障がい福祉サービス事業・障がい児通所支援事業・障がい相談支援事業）
- 障がい者生活支援センターみらい

職 員 現 員 ( 再 掲 )

2021年 3月31日現在

職種	職名	更 生 部			療 護 部		地域密着型通所事業	北広島市介護・日常生活支援総合事業	障がい福祉サービス事業所みなみ		障がい児通所支援事業所みなみ		障がい相談支援事業所みなみ
		機能訓練	生活介護	入所支援	生活介護	入所支援	のびのびファイン	いきいきライフ・わくわくフィット	機能訓練	生活介護	児童発達支援	放課後等デイサービス	休止
管理者	施設長(管理者)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
サービス管理責任者	生活相談員				4	4			2	2			
児童発達支援管理責任者	生活相談員										1	1	
医師	医師				[(2)]				[(1)]	[(1)]	[(1)]	[(1)]	
看護職員医師	看護師				1(2) [(1)]	1			1	[(1) (2)]	(1)	(1)	
	准看護師				1(2)						1	1	
訓練職員	理学療法士				1[1]		2	2	1				
	作業療法士				1		1			1	1	1	
	言語聴覚士				[1]								
	機能訓練				2 [1]			2	(1)	1(1)			
生活支援員	生活相談員						1		1	1			
	介護職員				34(25)	34(3)	1		1	3(8)	(2)	(2)	
	保育士										1	1	
	ケアサポーター				(9)					(6)	(3)	(3)	
事務職員	事務職員				9[1]	5			(1)	(1)			
栄養士	栄養士				2	2							
調理職員	調理師(員)				6(3)	6(3)			1(3)	1(3)			
ボイラー技師	ボイラー技士				1	1							
運転技術員	運転技術員				1(1)	1					(1)	(1)	
その他	管理当直					(3)							
	管理日直												
	レントゲン技師				[(1)]								
	【地域支援事業】 喫茶管理者								(1)				

( ) は嘱託・臨職  
 [ ] は診療部兼務

# 1. 運営管理

## (1) 職員の状況

### イ. 職員の異動状況 (障害者支援施設)

2021年 3月 31日現在

区分	2020 . 4 . 1付	2020年度	2020年度	2021 . 4 . 1付	2021 . 4 . 1付	備 考
	現在数	中途採用	退 職	新規採用	現在数	
人数	87	9	12	2	86	嘱託 3 臨時職員 78

### ウ. 役付職員の状況 (障害者支援施設)

2021年 3月31日現在

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	三 瓶 徹	介 護 二 係 長	奈 良 綾 子
常 務 理 事	中 川 浩 一	介 護 二 係 長	佐 藤 宏 美
療護部施設長	齊 藤 久 男	介 護 二 係 主 任	澁 野 有 祐
院長 (嘱託医)	對 馬 伸 泰	介 護 二 係 主 任	中 出 江 美 子
総 務 課 長	山 本 拓 二	介 護 三 係 長	落 合 里 沙
庶 務 係 長	佐 藤 尚 文	介 護 三 係 主 任	横 井 圭 司
庶 務 係 主 任	正 木 美 枝	介 護 三 係 主 任	長 内 隆 二 郎
係長管理栄養士	木 戸 和 美	障がい地域支援課長	若 狭 聡 美
給 食 係 主 任	水 留 直 樹	通 所 支 援 係 長	渡 邊 由 佳
会 計 課 長	大 森 浩 昭	通 所 支 援 係 主 任	小 俣 東 美
経理係長 (出向)	前 川 忍	通 所 支 援 係 主 任	西 野 正 展
経 理 係 長	清 水 順 子	相 談 支 援 係 長	高 橋 直 子
福 祉 係 長	飯 澤 桃 子	相 談 支 援 係 長	柏 滋
福 祉 係 長	西 尾 恵 史		
看 護 係 長	佐 藤 恵 子		
訓 練 課 長	福 良 貴 博		
訓 練 係 長	谷 口 勝 也		
訓 練 係 主 任	新 井 田 涉		
訓 練 係 主 任	濱 元 さなえ		
訓 練 係 主 任	今 綾		

### エ. 国家資格取得者 (障害者支援施設)

2021年 3月31日現在

	更生部	療護部	診療部	障がい福祉サービス事業所みなみ	障がい児通所支援事業所みなみ	障がい相談支援事業所みなみ	障害者生活支援センターみらい	計
社会福祉士	1	5		2			7	15
精神保健福祉士							3	3
介護福祉士	6	25		5			1	37
介護支援専門員	1	5		1			2	9
理学療法士	1		1	1	1			4
作業療法士	1							1
言語療法士			1					1
柔道整復師	1	1						2
看護師	0	5	1	4	1			11
准看護師	1	2						3
保育士		2			2			4
薬剤師								0
管理栄養士	1	1						2
栄養士	2							2
計	15	46	3	13	4	0	13	94

# 1. 運営管理

## (2) 職員研修実施状況

### ア. ① 各種研修会参加の状況 (道内)

2020年度

年 月 日	開 催 地	研 修 会 名 称	参 加 人 数 ・ 氏 名
2020 8/6	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	渡邊由
8/7	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	澤田勇
8/19	札幌市	令和2年度総務・労務管理専門研修	山本
9/1	札幌市	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る研修会	中川・澤田
9/2～3	札幌市*	介護職員専門研修Ⅱ(1)	長内・大脇
9/5	札幌市*	2020年度「新カリキュラム対応介護実習指導者研修	落合・佐藤宏
9/15～16	札幌市*	新任介護職員研修Ⅰ(1)	高山
9/26～27	オンライン	強度行動障害支援従事者養成研修	三次
10/1	北広島市	障がい者虐待防止研修会	西尾・長内・小俣・中川明
10/8	北広島市	高齢者虐待防止研修会	岩本
10/8	札幌市	令和2年度障がい児保育担当保育士等研修(1)	吉井
10/15～16	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	徳永
12/21～22	札幌市*	介護職員専門研修Ⅰ(2)	川守田・前野
2021 1/12～14	札幌市	2020年度相談支援従事者研修(現任研修)演習	河西
1/28	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	西尾
2/5～12	オンライン	社会福祉士実習指導者講習会	島田
2/25	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	佐藤尚
2/8	オンライン	令和2年度障がい者虐待防止リーダー職員研修会	澤田
3/3	オンライン	令和2年度障がい者虐待防止リーダー職員研修会	澤田
3/11	オンライン	2020年度北海道サービス管理責任者更新研修	若狭
3/28	オンライン	社会福祉士実習指導者講習会(演習)	島田
		小 計 28 名 (本部 1 名 更 7 名 療 9 名 診 0 名 みなみ 10 名 わくわく 1 名)	

\* 北海道社会福祉協議会研修事業

### ア. ② 各種研修会参加の状況 (道外)

2020年度

※2020年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため道外研修は実施していない。

## (2) 職員研修実施状況

## イ. 施設内研修実施状況 (課内研修)

2020年度

担 当	実 施 日	研 修 内 容	参 加 人 数
福 祉 課	2020. 10. 16	支援体制・居室移動調整について	4 名
	2020. 10. 28	ケース検討・担当調整	4 名
	2021. 2. 12	感染症対策について	4 名
	2021. 2. 17	金銭取り扱いについて	4 名
	2021. 3. 26	ケース検討・担当調整	4 名
	2021. 3. 29	制度変更(報酬改定等)について	4 名
障がい地域支援課	2020. 9. 25	業務内容、余暇活動について	12 名
	2020. 10. 22	食事提供方法、利用者支援方法について	13 名
	2021. 2. 19	次年度計画について	12 名
	2021. 3. 17	介助方法について	13 名
			名
訓 練 課	2020. 5. 13	高齢者包括的運動トレーニング (CGT) 実技講習会	7 名
	2021. 1. 20	リハビリテーションにおける運動リスク管理についての研修	11 名
	2021. 3. 10	介護保険報酬改定についての勉強会	10 名
職 員 研 修 会		【 職員研修会 】	
	2021. 3. 24	1. 次年度事業計画	47 名
		①北海長正会法人本部	
		②北広島リハビリセンター療護部・診療部	
		③のびのびファイン (地域密着型通所介護、総合事業通所型サービスA・C)	
		④障がい者生活支援センター みらい	
		⑤障がい福祉サービス事業所 みなみ	
	⑥障がい児通所支援事業所 みなみ		
施 設 職 員 研 修 会		虐待防止研修会	
	2020. 8. 11	身障協ケアガイドラインの理解とグループワーク 「食事について」	16 名
	2019. 8. 19	身障協ケアガイドラインの理解とグループワーク 「入浴について」	16 名
	2020. 8. 27	身障協ケアガイドラインの理解とグループワーク 「排泄について」	16 名
	2020. 9. 2	身障協ケアガイドラインの理解とグループワーク 「衣類、移乗・移動について」	13 名
	2020. 9. 15	身障協ケアガイドラインの理解とグループワーク 「衣類・移乗・移動について」	14 名

1. 運営管理

(3) ボランティア受け入れ状況（ボランティア数）

2020年度

	種 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	種目合計													
	華 道	/												—													
定期レク	喫 茶																										
	居 酒 屋																										
全体レク	センター祭																										
	盆 踊 り																										
	年忘れ会食会																										
そ の 他	繕い物																										
	車椅子清掃																										
	月別合計														—												—

※2020年度は新型コロナウイルス蔓延防止のためボランティアの受け入れを行っていない。

(4) 面会者状況

2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	96	64	76	80	75	87	89	55	60	62	57	51	852
1 日 平 均	3.2	2.1	2.5	2.6	2.4	2.9	2.9	1.8	1.9	2.0	2.0	1.6	8.3

1. 運営管理

(5) 施設見学等受け入れ状況

2020年度

北広島リハビリセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見 学 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域サポートセンターみなみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団 体 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見 学 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※2020年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため受け入れを行っていない。

(6) 実習生(研修生)受け入れ状況

2020年度

学 校 名	期 間	人 数	配 置 部 署
星 槎 道 都 大 学	2020 8/31 ~ 10/3	1	療 護 部 介 護 課
鹿 光 学 習 セ ン タ ー	9/8 ~ 9/8	1	療 護 部 介 護 課
鹿 光 学 習 セ ン タ ー	11/5 ~ 11/5	1	療 護 部 介 護 課
経 専 北 海 道 保 育 専 門 学 校	9/14 ~ 9/26	1	障 が い 地 域 支 援 課
藤 女 子 大 学	10/12 ~ 10/27	1	障 が い 地 域 支 援 課
大 原 学 園	2021 1/12 ~ 2/15	1	障 が い 地 域 支 援 課
計		6	



## 1. 運営管理

### (7) 2020年度施設行事等実施状況

月	日	曜日	行事名	参加人数			計
				利用者	職員	ボランティア	
4	15	水	ミニレク (センター)	70	15	0	85
5	20	水	お花見 (センター)	40	25	0	65
6	3	水	センター防火総合訓練	0	20	0	20
	10	水	みなみ防火総合訓練	0	10	0	10
	24	水	ソフトクリームの日 (センター)	80	15	0	95
7	27	月	焼肉ランチ (みなみ)	70	35	0	105
	28	火	大根収穫 (みなみ児童)	15	5	0	20
	29	水	ジンギスカンの日 (センター)	80	25	0	105
8	12	水	センター周辺散歩レク	50	15	0	65
	17	月	縁日週間 (みなみ)	80	35	0	115
	26	水	かき氷 (レク) (センター)	80	18	0	98
9	30	水	DVD鑑賞 (センター)	70	20	0	90
10	14	水	防火総合訓練 (みなみ)	0	10	0	10
	21	水	レクリエーション (センター)	70	15	0	85
11	4	水	センター防火総合訓練	0	10	0	10
	25	水	レクリエーション (センター)	80	10	0	90
12	9	水	レクリエーション (センター)	80	10	0	90
	14	月	年忘れ週間会食会 (みなみ)	70	30	0	100
1	4	月	新年交礼会				0
	5	火	お祝い御膳 (みなみ)	15	10	0	25
	27	水	豆まき (みなみ)	15	5	0	20
2	3	水	レクリエーション (センター)	70	10	0	80
3	3	水	ひな祭り (センター)	50	10	0	60
	3	水	ひな祭り (みなみ)	25	10	0	35
	24	水	調理レク (みなみ児童)	10	5	0	15

2-1 利用者支援状況

【更生部】

(1) 定員

2020年12月31日現在

	機能訓練	生活介護	入所支援
定員	6	14	20

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2020年度

月	機能訓練（定員6名）		生活介護（定員14名）		入所支援（定員20名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	0.0	0	24.3	22	24.1	30
5月	0.0	0	23.0	23	23.0	31
6月	0.0	0	23.0	22	22.9	30
7月	0.0	0	21.8	23	21.7	31
8月	0.0	0	19.2	23	19.0	31
9月	0.0	0	19.2	22	19.0	30
10月	0.0	0	19.0	23	18.9	31
11月	0.0	0	15.6	22	15.4	30
12月	0.0	0	19.4	23	9.8	31
1月	0.0	0	1.8	23	2.3	31
2月						
3月						
平均	0.0	0.0	18.6	22.6	17.6	30.6

4~7月定員：機6名 生34名 入所

(3) 入所経路【施設入所支援対象者】

2020年度

		在宅より		病院より		他施設より		合計	
施設入所支援	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護		0		0		0		0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 退所理由【施設入所支援対象者】

2020年度

		施設移行						在宅		医療機関		死亡退所		合計	
		授産施設	療護施設	老人施設	その他										
施設入所支援	機能訓練	0	0	21	0	0	0	0	0	2	0	3	0	26	0
	生活介護	0	0	21	0	0	0	0	0	2	2	3	3	26	26
合計		0	0	21	0	0	0	0	0	2	2	3	3	26	26

(5)-1 性別年齢別状況

2020年12月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢		
					機能訓練	生活介護	施設入所
男性	機能訓練	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	62歳8ヶ月	61歳2ヶ月
	生活介護	51歳6ヶ月	73歳3ヶ月	62歳8ヶ月			
	施設入所	51歳6ヶ月	73歳3ヶ月	61歳2ヶ月			
女性	機能訓練	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	62歳8ヶ月	61歳2ヶ月
	生活介護	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月			
	施設入所	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月	0歳0ヶ月			

(5)-2 性別年齢別状況

2020年12月31日現在

年齢範囲(歳)		15	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	2	0	0	7
	施設入所	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	1	0	0	6
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## (6)-1 性別在所期間別状況

【更生部】

2020年12月31日現在

	最短在所期間	最長在所期間	平均在所期間	男女平均在所期間
男性	3年 2ヶ月	11年 9ヶ月	7年 7ヶ月	7年 7ヶ月
女性	0年 0ヶ月	0年 0ヶ月	0年 0ヶ月	

## (6)-2 性別在所期間別状況

2020年12月31日現在

期間範囲（年）	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	0.5 年未満	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	20 年未満	30 年未満		
男性	0	0	0	1	3	2	0	0	0	6
女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	3	2	0	0	0	6

## (7) 障害状況

2020年12月31日現在

		脳血管障害による 右片麻痺	脳血管障害による 左片麻痺	脳血管障害による その他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	3	2	0	0	0	1	0	1	0	7
	施設入所	3	1	0	0	0	1	0	1	0	6
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	6	3	0	0	0	2	0	2	0	13

## (8) 障害支援区分

2020年12月31日現在

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	2	5	0	4.7
	施設入所	0	0	0	0	1	5	0	4.8
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活介護	0	0	0	0	2	5	0	4.7
	施設入所	0	0	0	0	1	5	0	4.8

## (9) 身障手長等級別

【更生部】

2020年12月31日現在

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
男性	4	3	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	0	0	0	0

## (10) 出身地域別

2020年12月31日現在

			機能訓練			生活介護			施設入所		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
道 央	札幌市	東 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		西 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		南 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中 央 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		厚 別 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白 石 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		手 稲 区	0	0	0	2	0	2	2	0	2
		清 田 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊 平 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	石 狩 振 興 局	北 広 島 市	0	0	0	2	0	2	1	0	1
		江 別 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		千 歳 市	0	0	0	1	0	1	1	0	1
		恵 庭 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		石 狩 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		当 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新 篠 津 村		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
空 知 総 合 振 興 局	0	0	0	1	0	1	1	0	1		
道 南	後 志 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	渡 島 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	檜 山 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	胆 振 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日 高 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道 東	十 勝 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	釧 路 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	根 室 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オ ホ ー ツ ク 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
道 北	上 川 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	宗 谷 総 合 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	留 萌 振 興 局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他 の 地 域			0	0	0	1	0	1	1	0	1
合 計			0	0	0	7	0	7	6	0	6

2-2 利用者支援状況

【療護部】

(1) 定員

2021年3月31日現在

	生活介護	入所支援
定員	80	80

(2) 日中活動・施設入所支援利用状況

2020年度

月	生活介護（定員80名）		入所支援（定員80名）	
	利用数(1日平均)	支援日数	利用数(1日平均)	支援日数
4月	66.5	22	66.5	30
5月	66.1	23	66.0	31
6月	64.6	22	64.5	30
7月	64.4	23	64.4	31
8月	65.6	23	65.9	31
9月	64.2	22	64.0	30
10月	64.0	23	63.9	31
11月	67.2	22	67.1	30
12月	69.0	23	69.1	31
1月	77.6	23	77.1	31
2月	78.5	20	78.2	28
3月	74.7	23	74.4	31
平均	68.5	22.4	68.4	30.4

(3) 入所経路 【施設入所支援対象者】

2020年度

	在宅より	病院より	他施設より	合計
施設入所支援	0	0	20	20

(4) 退所理由 【施設入所支援対象者】

2020年度

	施設移行				在宅	医療機関	死亡退所	合計
	授産施設	療護施設	老人施設	その他				
施設入所支援	0	4	0	0	1	3	3	11

(5)-1 性別年齢別状況

2021年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					生活介護	施設入所
男性	生活介護	48歳 3ヶ月	82歳 0ヶ月	63歳 9ヶ月	64歳 4ヶ月	64歳 3ヶ月
	施設入所	48歳 3ヶ月	82歳 0ヶ月	63歳 6ヶ月		
女性	生活介護	39歳 10ヶ月	90歳 0ヶ月	65歳 7ヶ月	64歳 4ヶ月	64歳 3ヶ月
	施設入所	39歳 10ヶ月	90歳 0ヶ月	65歳 7ヶ月		

(5)-2 性別年齢別状況

2021年3月31日現在

年齢範囲（歳）		18	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	74	79		
男性	生活介護	0	0	0	0	0	3	7	10	8	9	10	2	3	52
	施設入所	0	0	0	0	0	3	7	10	8	9	9	2	3	51
女性	生活介護	0	0	0	1	0	1	2	5	1	7	5	2	2	26
	施設入所	0	0	0	1	0	1	2	5	1	7	5	2	2	26
合計	生活介護	0	0	0	1	0	4	9	15	9	16	15	4	5	78
	施設入所	0	0	0	1	0	4	9	15	9	16	14	4	5	77

【療護部】

(6)-1 性別在所期間別状況

2021年3月31日現在

	最低在所	最高在所	平均在所	男女平均在所期間
男性	0年 2ヶ月	41年 3ヶ月	10年 7ヶ月	10年 7ヶ月
女性	0年 3ヶ月	38年 3ヶ月	10年 7ヶ月	

0ヶ月・・・2021年3月入所

(6)-2 性別在所期間別状況

2021年3月31日現在

期間範囲（年）	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	0.5 年未満	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満	15 年未満	20 年未満	30 年未満	30 年未満	
男性	10	1	8	1	15	7	2	2	5	51
女性	3	3	0	3	5	2	4	3	3	26
合計	13	4	9	4	20	9	6	5	8	77

(7) 障害状況

2021年3月31日現在

		脳血管障害による右片麻痺	脳血管障害による左片麻痺	脳血管障害によるその他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	合計
男性	生活介護	20	8	2	0	4	4	5	2	7	52
	施設入所	20	7	2	0	4	4	5	2	7	51
女性	生活介護	2	8	3	1	1	5	1	2	3	26
	施設入所	2	8	3	1	1	5	1	2	3	26
合計	生活介護	22	16	5	1	5	9	6	4	10	78
	施設入所	22	15	5	1	5	9	6	4	10	77

難病内訳： 進行性筋ジストロフィー症 1名： 脊髄小脳変性症 1名

： 遠位型ミオパチー 1名： もやもや病 1名

(8) 障害支援区分

2021年3月31日現在

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	生活介護	0	0	1	6	13	32	5.5
	施設入所	0	0	1	5	13	32	5.5
女性	生活介護	0	0	0	3	7	16	5.5
	施設入所	0	0	0	3	7	16	5.5
合計	生活介護	0	0	1	9	20	48	5.5
	施設入所	0	0	1	8	20	48	5.5

(9) 身障手長等級別

2021年3月31日現在

	1級	2級	3級	4級
男性	39	11	1	0
女性	24	2	0	0
合計	63	13	1	77

※生活介護 男性1名 1級

## 【療護部】

(10) 出身地域別

2021年3月31日現在

			生活介護			施設入所		
			男	女	計	男	女	計
道 央	札幌市	東 区	3	1	4	3	1	4
		西 区	4	1	5	4	1	5
		南 区	1	2	3	1	2	3
		北 区	3	1	4	3	1	4
		中央区	1	0	1	1	0	1
		厚別区	2	2	4	2	2	4
		白石区	5	1	6	5	1	6
		手稲区	4	0	4	4	0	4
		清田区	7	0	7	7	0	7
		豊平区	2	2	4	2	2	4
	石 狩 振興局	北広島市	7	5	12	6	5	11
		江別市	0	1	1	0	1	1
		千歳市	2	2	4	2	2	4
		恵庭市	1	3	4	1	3	4
		石狩市	0	1	1	0	1	1
		当別町	0	0	0	0	0	0
		新篠津村	0	0	0	0	0	0
空知総合振興局	2	1	3	2	1	3		
道 南	後志総合振興局	3	0	3	3	0	3	
	渡島総合振興局	1	0	1	1	0	1	
	檜山振興局	0	0	0	0	0	0	
	胆振振興局	1	1	2	1	1	2	
	日高振興局	1	0	1	1	0	1	
道 東	十勝総合振興局	0	0	0	0	0	0	
	釧路総合振興局	1	0	1	1	0	1	
	根室振興局	0	0	0	0	0	0	
	オホーツク総合振興局	0	1	1	0	1	1	
道 北	上川総合振興局	1	0	1	1	0	1	
	宗谷総合振興局	0	1	1	0	1	1	
	留萌振興局	0	0	0	0	0	0	
その他の地域			0	0	0	0	0	0
合 計			52	26	78	51	26	77

レクリエーション種目	実施日	回数	参加者数
喫茶わいわい			
車椅子清掃			
麻雀の日			
朗読の会			

※2020年度は新型コロナウイルス蔓延防止のため実施していない。

### 【療護部】

### 2-3 短期入所利用者支援状況 【ショートステイ】

2020年度

月	施設別	障害支援区分						施設別 延利用日数	延利用日数	一日平均 利用者数
		1	2	3	4	5	6			
4	更生部	0	0	3	22	0	0	25	48	1.6
	療護部	0	0	0	0	1	2	23		
5	更生部	0	0	0	23	0	0	23	41	1.3
	療護部	0	0	0	0	1	2	18		
6	更生部	0	0	0	22	0	0	22	58	1.9
	療護部	0	0	0	0	1	3	36		
7	更生部	0	0	0	25	0	0	25	57	1.8
	療護部	0	0	0	0	1	2	32		
8	更生部	0	0	0	20	0	0	20	43	1.4
	療護部	0	0	0	0	1	2	23		
9	更生部	0	0	0	26	0	0	26	59	2.0
	療護部	0	0	0	0	1	2	33		
10	更生部	0	0	0	28	0	0	28	61	2.0
	療護部	0	0	0	0	1	2	33		
11	更生部	0	0	0	24	0	0	24	47	1.6
	療護部	0	0	0	0	1	2	23		
12	更生部	0	0	0	18	0	0	18	54	1.7
	療護部	0	0	0	1	1	2	36		
1	更生部	0	0	0	0	0	0	0	43	1.4
	療護部	0	0	0	1	1	2	43		
2	更生部	0	0	0	0	0	0	0	46	1.6
	療護部	0	0	0	1	1	2	46		
3	更生部	0	0	0	0	0	0	0	60	1.9
	療護部	0	0	0	1	1	2	60		
計	更生部	0	0	0	0	0	0	211	617	1.7
	療護部	0	0	0	4	12	25	406		



## 2-4 ADL 状 況

### (1) 更生部 (入 所)

2020年12月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 名	0	1	3	1	1	6	5	1	0	0	0	1
一部介助 名	0	3	3	4	0	0	0	4	1	0	4	2
自 立 名	6	2	0	1	5	0	1	1	5	0	2	3
全介助 %	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	100.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
一部介助 %	0.0	50.0	50.0	66.6	0.0	0.0	0.0	66.6	16.7	0.0	66.7	33.3
自 立 %	100.0	33.3	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	33.3	50.0

\* 在籍 6 名

### (2) 療護部 (入 所)

2021年3月31日現在

介助度	食 事	着 脱	入 浴	整 容	体位交換	服 薬	洗 濯	移乗動作	平地移動	電動車椅子	排 泄	オムツ
全介助 名	14	31	31	18	33	59	72	28	20	6	35	30
一部介助 名	18	27	46	19	20	16	0	29	12	68	30	30
自 立 名	45	19	0	40	24	2	5	20	35	3	12	17
全介助 %	18.2	40.3	40.3	23.4	42.9	76.6	93.5	36.4	29.9	7.8	45.5	39.0
一部介助 %	23.4	35.1	59.7	24.7	26.0	20.8	0.0	37.7	17.9	88.3	39.0	39.0
自 立 %	58.4	24.7	0.0	51.9	31.2	2.6	6.5	26.0	52.2	3.9	15.6	22.1

\* 在籍77名

2-5 食事量形態別食数

2021年3月31日現在

食種・主食		施設別		更生部 (2020年12月31日現在)					療護部					合計
				常食	刻	刻小	ミキサー	計	常食	刻	刻小	ミキサー	計	
一般食	常食	4	0	0	0	4	17	4	1	0	22	26		
	全粥食	0	1	0	0	1	1	1	0	0	2	3		
	軟菜食	米飯	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	4	
		全粥	0	0	0	0	0	1	1	4	0	6	6	
		ミキサー粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ミキサー食	全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ミキサー粥	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	
特別食	PC食 (腎疾患食)	米飯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	易消化食	米飯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ロール食	全粥	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	エネルギーコントロール食①	米飯	1	0	0	0	1	2	2	0	0	4	5	
		全粥	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5	5	
	軟	米飯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		全粥	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	
	エネルギーコントロール食① 減塩	米飯	0	0	0	0	0	3	2	0	0	5	5	
		全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ミキサー粥	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	エネルギーコントロール食②	米飯	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	4	
		全粥	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	
		ミキサー粥	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	エネルギーコントロール食② 減塩	米飯	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	4	
		全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	エネルギーコントロール食②	米飯	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	4	
		全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
減塩 (軟)	米飯	0	0	0	0	0	4	1	0	0	5	5		
	全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	全粥	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1		
経管栄養(胃ろう)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3		
食事なし		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		5	1	0	0	6	29	16	11	12	77	83		

## 2-6 院外受診状況表

( 更生部・療護部 )

2020年度

月	受診科目	内	脳	整	泌	外	皮	神	産	精	歯	眼	耳	そ	計	合計	付添職員数
		科	外科	形外科	尿器科	科	膚科	経内科	婦人科	神科	科	科	科	鼻科			
4	更生部	8	0	1	1	0	4	1	0	1	0	0	0	0	16	38	34
	療護部	6	4	2	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	22		
5	更生部	2	1	0	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	9	29	31
	療護部	12	0	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	1	20		
6	更生部	4	0	0	5	0	4	0	0	1	0	0	0	0	14	49	38
	療護部	12	4	1	3	1	10	0	0	2	0	0	2	0	35		
7	更生部	2	0	3	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	10	42	33
	療護部	9	2	2	3	0	16	0	0	0	0	0	0	0	32		
8	更生部	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6	37	36
	療護部	8	4	2	4	3	4	0	0	1	0	4	1	0	31		
9	更生部	3	0	0	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	9	53	42
	療護部	13	3	3	3	0	16	0	0	1	0	5	0	0	44		
10	更生部	2	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	7	50	35
	療護部	6	5	3	3	2	16	0	0	1	0	6	1	0	43		
11	更生部	3	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	8	31	34
	療護部	8	5	3	4	1	0	0	0	1	0	1	0	0	23		
12	更生部	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	29	33
	療護部	9	4	2	4	3	1	0	0	0	0	2	0	0	25		
1	更生部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	32	28
	療護部	9	2	3	5	1	7	0	0	1	0	2	0	0	30		
2	更生部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	31
	療護部	13	1	0	6	2	10	0	0	1	0	5	0	0	38		
3	更生部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	37
	療護部	10	5	1	4	0	13	1	0	0	0	5	0	0	39		
計	更生部	25	3	6	19	0	18	3	1	10	0	0	0	0	85	467	412
	療護部	115	39	22	47	15	100	1	0	8	0	30	4	1	382		
合計		140	42	28	66	15	118	4	1	18	0	30	4	1	467		412

## 2-7 理学療法実施状況

### (1) 更生部機能訓練

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

### (2) 更生部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	6.5
延人数	188	155	189	180	133	150	155	132	100	35	0	0	1,417	

### (3) 療護部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	30.8
延人数	538	438	529	546	493	484	528	494	662	598	600	759	6,669	

### (4) 日中活動Ⅰ（ハッスルウェンズデイ；スポーツ・ゲーム・作業活動 毎週水曜日午後）

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
実施数	3	2	3	5	3	4	3	4	3	4	3	4	41	22.3
延人数	68	49	65	106	98	101	77	75	62	85	52	76	914	

### (5) 日中活動Ⅱ（チャレンジサタディ；カラオケ 土曜日午後）

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
実施数	4	10	2	6	8	6	3	8	6	8	6	2	69	22.5
延人数	98	218	49	140	188	146	80	175	128	166	126	39	1,553	

### (6) 診療部外来

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	1.0
延人数	8	7	6	4	5	5	8	8	11	6	6	8	82	

## ※ 物理療法実施状況

### 診療部外来

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	18	17.5	20	17	19	17	15	20.5	200	27.8
延人数	535	429	567	534	525	557	662	525	575	505	479	573	5,556	

## ※ 補助用具修理（車椅子・装具等）・意見書・診断書資料

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
補助用具修理	25	25	17	29	17	14	16	9	5	7	3	11	178
意見書・診断書	1	3	0	0	2	1	0	0	1	1	5	0	17

## 2-8 作業療法実施状況

### (1) 更生部機能訓練

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

### (2) 更生部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	3.7
延人数	109	96	116	101	60	62	83	75	56	35	0	0	793	

### (3) 療護部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	19	18.5	17.5	17.5	20	17	19	17	15	20.5	217	11.7
延人数	186	157	190	202	184	203	229	208	250	228	205	290	2,532	

## 2-9 言語療法実施状況

### (1) 更生部機能訓練

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	20	15.5	16	16.5	20	15	18	17	14.5	19	207	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

### (2) 更生部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	20	15.5	16	16.5	20	15	18	17	14.5	19	207	0.0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

### (3) 療護部生活介護

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	20	15.5	16	16.5	20	15	18	17	14.5	19	207	1.2
延人数	32	24	32	18	24	16	23	20	21	12	11	15	248	

### (4) 診療部外来

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実施数	19	16.5	20	15.5	16	16.5	20	15	18	17	14.5	19	207	10.1
延人数	190	176	201	157	162	154	200	146	180	171	151	194	2,082	

## 2-10 自助具制作状況

2020年度

	更生部	更生部通所	療護部	療護部通所	外来	ショート	計
制作数	0	0	0	0	0	0	0

2-11 外来患者月別実績表

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年度1日平均
診療日数	17	15	17	17	16	17	18	15	16	16	14	18	196	58.0
社保患者数	227	217	232	233	225	249	255	231	211	209	200	222	2,711	
国保患者数	771	689	752	740	739	710	793	692	690	673	637	767	8,653	
延患者数	998	906	984	973	964	959	1,048	923	901	882	837	989	11,364	
月1日平均	58.7	60.4	57.9	57.2	60.3	56.4	58.2	61.5	56.3	55.1	59.8	54.9		

3. 在宅福祉サービス事業実績状況

(1) 地域密着型通所介護(のびのびファイン)

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実人数	2	2	3	4	7	8	9	10	15	18	15	16	109	2.0
延人数	7	11	10	13	22	27	41	46	69	68	65	84	463	

(2) 北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービスA)いきいきライフ

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実人数	62	64	71	74	72	71	75	76	76	90	88	92	911	18.3
延人数	236	226	311	284	263	256	314	264	319	333	313	410	3,529	

(3) 北広島市日常生活支援総合事業(通所型サービスC)わくわくフィット

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
実支援日数	4	3	4	4	4	5	4	4	4	4	4	5	49	1.9
延人数	4	3	8	9	7	10	7	7	8	9	9	13	94	

#### 4-1 利用者支援状況

#### 【障がい福祉サービス】

##### (1) 定員（及び登録者数）

2021年3月31日現在

	機能訓練（）内は登録数	生活介護（）内は登録数	共生通所
定員	6 (2)	34 (70)	(11)

##### (2) 利用実績状況

月	機能訓練（定員6名）		生活介護（定員34名）		日中活動合計（定員40名）	
	実利用数(1日平均)	実支援日数	実利用数(1日平均)	実支援日数	実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.3	24	21.2	24	23.6	24
5月	0.2	22	20.9	22	23.1	22
6月	1.2	25	24.0	25	27.4	25
7月	1.0	24	25.4	24	28.9	24
8月	1.0	23	24.9	23	28.4	23
9月	1.2	23	25.3	23	28.3	23
10月	1.1	24	25.0	24	28.3	24
11月	0.9	22	24.1	22	26.8	22
12月	0.4	25	26.7	25	29.0	25
1月	0.4	22	21.3	22	24.1	22
2月	0.4	21	21.2	21	23.7	21
3月	0.9	25	22.7	25	26.1	25
平均	0.8	23.3	23.6	23.3	26.5	23.3

##### (3)-1 性別年齢別状況

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					機能訓練	生活介護
男性	機能訓練	61.7	61.7	61.7		
	生活介護	21.11	82.9	53.2		
女性	機能訓練	62.11	62.11	62.11		
	生活介護	19.8	78	49.11	62.3	51.2

##### (3)-2 性別年齢別状況

年齢範囲（歳）		15	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	合計
		ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	
男性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	3	0	3	0	5	5	8	4	3	2	6	1	1	41
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	生活介護	4	1	4	1	4	1	0	3	3	2	3	3	0	29
合計	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	生活介護	7	1	7	1	9	6	8	7	6	4	9	4	1	70

##### (4) 性別在籍期間別状況

期間範囲（年）	0	0.5	1	3	5	10	15	20	30	合計
	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	
	0.5年未満	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	30年未満		
男性	2	0	6	9	24	0	0	0	0	41
女性	1	2	3	2	21	0	0	0	0	29
合計	3	2	9	11	45	0	0	0	0	70

## (5) 障害状況

## 【障がい福祉サービス】

		脳血管障害による右片麻痺	脳血管障害による左片麻痺	脳血管障害によるその他	脊髄損傷	頭部外傷	脳性麻痺	頸椎損傷	難病	その他	身障手帳なし(精神)	合計
男性	機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	生活介護	7	8	1	2	2	6	5	4	5	1	41
女性	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	生活介護	1	7	0	0	1	6	1	4	7	2	29
合計	機能訓練	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	生活介護	8	15	1	2	3	12	6	8	12	3	70

難病内訳： 遠位型ミオパチー 多発性硬化症 筋緊張性ジストロフィー  
 進行性筋萎縮症 多系統萎縮症 全身性強皮症、シェーグレン症候群  
 先天性代謝異常症

## (6) 障害支援区分

		非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	機能訓練	0	0	0	0	1	0	0	
	生活介護		0	2	13	8	6	12	
女性	機能訓練	1	0	0	0	0	0	0	
	生活介護		0	4	6	1	3	15	
合計	機能訓練	1	0	0	0	1	0	0	
	生活介護		0	6	19	9	9	27	

\* 機能訓練については障害区分認定が無い場合、一次判定（コンピューター判定）結果を記載

## (7) レクリエーション実施状況

レクリエーション種目	実施月	回数	内 容
外出レク	0	0	実施予定であったが、感染症対策のため未実施
焼肉	8	7	感染症対策のため、少人数で複数回に分けて実施
夏祭り	8	6	感染症対策のため、少人数で複数回に分けて実施
セレクトメニュー	6	6	感染症対策のため、少人数で複数回に分けて実施
年忘れ会食会	12	7	感染症対策のため、少人数で複数回に分けて実施

## (8) 地域生活支援事業 ～ 日中一時支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用回数	105	84	135	116	132	123	119	97	121	118	110	95	1355
実利用人数	18	13	15	19	21	18	18	19	17	24	19	19	220



## 4-2 利用者支援状況

## 【障がい児通所支援】

## (1) 定員（及び登録者数）

2021年3月31日現在

	児童発達支援登録数	放課後等デイサービス登録数
定員（5名）	1	23

## (2) 利用実績状況

2021年3月31日現在

月	児童発達		放課後デイ		利用合計（定員5名）	
	実利用数(1日平均)		実利用数(1日平均)		実利用数(1日平均)	実支援日数
4月	0.0		3.0		3.0	24
5月	0.0		3.7		3.7	23
6月	0.0		4.2		4.2	23
7月	0.0		4.2		4.2	24
8月	0.0		4.3		4.3	23
9月	0.0		4.4		4.4	23
10月	0.1		4.4		4.5	25
11月	0.1		4.5		4.6	22
12月	0.1		4.1		4.2	24
1月	0.1		4.1		4.2	22
2月	0.1		4.1		4.1	21
3月	0.1		5.2		5.3	24
平均	0.1		4.2		4.2	23.2

## (3) 性別年齢別状況

2021年3月31日現在

		最低年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢	
					児童発達	放課後デイ
男児	児童発達				4歳10ヶ月	14歳9ヶ月
	放課後デイ	9歳4ヶ月	18歳10ヶ月	14歳8ヶ月		
女児	児童発達	4歳10ヶ月		4歳10ヶ月		
	放課後デイ	11歳7ヶ月	17歳5ヶ月	14歳8ヶ月		

## (4) 医療的ケア

2021年3月31日現在

ケア内容		胃ろう	経鼻	SC	てんかん	酸素	呼吸器	…	…	…	…
人数	児童発達	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	放課後デイ	8	0	5	13	1	1	0	0	0	28

※一人の利用者で複数のケア実施あり

## (5) 障害種目

2021年3月31日現在

		脳障がい	遺伝性疾患	てんかん	先天性	脊髄疾患	代謝疾患	側弯症	染色体異常	…	…
		人数	児童発達	0	0	0	0	0	0	0	1
	放課後デイ	11	1	4	4	1	2	4	1	0	28

※重複障害あり

※難病内訳

## (6) 出身地域別

2021年3月31日現在

		北広島市	札幌市	恵庭市	江別市	由仁町	安平町	…	…	…	…
		人数	児童発達	0	0	1	0	0	0	0	0
	放課後デイ	16	1	2	2	1	1	0	0	0	23

## (7) レクリエーション実施状況

2021年3月31日現在

レクリエーション種目	通年	2021年3月31日現在
季節の製作	4、5、6、7、9、8、9 10、11、12、1、2、 3	あじさい、魚、花火、水族館、コスモス、七夕飾り（短冊）、紅葉、鳥雪の結晶ハローウィン、クリスマスリース、だるま、ちぎり絵（鬼）
季節の行事	4、5、6、7、9、8、9 10、11、12、1、2、 3	水遊び、雪遊び、畑作り（種まき、水まき、収穫）、七夕、書初め、豆まき、じゃんけん大会、ハローウィン、ひな祭り、卒業をお祝いする会
外出レク		コロナ禍の為実施せず
調理レク	7、8、1、3	かき氷、どら焼き、フルーツポンチ、アイスクリーム、カレーライス、サラダ
日々の活動	4、5、6、7、9、8、9 10、11、12、1、2、 3	散歩、ボールプール、スノーズレン、ブランコ、誕生会、絵本、紙芝居、ボードゲームコグトレ、トランプ、ペタンク、風船バレー、カーリング他

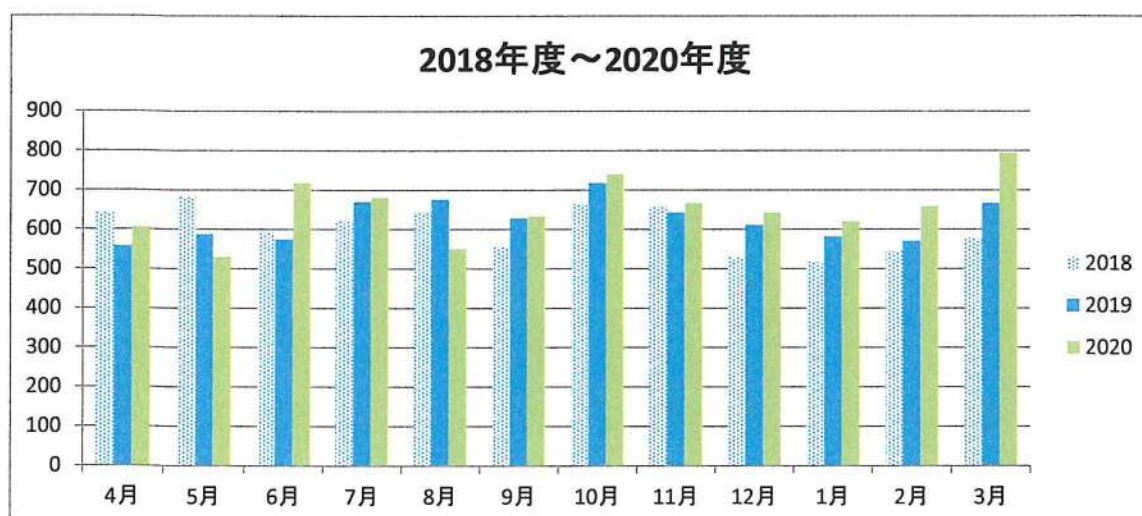
## 5. 障がい者生活支援センターみらい事業実績状況

### (1) 月別相談件数

2020年度

\*同一利用者に関わる相談は一日1件で集計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	607	530	718	681	551	633	740	667	643	621	659	794	7,844

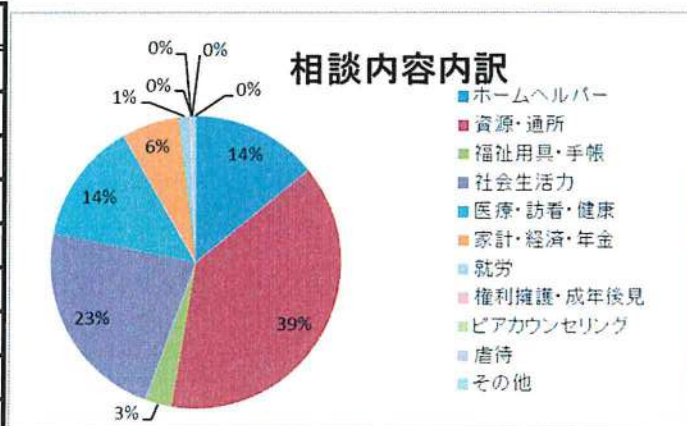


### (2) 内容別・形態別・障害別・地域別相談件数(2020年度)

\*受けた回数をそのまま集計している。(内容が重複している相談は除く)

#### ① 相談内容内訳

相談内容内訳	( )内は前年度人数
ホームヘルパー	1,573 (1,637)
資源・通所	4,293 (3,159)
福祉用具・手帳	331 (292)
社会生活力	2,510 (2,236)
医療・訪看・健康	1,503 (1,427)
家計・経済・年金	711 (592)
就労	143 (232)
権利擁護・成年後見	20 (5)
ピアカウンセリング	15 (15)
その他	13 (32)
虐待	42 (8)
合計	11,140 (9,635)

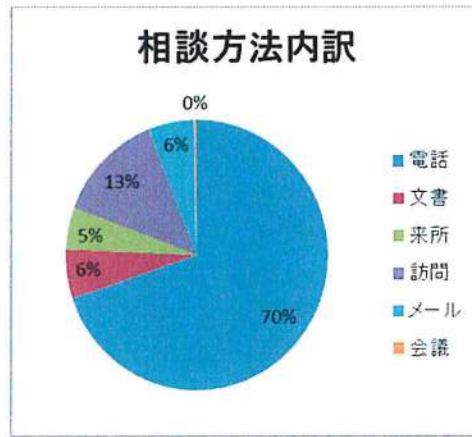


相談件数は増加傾向(昨年度9,365件)。特に「資源・通所」件数の増加は、放課後等デイサービスの新規利用、通所日数に関する相談やコロナウィルス感染症に関連したサービス利用の調整に関する連絡が多かった事による。

また、「社会生活力」は、精神障がいの方を中心に、気持ちの面の不安定さから繰り返しの連絡が多い傾向。コロナウィルス感染症流行の影響からか前年度より不安定な様子が目立った。

② 相談方法内訳

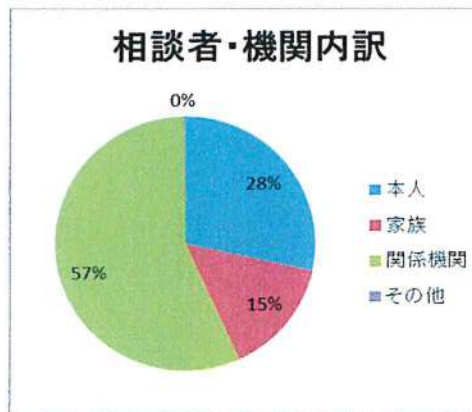
相談方法内訳 ( )内は前年度人数	
電話	8,379 (7,524)
文書	707 (902)
来所	597 (626)
訪問	1,598 (1,482)
メール	682 (690)
会議	37 (63)
合計	12,000 (11,287)



相談方法の比率は昨年同様だが、全体数は増加している。コロナ禍での感染予防対策の為、電話相談対応は増加。状況により、直接面談の必要性が感じられた内容は訪問し、訪問件数は微増となった。来所や会議については必要最低限の実施とした事により、若干の減少。

③相談者・機関内訳

相談者・機関内訳 ( )内は前年度人数	
本人	3,554 (2,943)
家族	1,846 (1,621)
関係機関	7,081 (7,133)
その他	27 (10)
合計	12,508 (11,707)



昨年に比べ全体的に増加がある。相談者本人の精神状況により様々な不安の訴え等が頻繁に来ることも多く、本人からの相談は2割以上増加。(コロナウィルス感染症の影響も感じられる。)

(3)-1 相談数・相談実人数・新規相談数の比較

2020年度

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
相談件数	6,557	6,643	7,690	7,237	7,503	7,868
相談実人数	393	377	405	429	439	426
新規相談件数	81	73	78	65	44	41

新規相談件数は減少傾向にあるが、(のべ)相談件数は過去最高となった。これは、従来からの相談者の相談頻度が増えたことと、しばらく連絡がなかった方から相談があり再び関わるケースが増えたことによる。

(3)-2 相談実人数詳細

2020年度

	身体	重心	知的	精神	発達	その他	実人数
障がい者 (2019年度)	79 (81)	8 (8)	113 (110)	87 (97)	11 (14)	12 (12)	310 (322)
障がい児 (2019年度)	13 (10)	6 (8)	42 (38)	0 (0)	55 (61)	0 (0)	116 (117)
計	92 (91)	14 (16)	155 (148)	87 (97)	66 (75)	12 (12)	426 (439)

全体の実人数は前年より若干少なくなっているが、知的障がい児・者は微増。生活介護等の通所施設や放課後等デイサービスの利用調整等の相談が増えた事に関連している。

## (4)-1 ピアカウンセラー活動内容

2020年度

日（曜日）	講和内容	学校名（参加人数）
7月3日（金）	肢体障がいについて	北広島市立北の台小学校5年（82名）
12月8日（火）	#	北広島市立大曲東小学校4年（80名）
9月24日（木）	聴覚障がい・手話体験	北広島市立西の里小学校5年（45名）
11月5日（木）	#	北広島市立西の里小学校5年（65名）
11月27日（金）	#	北広島市立大曲東小学校4年（80名）

## (4)-2 こころの交流会実施状況 単位：人

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	中止	中止	1	5	3	4	4	4	3	3	5	1	33

コロナウィルス感染予防対策の為5月までは中止していたが、テーマを工夫しながらオンラインでの開催を行った。オンラインなら参加できる方の開拓ともなった。ZOOMアプリの環境設定を個別支援しながら開催したが、環境の無い方については会場に来ていただき、少人数で行った。9月は外での開催としてボールパーク周辺の遊歩道を散策した。

## (4)-3 発達障がい者当事者会 ポンコツクラブ 単位：人

2020年度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	-	-	-	-	3	4	4	4	4	3	1	1	24

登録メンバーは3名だが、予定等の都合で1名参加の時もある。自主的な運営を基本としており、みらい相談員はファシリテーター的な役割で関わっている。

## (5) 計画相談件数（サービス等利用計画作成数）

2020年度

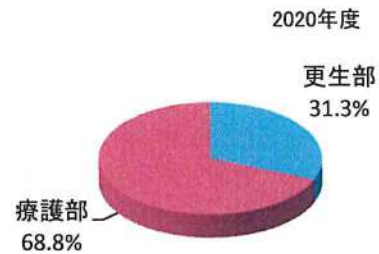
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
計画相談支援	新規	23	13	13	14	8	43	22	14	12	16	17	26	221	737
	継続	34	34	69	43	35	47	44	36	54	41	30	49	516	
障害児相談支援	新規	9	7	22	9	7	5	7	7	5	7	5	26	116	256
	継続	5	15	14	9	5	25	12	9	20	11	10	5	140	
地域移行支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地域定着支援	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新規月別	小計	32	20	35	23	15	48	29	21	17	23	22	52	337	
継続月別	小計	39	49	83	52	40	72	56	45	74	52	40	54	656	
月別	合計	71	69	118	75	55	120	85	66	91	75	62	106	993	

## 6-1. リスクマネジメント報告

～ 事故・ニアミス報告より ～

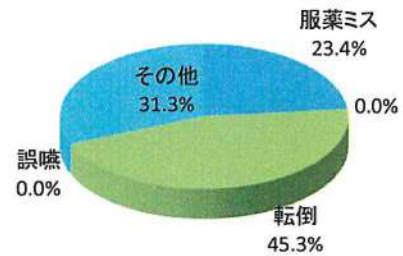
### (1) リスク報告件数

更生部	20 件	31.3%
療護部	44 件	68.8%
計	64 件	100.0%



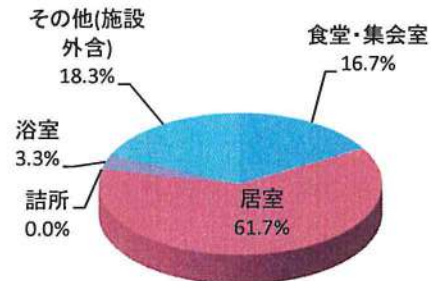
### (2) リスク内容

服薬ミス	15 件	23.4%
転倒	29 件	45.3%
誤嚥	0 件	0.0%
その他	20 件	31.3%
計	64 件	100.0%



### (3) 発生場所

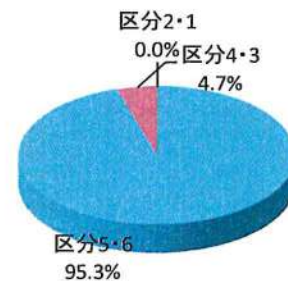
食堂・集会室	10 件	15.6%
居室	37 件	57.8%
詰所	4 件	6.3%
浴室	2 件	3.1%
その他(施設外含)	11 件	17.2%
計	64 件	100.0%



その他に発生場所不明2件を含む

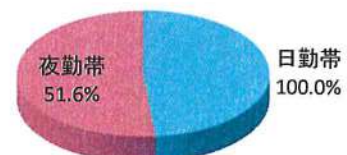
### (4) 対象者障害区分

区分 5・6	61 件	95.3%
区分 3・4	3 件	4.7%
区分 1・2	0 件	0.0%
計	64 件	100.0%



### (5) 発生時間帯

日勤帯	31 件	48.4%
夜勤帯	33 件	51.6%
計	64 件	100.0%



時間帯不明1名

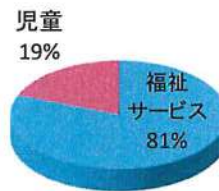
## 6-2 リスクマネジメント報告（障がい福祉サービス・障がい児通所）

～ 事故・ニアミス報告より ～

### (1) リスク報告件数

福祉サービス	21 件	81.0%
児 童	6 件	19.0%
計	21 件	100.0%

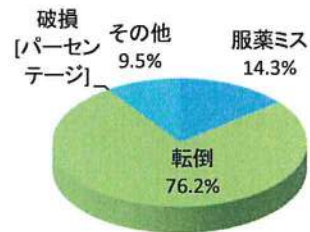
2020年度



※ 更生部・療護部とも通所を含む

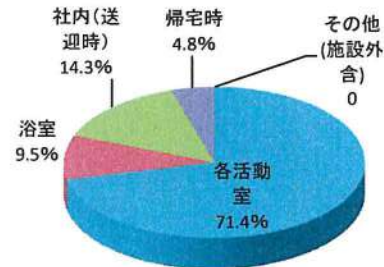
### (2) リスク内容

服薬ミス	2 件	9.5%
転倒	9 件	42.9%
破損	3 件	14.3%
その他	7 件	33.3%
計	21 件	100.0%



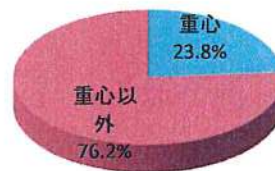
### (3) 発生場所

各活動室	11 件	52.4%
浴室	3 件	14.3%
車内（送迎時）	5 件	23.8%
帰宅時	2 件	9.5%
その他	0 件	0.0%
計	21 件	100.0%



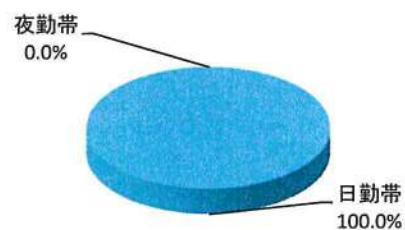
### (4) 対象者障害区分

重度心身障害児	6 件	28.6%
重心以外	15 件	71.4%
計	21 件	100.0%



### (5) 発生時間帯

日勤帯	21 件	100.0%
夜勤帯	0 件	0.0%
計	21 件	100.0%



2020年度 更生部 事業総括

主管 管理者

<p>事業方針</p>	<p>更生部は、当法人の障がい者施設第2期3ヶ年アクションプランに基づき、2020年度更生部入所支援事業の定員の縮小並びに最終的には廃止を目標に施設体系の見直しを進めていく。現在、在籍中のお客様については、当法人療護部を含めた他施設移行が主な移行先となるが、今後の生活についての意思確認を引き続き行いながら適切な時期を見定め移行を進めていくこととなる。</p> <p>施設生活においては、当法人の基本理念・倫理綱領に基づき、お客様が生きる喜びを感じ、この先目標とする生活に近づけることができるよう生活・医療・訓練において適切なサービス提供ができるよう努めていく。</p>
<p>重点項目</p>	<p>1) 「サービスの質の向上」への取り組み                  法人の基本理念や倫理綱領に基づき、お客様一人ひとりの個別性を理解し、毎日の生活において「生きる喜び」や「大切にされている」と感じられるサービスを提供する。サービスの適正化・標準化を図るための取り組みとして、ケアガイドラインの活用と第三者（苦情解決委員、北広島市、北広島市社会福祉協議会、弁護士等）によるサービス検討委員会を開催していく。</p> <p>2) グランドデザインへの取り組み                  更生部定員数については、今年度中に入所支援事業の廃止を目標に現員数の状況を見定め定員数の変更（40名→20名→廃止）を行っていく。当法人内施設を含め移行先となる施設へスムーズな移行が図れるよう進めていく。</p> <p>2021年度の施設全体改修に向けては、お客様の生活環境の見直しを第一に考え、ハード・ソフト両面の見直しを行うための準備期間として重要な一年となる。お客様、ご家族、地域住民の方々に喜んでもらえるよう魅力あふれる施設づくりを目指していく。</p> <p>3) 感染防止対策の取組                  入所支援の状況から感染症が施設内で発生した場合、感染が拡大するリスクが大きい。このため、まずは「感染を持ち込まない」「感染を広げない」ことを主眼に置き、消毒・検温・換気を徹底する。感染拡大防止ガイドラインに基づき、発生した場合においては拡大しないよう感染対策に対する知識を高め、感染被害を最小限度にとどめるよう環境整備に努める。</p>
	<p>【最終評価】</p> <p>グランドデザインに基づき、更生部廃止に向け全課協力し取り組んできた。3年前に行った利用者様、家族様への説明会から更生部在籍のお客様がゼロになるまで長い期間であったが目標を達成することができた。一つの事業を廃止するということは、新規事業を立ち上げることより難しいことであった。開設からこれまで更生部を利用いただいたお客様、ご家族、さらにこの事業に関わった大勢の職員に感謝するとともに、一本化された療護部がサービスを利 dụngされるお客様や地域に求められる施設となるようサービスの質の向上に努めていきたい。</p>

2020年度 療護部 事業総括

主管 管理者

<p>事業方針</p>	<p>療護部は、当法人の障がい者施設第2期3ヶ年アクションプランに基づき、2022年度までに療護部を核とした施設体系の見直しを進めることを基盤に、①現行の施設の運営体制の見直し、②サービスの質の向上に向けた取り組み、③今後の施設全体改修の具現化、以上3つを柱とする「グランドデザイン」を確実に実践できるよう、当法人の基本理念・倫理綱領に基づき、職員が一丸となって取り組んでいくことを当施設の基本方針とする。</p> <p>この基本方針を基に、お客様一人一人が心豊かで快適な生活が出来るよう、お客様の意思及び人格を尊重した個別支援計画を作成し、チームケア・チームアプローチによりサービスを提供する。また、お客様及びその家族からの施設サービスに関することやグランドデザインに関することなど、いかなる相談・要望・苦情についても誠意を持って対応し、お客様、ご家族や地域に求められる施設となるよう職員が一体となって事業の推進に努める。</p>
<p>重点項目</p>	<p>1. 「生活の質の向上」に向けての取り組み                  個々の利用者の障がい程度や特性に充分配慮した個別支援計画を策定し、サービス提供場面上においては、個別支援計画実現のために、他職種協働によるチームを組んで支援を提供する。（チームケアの強化）                  また、サービスの標準化を図るための取り組みとして、ケアガイドラインの活用と第三者（苦情解決委員、北広島市、北広島市社会福祉協議会、弁護士等）によるサービス検討委員会を開催する。</p> <p>2. 安定した施設運営に向けての対策                  「障がい者施設第2期3ヶ年アクションプラン」に基づき、2022年度に予定する療護部主体の運営体制の収支状況の分析を進める。                  このほか、次回報酬改定（2021年4月）に対する収支シミュレーションを行い、財政の安定化を図る。</p> <p>3. グランドデザインへの取り組み                  更生部と連動し、利用者の意向や支援体制の状況を鑑みながら適切な利用者受入れを進める。また、2021年度の施設全体改修を目指し、より詳細な改修計画を作成するとともに、ハード面だけでなく、ソフト面の事業の確立を目指し、利用者が生活に喜びを感じ、また、職員の働く意欲が湧いてくるような施設環境整備をする。</p> <p>4. 感染症防止対策の取り組み                  入所支援の状況から、感染症が施設内で発生した場合、感染が拡大するリスクが大きい。このため、まずは「感染を持ち込まない」ことに主眼を置き、消毒・検温・換気を徹底する。同時に、発生した場合においては拡大しないよう感染対策に対する知識を高め、感染被害を最小限度にとどめるよう環境整備に努める。</p>
	<p>【最終評価】</p> <p>コロナウイルス感染症の対応のため、やや活動が停滞した感はあるが、その中で、業務の適正化や生活の質の向上に向けた取り組みを継続できている。グランドデザインの大規模改修工事については計画を見直すことになったが、年度内には全体計画が完成できるよう引き続き取り組んでいく。また、更生部・療護部の事業の統合については着実に準備が進んでおり、今後、利用者・家族への説明後に実施する予定である</p>

## 2020年度 診療部 事業総括

主管 管理者

事業方針	
<p>診療部は、2017年度から北広島市介護予防日常生活支援総合事業を開始し、2018年度においては診療体制の見直しと薬剤管理の外部化によって収支バランスの適正化を図ってきた。2020年は新規事業（地域密着型通所介護事業）の開始に伴い、法人内の会計区分（拠点）の見直しを行い、診療部については施設を利用されるお客様（施設入所者、通所外来）の診療報酬のみを収入源とするシンプルな会計区分とする。2020年度は、現診療体制のもと引き続き障がい者施設、高齢者施設利用者の健康管理に努めていく。</p>	
重点項目	
1) 健康管理への取り組み	施設で生活されるお客様の健康管理（予防・早期発見・治療）は、健康な生活を継続する上で重要な関わりである。障がいの多様化・重度化、高齢化から医療的な処置を必要とするお客様は多く、他医療機関への受診や入院はお客様にとつての負担（不安）を強い、施設にとつても経営上大きな影響を及ぼすものである。施設（地域）で生活されているお客様が安心して生活を送れるよう健康管理に向けた診療体制の確保に取り組んでいく。
2) 感染防止対策の取り組み	重度障がい者や高齢者においては感染リスクが高まることを踏まえ、感染対策・衛生委員会と連携して感染対策マニュアル、感染拡大防止ガイドラインに基づいた感染予防に努める。感染症が発生した場合の対策など今後の感染対策マニュアルの見直しを進める。
【上半期評価】	【最終評価】
<p>診療部は今年度から北広島市介護予防日常生活支援総合事業が外れ、医療事業収入による収支を図ることとなった。更生部利用者数の減員もあり上半期の収入は減少傾向にある。</p> <p>外来リハビリテーションへの取り組みについては訓練課を中心とした他課との協働のもと、施設利用者の機能維持・向上を目的に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症防止策については、法人が定めた感染拡大防止ガイドラインに添った対応を実施してきたが、今後も引き続き診療スタッフが中心となって施設利用者の健康管理に努めていく。</p>	<p>施設で生活されているお客様は、この一年特に感染症対策に重点が置かれたことから、お客様はもとより職員自身も健康管理についての意識に変化が現れた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、感染拡大防止ガイドラインに添って、日々、お客様の体調の変化（発熱、発疹時の対応等）に注視し、施設内で同ウイルスによる感染者を一人も出すことなく一年を終えることができた。</p> <p>事業収入については、お客様の減員により減少傾向は続いている。</p>

## 2020年度 総務課庶務係 事業総括

主管 総務課

事業方針	
<p>深刻な労働者不足により人材確保が困難な状況下で、働き方改革に対し当施設として取り組みを強化し、労働者一人ひとりが安心して職務に励むことができるようサポートしていき、業務に必要になってくる。そのため情報提供や説明ができるよう各々が変動する情報や制度について知識力を高め、職員の生活に不利益が生じないよう取り組んでいく。また施設の顔として利用者・家族および外部のお客様に信頼されるよう業務を展開していく。</p>	
重点項目	
1) 庶務係は施設の入り口として挨拶、言葉遣いに気を配り、礼儀正しく、笑顔で誠意ある態度で接していく。	
2) 庶務係は利用者、職員、外部のお客様の立場にたち、生活を含めた全般をサポートする役割を担っているため、信頼される庶務係（事務室）となるよう業務を展開していく。	
3) 庶務係は利用者・職員・外部のお客様に対し安心・安定した継続的福利厚生やサービスを提供できるように取り組みを行っていく。	
4) 庶務係は特定のあらゆる個人情報が集約する部署であり、その情報管理は厳重に行わなければならない。また外部からの各種通知、依頼等も多々あるため、必要な内容をきちんと精査し適切に精査することが求められる。	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>上半期は新型コロナウイルスの影響により、予定していたことが中止や延期となり、例年とは違う日々が続いている。コロナの影響は各々のライフスタイルをも変化させるほどで、その流れに合わせて仕事への取り組み、対応が求められる状況になりつつある。総務課としてまずは最初の窓口となる為、コロナを持ち込み、持ち込めないための対応を今後も引き続き行っていく。</p>	<p>2020年度は新型コロナウイルスの対応で通常業務とは違う面もあったが、全職員の努力によりコロナが施設で出ることもなく、下半期はある程度計画通り業務ができたことは良かったと思う。またコロナ禍だからこそ、色々と付いた見えてきた。またコロナ禍だからこそ、コロナの影響はまだまだ続くと思定されるため、慢心することなく取り組んでいきたい。</p>



2020年度 総務課 施設業務係(業務) 事業総括

主管 総務課

事業方針	
<p>お客様がスムーズに診療を受けられる様に関係部署との連携を図り、報酬設定を含む情報収集に努めることにより医療費収入の増加をはかる。</p>	
重点項目	
<p>1) 窓口業務 笑顔の挨拶や声がけを心掛け、迅速な対応を行うようにします。</p> <p>2) 医療関係書類の管理、整理 他医療機関、公的機関の問い合わせに迅速に対応するために管理・整理をしっかりと行う。</p> <p>3) 診療報酬の作成 毎月の診療報酬請求で請求漏れがないようにカルテ、処方箋の点検を行う。</p> <p>4) 医師、各課、係との連携 情報の行き違いやミスがないように報連相をしっかりと行う。</p>	<p>【上半期評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に問題なく各事業項目を行っている。</li> <li>・院内処方から院外処方に切り替わり、各部署、薬局との連携を図り入院・退院やその他のミスがないように努めている。</li> </ul> <p>【最終評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に問題なく各事業項目を行っている。</li> <li>・今後医師の診療日の縮小等を行うため、入所利用者及び外来患者に不都合が起きないように注意を払っていく。</li> </ul>

2020年度 総務課施設業務係(施設) 事業総括

主管 総務課

事業方針	
<p>グラントデザイン・アクションプランに基づき、2021年度には施設改修を予定しているが、現在の施設敷地内外の建物、設備、車両の維持管理にあたっては、既存の機能や生活のしやすさを低下させることなく、安全性、効率性、快適性に留意し利用者の処遇と職員の業務効率の向上に努める</p>	
重点項目	
<p>1) 建物の維持 開設44年を迎え建物の老朽化が著しくなっている。 日々のメンテナンスは行っているが、大規模改修まで使いやすききれいな施設を維持していく</p> <p>2) 設備の管理 施設の設備には大きな動力を使うものが多く定期的な点検が不可欠である。 業者による定期点検の他、自主点検を行いしっかりと行っていく。</p> <p>3) 車両の管理及び運転 車両については過走行や古い年式の車両が大半を占めているため日々のメンテナンスや点検が不可欠である。業者による定期点検の他、自主点検を行っていく。</p> <p>4) 光熱水費及び燃料費 重油や電気等は年間の使用量が大きな支出に結びつくため、普段より使用量等の調査を行いよりこまめな調整を行っていく。</p> <p>5) 除雪・排雪 除雪は職員が駐車場を使用する時間には終了できるように心がけている。管理当直者との連携を心掛けていく。</p>	<p>【上半期評価】</p> <p>1) 建物の経過年数等による損耗、破損箇所等はあるが、営繕依頼等については迅速に対応していき、清潔な環境を維持する事が出来ている。</p> <p>2) 各業者との連携をとり法的点検、保守点検の実施が出来ている。</p> <p>3) 車両の経過年数等により故障等が増えているが、最良の状態で使用できるよう車両定期検査、自主検査をやっている。</p> <p>4) ・暖房の逃水、設定温度や各系統の循環ポンプ運転は、天候や気温に応じ微調整している。 ・車両にあたっては、無駄なアイドリングを避け、無理のない運転をして燃費を伸ばし、燃料(ガソリン、軽油)の節約をしている。</p> <p>【最終評価】</p> <p>1) 上半期同様、出来ている</p> <p>2) 〃</p> <p>3) 出来ていない箇所があった。</p> <p>4) 上半期同様、出来ている</p> <p>5) 〃</p>

2020年度 総務課給食係 事業総括

主管 総務課 (給食係)

重点方針	
<p>日々の食事を着実に提供し続けるという基本的職務を2020年度の方針としたい。 その上で今年改訂される“食事摂取基準”、又 HACCAP・大量調理施設衛生管理マニュアルに則りながら『食べる事は生きる事』の原点に立ち返り、調理工夫と資質向上に努める。</p>	
重点項目	
<p>1) 各指針に則りつつ、日々の給食を着実に提供し続ける</p> <p>2) 基本理念及び『食べる事は生きる事』というサービスの原点に立ち返る</p>	<p>【上半期評価】</p> <p>上半期は終始一貫、最小必要限の食事提供を維持する事に重きを置いた為ご利用者様や給食係職員の意向が後手となった。しかし業務再編成を機にご利用者様や給食係職員の意向が後手となった。1年を通して変化が多く余裕のない一年であったが職員各々問題提起し給食係全体で取り組みた事は大きな成果であり困難事への対応力は向上している事から事を概ね良いと評価したい。</p>
<p>【最終評価】</p> <p>上半期はご利用者様ニーズが後手となったものの、下半期は意向を踏むべく解決策を模索し従来とは形を変えた中で応える事ができたのではないかと考える。1年を通して変化が多く余裕のない一年であったが職員各々問題提起し給食係全体で取り組みた事は大きな成果であり困難事への対応力は向上している事から事を概ね良いと評価したい。</p>	

2020年度 会計課 事業総括

主管 会計課

事業方針	
<p>2020年度は前年度の業務内容及び財務状況を振り返りつつ、法人が直面する経営課題に対して新たな施策がとれるよう、さらに一歩進んだ視点から財務情報が提供できるよう取り組んでいく。昨今、新社会福祉法が打ち出した財務規律の強化を踏まえ、将来に備えるべく内部統制の確立という目標に向けて、着実に近づけるよう具体的な対応をさらに検討し実践に移していくことが極めて重要であると考えている。内部統制では結果はもとよりそのプロセスが重要視されるものである。どのような体制で互いに牽制効果を生み出すことが出来るかが問われることになる。また財政的な見地からは介護報酬等の収入において、人材不足による受入ができない状況、地域での他事業者との競合、お客様の重度化によるサービス体系の変化及び入院等による利用稼働率の減少などの要因により一部の事業所では苦戦を強いられる状況もみられる。このことは経営面でも大きな影響を及ぼし、事業の持続性という観点でも重要な課題であることは言うまでもない。財務の安定は法人にとっても様々な利益をもたらすと同時にお客様に対するサービスの質を担保する上では必要不可欠である他職員にも意欲と活力を見出すものである。2022年度以降に行う大規模改修に向けて、今年度はその準備期間としても重要な役割を担う時期となり、収入推移をいち早く察知し、費用対効果としての分析が必要になる他、投資する上での採算性、成長性も十分考慮することも求められてくる。当課としても財務上における種々の対策を模索し、提案できるよう取り組んでいくこととする。また課内においては大きな転換を図る年度でもあり、業務分担、引継ぎを通して職員一人一人がさらにスキルアップし、業務の効率化を目指していくことにしたい。日常的業務の効率化を認めている。法人の基本理念並びに倫理綱領に基づき、職員としての資質を更に向上させて、その役割が最大限発揮できるよう努めていきたい。</p>	
重点項目	
<p>1) 決算業務に係る明確な目標設定を行い、短時間で業務が過度にならないよう取り組む。</p> <p>2) 会計課業務の合理化・省力化を図り、より効率的かつ正確な会計処理に努める。</p> <p>3) 将来に備えて、会計課職員それぞれの業務を理解し、熟練するための取り組みを行う。</p> <p>4) 寺田税理士事務所による月次巡回監査への対応と勉強会への積極的な参加。</p> <p>5) 経営会議、幹部会、チーフ会議等の収支報告への対応。</p> <p>6) 法人の基本理念に基づき、職員として相応しい行動を常に心がけて、評価されるよう努める。</p>	<p>【上半期評価】</p> <p>本年度上半期はTKC財務会計システムの導入から2度目の決算となり、一部の処理に遅れは見られたものの概ね、予定した期日に終了している。年々、制度上における財務規律が強化され、事務処理が多岐に及ぶ中、このTKC財務会計システムによる会計処理や北洋ビジネスダイレクト導入による出納業務は着実に業務の効率化という点では成果を挙げているものと考えている。この成果により生まれた時間的余裕という付加価値が一般的な新型コロナウイルスにおける様々な予算調整や物品調達等の迅速化を可能にしているものと捉えている。今後も引き続き、新型コロナウイルス禍の動向を速早く察知し、財政面への影響が最小限に抑えられるよう情報提供を行い、かつ傾向を分析しながら財務上の新たな提案ができるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>【最終評価】</p> <p>本年度はTKC財務会計システムの活用により月次での処理がこれまで以上に修正箇所も少なく、効率良く業務を熟練させることができた。また北洋ダイレクトの活用により更生部・探検部のアカウントの伴う資金減少やコロナ禍の影響により収益が低下した通所系事業における資金繰りの面でも常時、預金残高を把握し、迅速かつスムーズに対処することができたと考えている。今後ともさらに会計業務の効率化を図り、様々な視点から情報提供が図れるよう取り組んでいきたい。</p>	

## 2020年度 福祉課 事業総括

事業方針		主管 福祉課
<p>◇入所施設利用者は長期利用・高齢化ともないADLや活動性の低下が進んでいる。生活のマンネリ化によるストレス、活動意欲の低下や精神疾患によるサポートが必要な利用者も多く、各専門職員の連携は欠かせない要素である。個別支援計画に基づき、安心感のある生活の中で意欲的に生活出来る支援の提供が求められている。また、利用者の金銭的扱いやより地域生活に近いサービスの提供など信頼感のある業務に努め、不安なく生活して頂く様にして行きたい。</p> <p>◇更生部ではグラッドデザイン(アクションプラン)に基づいた利用定員の整理に向け、利用者個々の状況を考えつつ、療護部および他施設・地域移行への調整を図って行く事が急務となっている。</p> <p>◇療護部では医療ケアの必要性・高齢化が進んでいる状況がみられる。生活環境やどのような生活様式を望むのか、どのようにすればよりよく生活がおくれるのかを総合的に考えていくために、あらためてアセスメントして行きたい。また、複数のサービスが統合的に提供されることでより質の高いサービスの提供を目指していきたい。</p> <p>◇多様化する利用者、家族ニーズや社会資源の増加など施設内にとどまらず、地域、他支援機関とのネットワークや当施設が地域資源の一つであるとの意識を持ち、意識的な行動が必要と考えている。</p>		
重点項目		
1) 相談員としての資質(利用者ニーズや施設課題への対処、調整能力)の向上を目指す。		
2) 個別支援計画の作成・モニタリングの徹底 サービス利用計画作成に伴う他事業所との連携。		
3) 他職種・関係機関との連携によりサービスの充実を図り、利用者の可能性を広げる支援を行う。		
【上半期評価】		【最終評価】
◇更生部はグラッドデザインに基づき 定義変更(削減)をすすめているが、移行調整段階のケアスもある。本人、家族の意向も随時確認のうえ最終調整に向け、適時関係部署と評議しすすめて行く。	◇更生部はグラッドデザインに基づき 定義変更(削減)をすすめているが、移行調整段階のケアスもある。本人、家族の意向も随時確認のうえ最終調整に向け、適時関係部署と評議しすすめて行く。	◇更生部はグラッドデザインに基づき 定義変更(削減)をすすめているが、移行調整段階のケアスもある。本人、家族の意向も随時確認のうえ最終調整に向け、適時関係部署と評議しすすめて行く。
◇療護部では、上半期6名の方の退所があった。死亡退所を除き、他機関への移行を他課との連携や他機関の協力を得ながら予定通りに進めることができた。下半期は病院訪問を実施していた。新規利用者の受け入れについて体制を整えていきたい。	◇療護部では、下半期5名の方の退所があった。他施設移行を中心に他課・他機関と連携・協力を図りながら進めることができた。新規受け入れに関しては新型コロナウイルスなどの影響で病室訪問の実現が難しくなり、外部からの新規受け入れの滞りが見られた。	◇療護部では、下半期5名の方の退所があった。他施設移行を中心に他課・他機関と連携・協力を図りながら進めることができた。新規受け入れに関しては新型コロナウイルスなどの影響で病室訪問の実現が難しくなり、外部からの新規受け入れの滞りが見られた。
◇コロナ拡大予防のため外出支援を実施できず、施設内行事もコンパクトなものとなってしまい利用者様の満足いくサービスを提供することが難しい一年となった。不要不急の面会をご家族等に控えていただくにあたりオンライン面会を検討していきたい。	◇コロナ拡大予防のため外出支援を実施できず、施設内行事もコンパクトなものとなってしまい利用者様の満足いくサービスを提供することが難しい一年となった。不要不急の面会をご家族等に控えていただくにあたりオンライン面会を検討していきたい。	◇コロナ拡大予防のため外出支援を実施できず、施設内行事もコンパクトなものとなってしまい利用者様の満足いくサービスを提供することが難しい一年となった。不要不急の面会をご家族等に控えていただくにあたりオンライン面会を検討していきたい。

## 2020年度 訓練課 事業総括

事業方針		主管 訓練課
<p>障がい者施設で掲げる3ヵ年アクションプランも3期目に入り、グラッドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクトで更生部の廃止に向け入所利用者様の療護部への移行と新規通所事業の推進を図っている。</p> <p>入所事業においては、更生部の廃止に向け、更生部入所者様が療護部へと移行する方々も増えてきており、更生部と療護部の垣根も無くなって来ている。入所利用者様に対しては、いつまでも健康で安心して施設生活を送って頂くよう、リハビリテーション及び日中活動の充実を図り、心身機能の維持・向上とQOLの向上を目指します。また、法人の基本理念である「お客様に喜んでもらえるように」「お客様の役に立てるように」を念頭に専門知識・技術を活かし「自立支援」「自己実現」を基調とし、お役様本位のサービスを提供いたします。</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業において、3年目を迎えるお客様のニーズ達成や介護度の改善等も図れ、順調に登録数も増加し、「地域に求められる資源として」お役に立てる機会を多くいただいている。北広島市の高齢化率や要介護認定者数は年々増加し、またリハビリニーズも年々高まっている状況にあり、今年度より新規事業としてリハビリ特化型の地域密着型通所介護を開始する。法人理念・信条を实践する為、専門性ある良質な高齢者リハビリテーションの提供と個人の活動と生活機能の向上及び健康増進の支援を行い、可能な限り居宅生活が継続できるよう、市や高齢者支援センター、居宅介護支援相談事業所などと共に連携を図り、地域に根ざしたサービスを提供していきたい。また、個々の運動管理能力と自立支援を促し、要支援・要介護度の改善を図れるよう支援いたします。</p> <p>感染症予防対策について、2019年2月頃から世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、北海道内では石狩管内で多くの感染者が確認された。北広島市内でも10名を超える感染者が確認され、施設内へ感染をもち込まない為の対策が重要課題として挙げられる。当事業所を利用者される利用者様に安心・安全にご利用頂けるよう感染症対策に取り組んでいきます。</p>		
重点項目		
1) 入所事業：施設で生活されている利用者様の心身機能維持・向上や介護予防を図れるようリハビリテーションを実施し、ADL動作の改善や「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう支援いたします。また、楽しみや生きがいを持って主体的に充実した生活を送って頂くよう日中活動やレクリエーションの充実を図り支援いたします。	1) 入所事業：施設で生活されている利用者様の心身機能維持・向上や介護予防を図れるようリハビリテーションを実施し、ADL動作の改善や「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう支援いたします。また、楽しみや生きがいを持って主体的に充実した生活を送って頂くよう日中活動やレクリエーションの充実を図り支援いたします。	1) 入所事業：施設で生活されている利用者様の心身機能維持・向上や介護予防を図れるようリハビリテーションを実施し、ADL動作の改善や「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう支援いたします。また、楽しみや生きがいを持って主体的に充実した生活を送って頂くよう日中活動やレクリエーションの充実を図り支援いたします。
2) 通所事業：総合事業では、介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、運動の自己管理能力や自立支援を促します。個人の身体機能評価や姿勢評価を行い、エビデンスに基づいた包括的高齢者運動プログラムを実施する事で運動効果を最大限に引き出し、自立した地域生活を送ることができるよう支援いたします。地域密着型通所介護では、お客様が可能な限り居宅において、自分らしく生活を送る事が出来るよう、ケアプランや基本理念に基づいたリハビリテーションを提供いたします。ツールとして、総合事業・通所介護共に新たにデジタルミラーを活用し、評価を可視化し、お客様・ご家族様、担当ケアマネジャーと情報共有出来るよう、定期的に評価し、説明と同意を図ります。また付加価値として、STによる口腔内環境や嚥下・言語機能の評価し、セルフトレーニング等の指導も支援いたします。	2) 通所事業：総合事業では、介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、運動の自己管理能力や自立支援を促します。個人の身体機能評価や姿勢評価を行い、エビデンスに基づいた包括的高齢者運動プログラムを実施する事で運動効果を最大限に引き出し、自立した地域生活を送ることができるよう支援いたします。地域密着型通所介護では、お客様が可能な限り居宅において、自分らしく生活を送る事が出来るよう、ケアプランや基本理念に基づいたリハビリテーションを提供いたします。ツールとして、総合事業・通所介護共に新たにデジタルミラーを活用し、評価を可視化し、お客様・ご家族様、担当ケアマネジャーと情報共有出来るよう、定期的に評価し、説明と同意を図ります。また付加価値として、STによる口腔内環境や嚥下・言語機能の評価し、セルフトレーニング等の指導も支援いたします。	2) 通所事業：総合事業では、介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、運動の自己管理能力や自立支援を促します。個人の身体機能評価や姿勢評価を行い、エビデンスに基づいた包括的高齢者運動プログラムを実施する事で運動効果を最大限に引き出し、自立した地域生活を送ることができるよう支援いたします。地域密着型通所介護では、お客様が可能な限り居宅において、自分らしく生活を送る事が出来るよう、ケアプランや基本理念に基づいたリハビリテーションを提供いたします。ツールとして、総合事業・通所介護共に新たにデジタルミラーを活用し、評価を可視化し、お客様・ご家族様、担当ケアマネジャーと情報共有出来るよう、定期的に評価し、説明と同意を図ります。また付加価値として、STによる口腔内環境や嚥下・言語機能の評価し、セルフトレーニング等の指導も支援いたします。
3) 消防銃撃・外来リハビリテーション・物理療法による疼痛緩和を図り、慢性疼痛の予防や心理的ストレス軽減を支援いたします。また、STでは、口腔ケア・摂食嚥下療法を実施し、口内環境の改善・慢性肺炎の予防を図ると共に利用者様にいつまでも食べる事の喜びや楽しみを感じて生活を送って頂くよう、基本理念でもある「力が出るほうれんそう」を念頭に他部門との連携を図り、施設全体で行けるよう支援いたします。	3) 消防銃撃・外来リハビリテーション・物理療法による疼痛緩和を図り、慢性疼痛の予防や心理的ストレス軽減を支援いたします。また、STでは、口腔ケア・摂食嚥下療法を実施し、口内環境の改善・慢性肺炎の予防を図ると共に利用者様にいつまでも食べる事の喜びや楽しみを感じて生活を送って頂くよう、基本理念でもある「力が出るほうれんそう」を念頭に他部門との連携を図り、施設全体で行けるよう支援いたします。	3) 消防銃撃・外来リハビリテーション・物理療法による疼痛緩和を図り、慢性疼痛の予防や心理的ストレス軽減を支援いたします。また、STでは、口腔ケア・摂食嚥下療法を実施し、口内環境の改善・慢性肺炎の予防を図ると共に利用者様にいつまでも食べる事の喜びや楽しみを感じて生活を送って頂くよう、基本理念でもある「力が出るほうれんそう」を念頭に他部門との連携を図り、施設全体で行けるよう支援いたします。
4) 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品・送迎車輦の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂くよう取り組んでいきます。	4) 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品・送迎車輦の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂くよう取り組んでいきます。	4) 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品・送迎車輦の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂くよう取り組んでいきます。

2020年度 訓練課更生部 事業総括

主管 訓練課

事業方針

- 1) 施設で掲げるアクションプランも3期目に入り、グランドデザイン“夢・未来・感動”プロジェクトで更生部の縮小に向け今年度からは定員20名となる。訓練課としてもプロジェクトの動向を見据え、利用者様の療護部などの新たな生活環境への移行の際、他部門との連携を図り、利用者様へのストレスが出来るだけかからないように「同じ目線の高さ」「声掛け」「聞き手に回る」など、利用者様が安心して生活出来るよう支援いたします。
- 2) 施設で生活されている利用者様の心身機能維持・向上や介護予防を図れるようリハビリテーションを実施し、ADL動作の改善や「生活のしづらさ」を解消し、その人らしい生活が送れるよう支援いたします。また、楽しみや生きがいを持って主体的に充実した生活を営んで頂けるよう日中活動やレクリエーションの充実を図り支援いたします。
- 3) 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。

重点項目

- 1) リハビリテーション実施計画書を作成し、アセスメントに沿って利用者機本位のリハビリテーションを実施すると共に、利用者様の心身機能の状況や車椅子・補装具などの使用状況を他部門と連絡・相談・連携を図り、新たな生活環境へスムーズに移行出来るよう支援いたします。
- 2) 施設で生活されている利用者様のADL動作の改善や「生活のしづらさ」を解消出来るようリハビリテーションを実施致します。また、楽しみや生きがいを持って主体的に充実した生活を営んで頂けるよう日中活動やレクリエーションの充実を図ります。
- 3) 感染症予防対策として、訓練機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、1ケア1消毒を行い利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。

【最終評価】

更生部においては、今年度、3月をもって閉鎖となつたが、療護部への移行や他施設への移行がスムーズに行えるようサポートする事が出来た。

【上半期評価】

リハビリテーションについては、実施計画書に基づき実施出来ている。利用者様の車椅子や補装具の調整も生活に不備が起こらないよう都度調整出来ている。レクリエーション・趣味活動については、療護部と合同に実施し利用者間での交流が持てるよう実施している。感染症予防については、機械器具の1使用1消毒の徹底や訓練棟内の換気の徹底を図り安心して利用して頂けるよう取り組んでいる。

【最終評価】

入所事業については、年間を通して、更正・療護部共にリハビリテーション実施計画書に基づき、個別リハビリ及び車椅子等の生活環境の整備など、個々の利用者様の思いを聞き入れ取り組む事が出来た。更生部においては、今年度、3月をもって閉鎖となったが、療護部への移行や他施設への移行がスムーズに行えるようサポートする事が出来た。療護部においては、上半期まで個別リハビリ実施者3名であったが、下半期に3名の個別リハビリを実施する事ができ、療護部利用者全員にリハビリを提供する事が出来ている。また、施設での生活を充実して頂くよう、レクリエーションや趣味活動をの充実も図り、カラオケDAMを利用したリズム体操や土曜日のカラオケ、映画上映も利用者様から好評を頂けた。  
総合事業においては、下半期もいきいきライフは、100名近くの登録者数を維持し、わくわくフィットも定員数を下回ることなく登録者数を維持し、運営出来ている。のびのびファミリーにおいては、登録者数も上半期の9名から下半期は18名と、新型コロナウイルス感染症が収まっていない中、登録者数を増やす事が出来た。新規相談件数増加の要因として、新聞折込チラシ配布、居宅支援事業所との連携、本事業の内容を居宅事業所に多く知って頂く事が考えられる。

【上半期評価】

入所事業については、更正・療護部共にリハビリテーション実施計画書に基づき、個別リハビリ及び車椅子等の生活環境の整備など、個々の利用者様の思いを聞き入れ取り組む事が出来ている。施設での生活を充実して頂くよう、レクリエーションや趣味活動の充実も図り、カラオケDAMを利用したリズム体操や土曜日のカラオケ、映画上映も利用者様から好評を頂いています。  
通所事業については、4月に開設したのびのびファミリーが、コロナ禍の中で通所利用控え傾向があり、利用者数拡大には至っておらず、チラシのポスティングや地域内の公民館へのポスター掲示など試みたが、伸び悩んでいる。いきいきライフは安定した利用者数で推移しており、相談件数と待機者数も多く、また11月末で大曲にある事業所「あしすと」が閉鎖するとの情報があり、北広島市内の包括支援センターから利用者様の受け入れの打診がある為、いきいきライフの利用者数拡大へと方針転換をし、のびのびファミリーの新規獲得と共に下半期の事業展開を行っていききたい。  
消痰鎮痛・外来リハビリテーションについては、入所利用者様を中心に実施しており、コロナ禍においても安定した事業展開が出来ている。  
感染症対策については、リハ室内は1リハ1消毒、室内換気、ソーシャルディスタンスを徹底、送迎車輦は定期的な車内消毒と換気、乗車前の検温確認と手指消毒、マスク着用と咳エチケットの協力など、室内や車内へ注意喚起の掲示とアナウンスを行い、上半期の時点では、感染者を出すことなく事業を継続出来ている。

2020年度 訓練課療護部 事業総括

主管 訓練課

事業方針	
<p>昨年から段階的に更生部から移行された利用者様が少くは、療護部を利用される利用者様も2層化して来ている。以前から入所されている利用者様は、年々、高齢化、機能の重度化が進んでおり、行動範囲が制限されてしまう利用者様については、いつまでも安心して施設で生活出来るよう心身の機能の維持や健康管理が必須となる。更生部から移行された利用者様に関しては、施設内外での「生活のしづらさ」を取り除けるよう、心身機能、ADL、QOLの向上を図り、出来る限り自立した施設生活を送れるよう、法人の基本理念・信条を実践し、専門知識・技術を活かし支援いたします。</p> <p>感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>利用者様が、未長く安心して施設で生活して頂けるよう、心身機能及び健康増進を支援し、QOL向上を図れるよう、リハビリテーションを実施致します。</li> <li>STでは、利用者様に対し、専門性を活かしたケア(口腔ケア、口の体操、コミュニケーション訓練、歌唱など)を行い、口内環境の改善及び誤嚥性肺炎の予防、コミュニケーション意欲・能力の維持向上、精神機能の活性化を図れるようリハビリテーションを実施いたします。</li> <li>日中活動・レクリエーションを実施し活動性の向上及び精神面を向上し、共に喜びや楽しみを共有出来る様なサービスを提供致します。</li> <li>感染症予防対策として、訓練機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、1ケア1消毒を行い利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <p>リハビリテーションについては、継続的に口腔ケアを実施している事ST部門については、既往がある方に対しても再発防止が出来ている。また、リハを通し対象利用者様のコミュニケーション向上や精神機能の活性化を図れている。</p> <p>レクリエーション・趣味活動については、従来のカラオケや映画上映の他にカラオケDAMを使用している。体感や運動を取り入れ利用者様にも好評を得ている。</p> <p>感染症予防対策については、機械器具の1使用1消毒の徹底や訓練棟内の換気の徹底を図り安心して利用して頂けるよう取り組んでいる。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>リハビリテーションについては、長年に渡り、数名の個別リハビリ未実施者がいましたが、促し、働きかけにより、療護部全ての利用者様に対し、個別リハビリ実施計画書を作成する事が出来た。</p> <p>STについては、上半期から継続して、口腔ケアを実施し、誤嚥性肺炎の予防とコミュニケーション能力の維持・向上と精神機能の活性化を取り組む事が出来た。</p> <p>レクリエーション・趣味活動については、映画上映の他にカラオケDAMを使用している。リズム体操や運動を取り入れ利用者様にも好評を得ている。</p> <p>感染症予防対策については、機械器具の1使用1消毒の徹底や訓練棟内の換気の徹底を図り安心して利用して頂けるよう取り組む事が出来た。</p>

2020年度 訓練課診療部 事業総括

主管 訓練課

事業方針	
<p>外来リハビリテーションにおいて、法人理念「お客様が喜んでもらえるように」「お客様に役に立てるように」に基づき、入所利用者様に対して物理療法による消炎鎮痛やSTが摂食機能療法および疾患別リハビリテーション実施し、疼痛緩和や可能な限り長く経口摂取を継続出来る事、言語的・非言語的コミュニケーション能力の維持・向上を図れる様支援いたします。</p> <p>感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。また、感染症流行時には、感染症予防の観点から口腔内に接触するリハビリテーション等の中止も視野にいれ検討して行きます。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消炎鎮痛・外来リハビリテーション:物理療法による疼痛緩和を図り、慢性疼痛の予防や心理的ストレス軽減を支援いたします。STによる摂食機能療法では、摂食嚥下機能の評価・リハビリテーションを行い機能の維持・向上を図れるよう支援し、食べ方の指導や他部門と連携し、食形態の検討、窒息や誤嚥・誤嚥性肺炎の予防を図り、可能な限り経口摂取を楽しんで頂けるよう支援いたします。疾患別リハビリテーションでは、言語及び発声発語機能の評価・リハビリテーションを行い、楽しさを感じて貰えるよう支援いたします。</li> <li>感染症予防対策として、訓練機器・物品の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、1ケア1消毒を行い利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んでいきます。</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <p>物理療法については、コロナ禍において入所利用者様が対象であったが、安定して実施出来たが、更生部縮小の為、利用者数は減少している。</p> <p>STについても、治療と同様に更生部縮小のため疾患別リハの利用者数は減少。その分、摂食機能療法の利用者数を増やすよう取り組んでいる。</p> <p>感染症予防対策については、1ケア1消毒、機械器具の1使用1消毒の徹底や訓練棟内の換気の徹底を図り安心して利用して頂けるよう取り組んでいる。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>物理療法については、更生部の利用者様の減少はあったが、医師の指示の基に安定して実施する事が出来た。</p> <p>STについても、上記の物理療法と同様に疾患別リハと摂食機能療法を実施する事が出来た。</p> <p>感染症予防対策については、1ケア1消毒、機械器具の1使用1消毒の徹底や訓練棟内の換気の徹底を図り安心して利用して頂けるよう取り組む事が出来た。</p>

## 2020年度 のびのびファイブ 事業総括

### 主管 訓練課

事業方針	
<p>介護予防・日常生活支援総合事業において、3年目を迎えるお客様のニーズ達成や介護度の改善等も図れ、順調に登録数も増加し、「地域に求められる資源として」お役に立てる機会を多くいただいている。北広島市の高齢化率や要介護認定者数は年々増加し、またリハビリニーズも年々高まっている状況にあり、今年度より新規事業としてリハビリ特化型の地域密着型通所介護（のびのびファイブ）を開設する。法人理念・信念を实践する為、専門性ある良質な高齢者リハビリテーションの提供と個人の活動と生活機能の向上及び健康増進の支援を行い、可能な限り居宅生活が継続できるよう、市や高齢者支援センター、居宅介護支援相談事業などと共に連携を図り、地域に根ざしたサービスを提供して行きたい。また、個々の運動管理能力と自立支援を促し、要支援・要介護度の改善が図れるよう支援いたします。</p> <p>2019年2月頃から世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、北海道内では石狩管内で多くの感染者が確認された。北広島市内でも10名を超える感染者が確認され、施設内へ感染症を持ち込まない為の対策が重要課題として挙げられる。当事業所を利用される利用者様に安心・安全にご利用頂けるよう感染症対策に取り組みで行きます。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域密着型通所介護（のびのびファイブ）: お客様が可能な限り居宅において、自分らしく生活を送る事が出来るよう、ケアプランや基本理念に基づいたリハビリテーションを提供いたします。ツールとして、通所型サービスAと同様にデジタルミラを活用し、評価を可視化し、お客様・ご家族様、担当ケアマネジャーと情報共有出来るよう、定期的に評価し、説明と同意を図ります。また付加価値として、STによる口腔内環境や嚥下・言語機能の評価し、セルフトレーニング等の指導も支援いたします。</li> <li>2) 総合事業 通所型サービスA(いきいきライフ): 介護予防ならびに健康増進の促進を目指し、運動の自己管理能力や自立支援を促します。そのツールとして、最新機種であるデジタルミラ等を活用し、個人の身体機能評価や姿勢評価を可視化し、動機付け、エビデンスに基づいた包括的高齢者運動プログラムを実践する事で運動効果を最大限に引き出します。</li> <li>3) 総合事業 通所型サービスC(わくわくフィット): 最長6ヶ月間の期間内において、お客様のニーズである生活環境を含めた生活機能の向上を目指し、自立した地域生活を送る事ができるよう支援いたします。また卒業後は運動の自己管理やインフォर्मアルサポート等を活用しながら、その生活機能が維持できる様支援いたします。</li> <li>4) 感染症予防対策として、施設内にウイルスを持ち込まないよう、利用者様の健康管理、機器・物品・送迎車両の消毒作業、スタッフの咳エチケットなど衛生面の管理を徹底し、利用者様に安心してご利用して頂けるよう取り組んで行きます。</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <p>&lt;のびのびファイブ&gt;                  登録数として、9月現在で9名と伸び悩んではいるが、一方で見学・体験利用していただいている方はほぼ100%ご利用に繋がっている。利用増・収益増に向けて、①相談からご利用までの期間の短縮、②居宅介護支援事業所への広報活動とケアマネの見学対話、③公民館や住民センターなどへのポスター掲示、④お客様受け入れ範囲の拡大、⑤新聞折込チラシ配布（感染対策含め）、⑥病院訪問、⑦居宅支援事業所連絡会議でPR等、現状可能な取り組みは実施できた。</p> <p>サービスご利用後の成果として、区分が改善された方（要介護一要支援）1名、悪化された方0名であった。また、お客様からも「身体が軽くなり動きやすくなった」、「歩きやすくなった」などお声をいただいている。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>&lt;のびのびファイブ&gt;                  下半期は、登録数も9名から18名と、新型コロナウイルス感染症が収まっただけでなく、登録数を増やす事が出来た。新規相談件数増加の要因として、新聞折込チラシ配布、居宅支援事業所との連携、本事業の内容を居宅事業所に多く知って頂く事が考えられる。</p> <p>いきいきライフ、わくわくフィット                  下半期もいきいきライフは、100名近くの登録数を維持し、わくわくフィットも定員数を下回ることなく登録数を維持し、運営出来ている。</p>

<p>体力評価においてはデジタルミラを活用し、3ヶ月毎に評価を実施し、可視化された結果と今後の方針など担当者会議等でお客様やケアマネに説明し好評を得ている。また運動プログラムにおいてもパラメータトレーニングやデュアルタスク下での散歩など人気を得ている。</p> <p>ST介入においては、歯周病などの感染リスクがある方をおおらず、また嚥下や言語機能においても積極的なセルフトレーニングを必要とされる方もいらっしゃるが、                  &lt;いきいきライフ&gt;                  運動プログラムでの効果がデジタルミラで可視化されるため、モチベーションアップや行動意欲の向上に繋がっており、よりセルフエデュケーションやウォーキングなどの活動性改善や健康管理能力も向上している。</p> <p>介護度（事業対象者・要支援1・2）は変化なく維持され推移されている。</p> <p>&lt;わくわくフィット&gt;                  ご利用のお客様はほぼ全員、ケアプランの目標である生活機能の改善が図れている。運動の自己管理は図れているが、コロナ禍でインフォर्मアルサポート利用できず、フォーマルサービス利用となっている。</p> <p>&lt;感染症予防対策&gt;                  リハビ室は、咳エチケットと1リハ1消毒、常時非常ドア開閉し換気、ソーシャルディスタンスを徹底。送迎車両は、定期的な手すり等の車内消毒と窓の換気、乗車前の検温確認と手指消毒、咳エチケットなどを徹底。また、屋内や車両へ注意喚起の掲示とアナウンスを行い、現状感染者なく出来ている。</p>	<p>&lt;感染症予防対策&gt;                  下半期も感染者を出すことなく、事業を運営することが出来た。1年間を通じて、リハ室での咳エチケットと1リハ1消毒、常時非常ドア開閉し換気、ソーシャルディスタンスを徹底。乗車前の検温確認と手指消毒、咳エチケットなどの換気。また、屋内や車両へ注意喚起の掲示とアナウンスを行い感染者出すことなく運営する事が出来た。</p>
--	---



2020年度 障がい福祉サービス事業所みなみ 事業総括

主管 障がい地域支援課通所支援係

<p>事業方針</p> <p>基本理念に基づき地域で暮らすどのような障がいの方にも、その人らしく生き生きとした生活を送って頂けるような個々の障がい特性に配慮した個別支援計画書の作成を基に、みなみで過ごす時間を利用者様に喜んで頂き、毎日でも行きたいと思ってもらえる環境を作り、多様な日中活動を提供します。 日頃からの情報共有とチームワークを大切に、チーム力を高め、質の高いケアの提供、各職種の専門性を生かし、一体的な支援を行う。 地域住民にみなみを利用して頂く機会(行事等)や場を作り、地域資源の一つとしての存在を確立する。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 利用者個々の状況に合った、日中活動の充実</li> <li>2) 支援力の向上、チームで一体感を持った支援体制作り</li> <li>3) 地域や周囲の社会資源との協働関係作り</li> <li>4) 共生型通所介護による一体的なサービス提供</li> <li>5) 感染症対策に対する知識を高め、感染予防を徹底し安心して利用して頂ける体制作り</li> </ol>	<p>【上半期評価】</p> <p>上半期の利用状況としては、新規1名、終了4名となっており終了の内訳は死去、施設入所となっている。新規相談では7件の相談を受けたが6件が他市町村であり送迎は困難等の理由により、受け入れてくず1件については現在調整中である。利用日増の相談も受けているが、重度であり医療的ケアも必要としていることから、医療費で安全にお受け入れできる余裕がなく待機して頂いており現状が厳しい状況、受け入れ調整を行っている。</p> <p>【最終評価】</p> <p>感染予防のため、利用の自粛や回数抑制が1年間を通して継続して見られたため、稼働率は大幅に減少した。その状況下において、他施設の出欠による共同住宅朝に出向き訪問での支援や利用回や外出制限が出ている積極的な受け入れ調整、短期間対応での変更対応等、可能な限り柔軟にサービス提供し稼働率の維持に努めた。今後も自粛傾向は続くと思われるため、SNSの活用等積極的に広報活動を行い、新規獲得の強化や感染対策をしながら、柔軟なサービス提供を行っている。</p> <p>感染対策については、定期的に利用者様へ説明し、協力理解を得ることが出来ている。引き続き、安心して通って頂けるよう感染対策を継続、徹底し取り組みについて示していく。</p> <p>活動については当初予定していた、外出レクや大イベントとしての夏祭り、会食等の実施は、小規模で数回に分けての実施となったが、少人数ならではのメリットも新たな発見となり、利用者様から評価の声も多かった。日中活動が際については、個々がアイデアを出し合い、多様な活動を提供できるようになったが、年齢層が幅広く今後ともどこにも楽しんで頂くよう、活動内容の提供方法を検討していく。</p> <p>相談を受けても、送迎が不可等の理由でお受け入れできないケースも多かったが引き続き他事業所との丁寧な関わりを心掛け、新規利用に繋げる努力をしていく。</p>
---	---	---

2020年度 障がい地域支援課 事業総括

主管 障がい地域支援課通所支援係

児童発達支援・放課後等デイサービス

<p>事業方針</p> <p>法人の基本理念に基づき、利用児童・ご家族の生活に寄り添い、信頼関係を構築しながら、安心して利用して頂く事の出来るサービス提供に努める。 それぞれの障がい状態に応じたリハビリの提供による身体機能の維持や日中活動の充実を図り、他者との活動の楽しさ、体験を通して、成長の促しを目指す。 医療的ケアを必要とする児童が多い事から、日頃からご家族との密な連絡を取り合う中で安全なケアを提供し、体調変化への気づきや希望に応じたきめ細やかな対応を行っていく。 また、日頃から関係機関(医療、学校等)との連携や情報交換を行い、職員間での情報共有を図りながら緊急時(重篤な発作等)等、いざという時に迅速な対応を行える様にしていく。 体調不良、入院等による急な利用キャンセルが予測される中、少人数単位で行えるゆえの利用実績への影響は大きく、迅速に待機児童への利用調整を行いつつ、安定した運営を図って行きたい。</p>	<p>重点項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 利用児童、ご家族との信頼関係の再構築 昨年未の一時休止により利用児童、ご家族に不安やご迷惑を与えた結果となった事を踏まえ、新たなスタッフとの信頼関係づくりを第一に行っていく。</li> <li>2) 専門職による質の高いリハビリや療育、日中活動の提供</li> <li>3) きめ細かな、医療的ケアの実施</li> <li>4) ご家族の生活、精神的な面への支援</li> <li>5) 感染症対策の徹底とご家族と協力した感染リスクの低減</li> </ol>	<p>【上半期評価】</p> <p>サービス休止でご家族に不安を与えてしまった影響は大きく、信頼回復でできたとは思えない状況である。信頼回復の構築方法として、SNS(LINE)を連絡ツールに取り入れ、日中活動・リハビリ等の様子や写真 or 動画に添付しサービスを利用して頂くお礼の言葉とご家族に寄り添った言葉かけの内容を日々毎日発信する必死の半歩だった。最近やとその成果を感じることができるようになった。稼働率アップの為に(信頼回復の為)、今まで下校時には行っていたおやつ原簿に付しても日中一時支援サービス(入浴)をご家族の要望が対応は積極的に対応し入浴によりアップへと繋げることができた。全てスタッフのチーム力により上半期乗り越えることができて感謝している。下半期は、with コロナの中、感染対策をより強化し上半期に培ったチーム力を活かしてより一層の信頼回復の方法を模索し実行していく。又、他機関との連携を強化し今後を見据え、新規情報を迅速にキャッチし対応していく。稼働率アップにも努めていく。</p> <p>【最終評価】</p> <p>新しいスタッフになり1年、信頼回復までに至らなかった事が残念である。コロナ時にご家族と直接お話しする機会がなかなか取れない事が要因であると思っております。しかしSNS(LINE)を利用した事でご家族が気軽に色々な質問や要望などを伝えてくれることにより迅速にその事に対応することができたメリットがより明確化になったのでこれからも引き続き行っていくことと考えております。今後の課題は、看護師のスキルを上げ医療的ケアをよりきめ細やかな配慮をしご家族に安心して頂くこと、同じ空間の中で活動の工夫、(活動性のある子と重心児の活動)利用希望があるが、人員不足の為利用を伸ばすことができない事を解消する方法を検討していく。新規利用者様の獲得、スタッフのチーム力や情報共有は、できているのでこのチームワークを維持していきたいです。とにかく一番の課題「ご家族の信頼回復」をどこまでできるかです。今までの努力とご家族様にご協力いただきありがとうございます。</p>
--	--	---



2020年度 障がい者生活支援センターみらい 事業総括

主管 障がい者生活支援センターみらい

**事業方針**

昨年度から、計画相談・児童支援中心のAチームと成人・一般相談中心のBチームに担当分けして取り組むことで行事や会議等の分担が明確になり円滑な業務遂行ができてきた。Bチームを中心にイージーアクセス事業（時代のニーズに合った情報の受発信やコミュニケーションツール等テクノロジーの活用）やコミュニティクリエイト事業（社会的孤立感の緩和のための交流事業の展開）に積極的に取り組み、一定の効果が得られた。

今年度も引き続き重点項目として掲げ、法人理念に沿ってさらなる効果を得られるよう以下のとおり取り組んでいく。

相談の対象は幅が広いので、制度や社会資源に関する知識と共に、思いを聴きとる力（信頼は接し方から）を意識して業務に取り組み、必要なタイミング・量で提供する（お客様の役に立てるように）。

個々の負担感を軽減するために、他の相談員と連携する力（力の出るほうれんそう）が欠かせない。より良い実践を行うため、連携を意識して、相談支援・業務遂行の向上を図っていく。

地域社会との関わりが少くない方などに対して、ホームページ・インスタグラム等を用い、みらいを知ってもらい相談につながる事を目指す（地域に求められる資源として）。

感染症への対応をしつつ、居心地の良い場所や、やりたいことを見つけてくる事が出来る、自然な形で他者と繋がる事が出来る新たなコミュニティの形を当事者と共に創る（お客様に喜んでもらえるように）。

また市の自立支援協議会と連携した社会資源の連携強化を目指す（地域の資源の活用とつながり）。

**重点項目**

- 相談支援力の向上
  - ・連携する力の向上
  - ・質の高い「サービスマニュアル」の作成・維持
- イージーアクセス事業
  - ・時代のニーズに合った情報の発信や相談支援の力をにつくっていく
  - 3) コミュニティエイティブ事業（※感染症対策を講じつつ）
  - ・社会的孤立感緩和のための交流事業の展開
  - ・安心して当事者が社会と繋がることのできる場との連携と提供
- 各事業については状況を見定めながら感染症対策を講じる（具体的な取り組みに盛り込む）

**【上半期評価】**

今年度から毎月月初めにみらい会議を開催、課全員で事業計画の進捗状況を毎月確認しあう中で一人一人が現状や実施すべきことを把握する機会となつている。また個々の負担感を共有することで負担感を図る体制づくりに取り組んでいる。そのひとつとして計画相談支援の分担の見直しを行い達成率100%を目指している。

業務全般において上半期はコロナ禍のため制約もあり予防対策が求められた。相談者の中にはサービスマニュアルを自衛する方もいた為、いつも以上に丁寧なニーズ・意向の聴き取りをし続けていく。孤立しないための働きかけの一つとしてオンラインによる個別面談やこころの交流会を実施。またオンラインを活用した支援会議を行っている。新しい試みとしてはインスタグラムの活用を進め、初めてインスタグラムも開催しみらいの周知活動を行った。

**【最終評価】**

今年度は感染拡大の局面での訪問自粛となることが何度もあり、従来の相談業務（直接顔を合わせたの面談や会話など）では対応ができていない状況があり難しさを感じた一年だった。

このことからインスタグラムの活用による周知活動や、オンラインを中心とした「こころの交流会」の開催や当事者活動「ボノコツクラブ」のサポートを開発し当事者とのつながる機会を確保することができた。また、これらのツールを活用しながら日々の相談業務も継続することができた。

次年度以降も、従来の方法にとどまらず、その時の状況に応じた業務の遂行を通じて、相談者との信頼関係や社会参加の拡大を継続したい。

2020年度 広報 兼 個人情報委員会 事業総括

**ねらい**

日々変化する社会情勢や福祉制度そして施設の現状および利用者の方々の日々の生活の様子等の情報紙・広報誌を作成・発行し、ご家族・関係機関に向けた情報発信から「選ばれた施設作り」の実現を目指す。

ホームページなどインターネットを介した情報活用方法を整理するとともに「個人情報管理規定」に基づき、個人情報保護の取組みが職員に徹底して行われるよう周知、利用者様・職員情報保護に向け、委員から再度重要認識していく。また社会情勢・情報に敏感に目を向け、迅速に的確な処理や助言ができるようになっていく。

担当職員	事業内容		実績	
	月	内容	評価	評価内容
西尾恵史、榎又早紀、田村美夏、長内隆二郎、松永隆、渡邊由佳、石川東美	4	委員会開催 役割分担、委員会推進内容について検討	2	委員会活動について説明、新しい委員に対し活動イメージ周知が進んだ。
	5	委員会開催 情報紙および広報誌作業、ホームページ管理状況の確認	2	家族向け情報紙の作成案を確認するが計画立案が遅れる状況。また委員会内でホームページ管理状況確認の徹底に至らなかった。
	6	委員会開催 進捗状況の確認	3	地域誌寄贈場所の確保、施設パンフレットの掲載調整を実施。
	7	委員会開催 情報紙および広報誌作業、ホームページ管理状況の確認	2	家族向け情報紙作成が計画通りに進まず、進捗状況を委員会内で確認。
	8	委員会開催 進捗状況の確認	3	更生部役員変更など施設パンフレット掲載箇所を確認。
	9	委員会開催 情報紙および広報誌作業、ホームページ管理状況の確認	3	委員会内でホームページ管理・確認の徹底に至っていない。確認を働きかける。
	10	委員会開催 次号広報誌の構成など掲載内容確認、原稿締切日程の検討、次年度事業計画、予算要望書作成検討	3	次年度事業計画、予算要望書、確認を働きかける。広報誌の掲載内容および原稿締切日を決定する。
	11	委員会開催 情報紙および広報誌作業、ホームページ管理状況の確認	2	家族向け情報紙編集に時間を要し、発行が遅れる。各職員からのコメント提出の締切周知が必要。
	12	委員会開催 次号広報誌の進捗状況、住所録の確認	3	広報誌の各委員担当ページの作成が遅れる状況。
	1	委員会開催 情報紙および広報誌作業、ホームページ管理状況、次年度事業計画確認	3	広報誌の各委員担当ページの作成が遅れる状況あり、進捗状況を確認する。
2	委員会開催 広報誌『さくらの丘』発行、評価検討	3	広報誌の発行が遅れる状況。送付先名簿の最終確認実施。	
3	委員会開催 委員会事業内容の分析・評価	3	広報誌『さくらの丘』発行。および家族向け情報紙、今年度作成分を発送。	

評価基準： 5. 良くできている（期待した以上の成果が得られた） 4. できている（期待した成果が得られた） 3. 十分でない（期待した成果が得られなかった） 2. できていない（見直しが必要） 1. 全くできていない

2020年度 防災対策委員会 事業総括 (障がい者施設)

目 的	<p>1. 現行の消防法に沿った内容で整備されている施設にあっては、防火対策は重要な課題である。また、北海道では近年台風被害や震災が発生し、ブラックアウトによる停電を経験し火事のみならず地震や台風等の自然災害対策にも重点を置く必要がある。</p> <p>2. 年2回の防火総合訓練を機に自営防衛組織や事故の役割、任務の理解と防火・防災に対する知識の修得等、自主防衛組織としての防火管理体制の確立を目指す。</p> <p>3. 北広島市の福祉避難所としての役割を担えるように、施設のハード面の整備や備品や非常食用食料品の整備と管理に取り組む。</p> <p>4. 新型コロナウイルスを含め、感染症対策は、非常時もしっかりとした対応が必要となる。普段より感染予防の対策を行い、施設がクラスターとならないように対策をとる。</p>		
	担当職員	山本 拓二 菊池 士 柏 滋 小山 俊之	
計 画	項目	事業内容	実績
	1	防火対策委員会の定例開催 (毎月第2 水曜日)	評価 各施設での開催が多かった。
	2	避難訓練、夜間想定訓練、夜間緊急訓練(6月 1 1月)	評価 感染対策で通常の開催が出来なかった。
	3	防災機器の取り扱い理解	4 訓練等で周知できた。
	4	防火総合訓練の立案と消防署への届け出	4 感染対策のため内容を一部変更した。
	5	防火対象物定期点検実施と消防署への届け出	4 問題なく行えた。
	6	非常食用食料品・物品の確認、備蓄調整	4 問題なく行えた。
	7	非常時の職員駆けつけや非常時職員通報等の検討	3 通報方法に課題が残る。
	8	停電時等の対応の検討	3 改修対応ができていないので今後の課題が残る。
	9	非常用備品の管理とメンテナンス	4 定期的に行えた。
	10	非常時の備蓄燃料の確保	4 ガソリンの確保に課題が残る。
11	非常時の感染対策	3 感染対策備品等の確保が必要。	
備考	<p>非常時の感染対策については、外部受け入れの際のスペースの確保、感染予防備品の整備等、施設改修計画時の提案等も行ってきたい。</p>		

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

2020年度 カイゴみらい委員会 事業総括 (障がい施設)

重点項目	<p>○社会福祉・介護福祉の啓蒙活動及び人材確保の方法を企画立案。                  ○高校生・専門学校生・大学生への社会福祉・介護福祉の魅力伝えるための企画立案。                  ○事業紹介・就職相談会への参加。                  ○「辞めない職場作り」働きやすい職場作り」の取り組み・提案                  ○広報活動に関する企画立案(広報委員会と協働)</p>			
	委員	佐藤宏美 [委員] 今 稜、正木美枝、金子杏奈、徳永翔平、島田成美、谷福希	主管 法人本部	
具体的な取り組み	事業内容	評価	実績	
	1	委員会の開催 毎月第3火曜日	4	毎月開催、オンラインで開催し、出席し、又席やメール等で情報共有できた。個人の仕事や状況のわかりにくい点、共有方法の検討が必要。
	2	マイナビの運用補助・協力	3	法人事務局主任の高、委員として活動・協力は少なかった。本年度の継続がない点、新たにSNS等を活用し広報活動の効果が大きい。今後もオンライン復旧会等、可能な範囲で参加・協力できた。
	3	就職相談会・セミナーへの参加・協力	3	前年コロナ禍の影響を受け、前年よりオンライン復旧会等、可能な範囲で参加・協力できた。
	4	法人紹介用のパンフレット・動画等の見直し	3	資料の見直しを行ったが、既存資料の更新も必要。新たに見直しが必要。また、HP内・印刷物・良インタビューの掲載を継続して見直し。
	5	学校訪問 (高校・専門学校・大学)	-	計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施できていない。資料送付の際、法人にアクセスし、詳細の連絡が必要。
	6	業界研究セミナーの開催 (10月)	4	11月、オンラインセミナー(福祉を伝えるセミナー)を開催し、オンライン復旧会に繋がった。(見直し) 年度内は合同で開催予定。
	7	高齢との合同委員会の開催	2	年度内は合同開催しているが、高齢者の参加は難しい。
	8	高齢との合同イベントの企画立案	3	11月開催のオンラインセミナーに高齢者と共同で参加。
	9	広報活動の企画立案 (広報委員会と協働)	1	実施できていない。
	10	「辞めない職場作り」働きやすい職場作り」の提案	2	計画していたが実施できていない。
	11			
12				
備考	<p>○WEBカメラ等の環境を整えたことで、オンラインの活用できるようになった。                  ○委員会や法人内での情報共有ツールについて検討していく必要がある。</p>			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

2020年度レクリエーション委員会事業総括

主管 レクリエーション委員会

重点項目	事業内容		実績	
	項目	事業内容	評価	評価内容
具体的な取り組み	4月	外出レクリエーション 4/15 DVD鑑賞とおやつ(ロールケーキ) (60名参加)	3	コロナの影響をまともに受け外出レクを中止せざるを得ず、上半期が終了。外出レクの代替えとして毎月レクレーションを実施してきた。飲食を伴う内容のため、利用者さんの希望や季節に合ったものを提供するようにした。提供者は手洗い、プラスチックグッズの活用をし、衛生面に留意し、利用者が密にならないよう間隔を空けたり、消毒をし、感染予防も行いながらの実施をしている。
	5月	お花見 5/20 DVD鑑賞とおやつ(ロールケーキ) (65名参加)	3	
	6月	6/24 DVD鑑賞とおやつ(ソフトクリーム) (70名参加)	3	
	7月	7/29 ジンギスカン (全利用者参加)	4	
	8月	盆踊り 8/12 周辺散歩とかき氷 (70名参加)	4	
	9月	9/30 DVD鑑賞とおやつ(たこやきとポテト) (70名参加)	3	
	10月	10/21 クイズ大会とおやつ(ロールケーキ) (60名参加)	4	下半期もコロナ禍のため外出レクは行えず、月に一度のレクレーションを継続して実施した。上半期と同じく、飲食を伴う内容になったため、変わらず衛生面に配慮し密にならないよう訓練棟での実施ならぬようにインスタタレントなどやフレンチトーストなど普段とは異なるメニューを提供するなどして少しでも楽しんでもらえるようにレクを行った。どのレクも参加率は高く好評だった。
	11月	運動会 11/25 映画とおやつ (65名参加)		
	12月	年忘れ会食会 12/23 年忘れ会食会 (全利用者参加)		
	1月			
2月	豆まき大会 2/3 DVD鑑賞とおやつ(フレンチトースト) (65名参加)			
3月	ひな祭り 3/3 DVD鑑賞とおやつ(インスタントラーメン) (60名参加)			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2020年度快適送迎検討委員会 事業総括

ねらい	担当職員	事業内容		実績	
		月	事業内容	評価	評価内容
1. 日常的に使用する公用車の管理や職員の安全運転の啓発活動、各課との送迎サービスの調整を行い送迎サービスの向上を図ることとする。 2. 人命に関わる仕事との自覚の下で交通事故による加害者、被害者にならないよう課題を論議する。	谷口 勝也、西野 正展、山下 誠一、河西 恵美子	4	交通事故防止啓発活動	4	高齢施設の委員会と情報共有し実施出来た
	5	車両算定評価実施	4	評価は実施しているが、車種入替には至っていない	
	6	法人合同委員会の開催	3	コロナ禍で実施出来ていないが、情報共有出来た	
	7	交通安全週間 (交通安全旗の設置)	4		
	8				
	9				
	10	車両算定評価実施	4	評価は実施しているが、車種入替には至っていない	
	11	法人合同研修会 (安全運転講習) 交通安全週間 (交通安全旗の設置)	2	研修は実施出来ていない	
	12				
	1				
	2				
3	法人合同委員会の開催	2	コロナ禍で実施出来ていない		

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、送迎車両の消毒、換気、飛沫防止等、委員会として各事業所に対策を周知し実施してきた。成果として、通所事業での感染者は、現時点では出ていない。

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要) 1. 全くできていない

2020年度 研修委員会 事業総括

主管 研修委員会

<p><b>重点項目</b></p>	<p>私達は「基本理念」と「倫理綱領」をもとに以下の重点項目に向けて取り組んでいきたい。 お客様・利用者様への「サービスの質の向上」に重点をおき、職員の資質向上と充実、また多様化したニーズに対応できるよう専門職としての知識向上や他課・他職種との連携を図り、チームワーク・チームケアの結束に向けて取り組んでいきたい。</p>	
<p><b>項目</b></p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>施設職員研修会の実施（虐待防止研修）</p> <p><b>目的</b>：昨年度の施設職員研修会において、不適切ケアについて、法人基本理念に基づき、施設全体で具現化するために人材不足の観点からも他課・他職種とのチームワーク・チームケアが必要である事が認識されました。それを踏まえ、今年度の施設職員研修会では身障協のケアガイドラインを基に現状の障がい施設におけるサービス支援を振り返り、また他課・他職種の業務理解を深め、チームワーク・チームケアの結束を図る事を趣旨とします。</p> <p><b>内容</b>：身障協のケアガイドラインの理解とチェックリストを基に「日常的な生活支援」等について各項目と当施設サービスとで照らし合わせ、「できている」「できていない」を判断し、その判断根拠と問題点を明確にする。グループワークにて各個人考えた内容を発表しグループ内で理解を深め各グループで発表する。</p>	<p><b>評価</b></p> <p>4</p>
<p><b>具体的な取り組み</b></p>	<p>第1回 8月11日 参加者 16名 テーマ「食事」</p> <p>第2回 8月19日 参加者 16名 テーマ「入浴」</p> <p>第3回 8月27日 参加者 16名 テーマ「排泄」</p> <p>第4回 9月2日 参加者 13名 テーマ「衣類」[移動・移乗]</p> <p>第5回 9月15日 参加者 14名 テーマ「衣類」[移動・移乗]</p>	<p><b>実績</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み ・咳エチケットとして参加職員マスク着用。 発表者マイクとPCキーボード、椅子、テーブル消臭、ソーシャルディスタンスとして、座席間隔2m 空ける。換気対策として訓練室非常ドアの開口と扇風機使用、時間の短縮。</p> <p><b>企画</b> ・感染対策で研修時間を1時間30分と予定していたが、第4、5回はテーマが2つあり時間内では難しかった。そのため途中で切り上げざる負えないグループもあった。それに合わせ、パソコン入力が苦手な職員もありそこに時間がかかってしまうグループもあった。</p> <p>・検討内容としては基本の介助を再学習する機会としては良かったと思う。内容は直接接遇が主体だったが多職種も考える機会があった。</p> <p><b>経過</b> ・欠席による振り替え等実施できた。(委員へ報告なしに課内でのメンバー入れ替えがあったため次回以降連絡を徹底してもらう必要あり) 研修後の訓練等の復旧に因り訓練職員が急遽欠席となってしまった際困難となるため見取り図あればよいのではないが、今後研修で使用するパソコンについて、パソコンの切り替えで回収したものを施設より借用して使用するなどの検討が必要。 ・小集団のグループワークになった事でまとまった話が出来た所が多かった。 ・パソコンでの発表に慣れていない為、時間がかかるとの発表が多かった。</p> <p><b>研修効果</b> ・研修振り返りシートの中で、ガイドラインの理解と実践に実施しているケアとガイドランに差がある事を認識してもらえた。 ・他課、他職種が現状のケア業務について学ぶ事が出来たという意見が多かった。今後の他課・多職種の協働を図る上での第一歩となった。</p>

<p><b>新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターとみなみで会場を分け、リモート研修実施。ソーシャルディスタンスと換気、消毒、時間短縮で実施。</li> <li>・振り返りでオンライン活用について、参加者全員「良かった」の回答であった。</li> <li>＜具体的な多数意見として＞</li> <li>①職を取りやすかった</li> <li>②感染予防やみなみ職員負担軽減できた。</li> <li>③バス通動のみなみ職員も参加できた。</li> <li>＜改善点＞</li> <li>①マイクのハウリングやマスク装着のため発表の聞き取りにくさは多少あった。</li> <li>～マイク1本へ、発表者はマスクなしで飛沫防止シート使用～</li> </ul> <p><b>企画</b> ・感染予防の観点からテーマは事業計画1つに絞った。振り返り結果より参加者全員が各事業計画について理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できなかった職員も研修動画を視聴できるように各課・係のPCにコピーした。</li> </ul> <p><b>経過</b> ・研修期間が多少延ばってしまった。法人・全事業所同じ発表時間設定だったが、各事業所で設定するよう次年度検討。</p> <p><b>研修効果</b> ・事業計画の理解について、センター・みなみ共に100%の職員が理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜研修を踏まえた今後の取り組みについて＞</li> <li>①感染予防対策を行いながら、基本理念(お客様に喜んでいただけるように)に基づき、サービス質向上を図りながら、日々の業務に取組んでいきたい。</li> <li>②「コロナ禍の中でも収益を上げて事業の安定を目指していきたい」。</li> <li>③支援力の向上とスタッフ間の相連相を重点に取り組みたい。</li> <li>④チームケアとチームアプローチの強化という意見が多数あった。</li> </ul>	<p><b>職員研修会の実施</b></p> <p>① 次年度事業計画 <b>研修趣旨</b> 次年度(2021年度)の障がい施設における事業計画について、職員が共通の認識・目的意識を持ち、基本理念に基づいた業務遂行を図ることを趣旨とします。</p> <p><b>日時</b> 3月24日(水) 18:00～19:00 <b>場所</b> 北広島リハビリセンター訓練棟 地域サポートセンターみなみ2F <b>内容</b> 2021年度各事業所事業計画(法人本部、療養部、診療部、のびのび、みらい、障害通所、児童デイ)</p> <p><b>研修方法</b> 会場の密を極力避けるため、リハビリセンターの職員はリハビリセンター、地域サポートセンターみなみの職員はみなみで開催(地域サポートセンターみなみはZOOMを用いたオンライン上での研修)。</p> <p><b>参加者</b> センター21名(常務・施設長) みなみ 26名(施設長) 計47名</p>	<p>2</p>	<p>4</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み ・センターとみなみで会場を分け、リモート研修実施。ソーシャルディスタンスと換気、消毒、時間短縮で実施。 ・振り返りでオンライン活用について、参加者全員「良かった」の回答であった。 ＜具体的な多数意見として＞ ①職を取りやすかった ②感染予防やみなみ職員負担軽減できた。 ③バス通動のみなみ職員も参加できた。 ＜改善点＞ ①マイクのハウリングやマスク装着のため発表の聞き取りにくさは多少あった。 ～マイク1本へ、発表者はマスクなしで飛沫防止シート使用～</p> <p><b>企画</b> ・感染予防の観点からテーマは事業計画1つに絞った。振り返り結果より参加者全員が各事業計画について理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できなかった職員も研修動画を視聴できるように各課・係のPCにコピーした。</li> </ul> <p><b>経過</b> ・研修期間が多少延ばってしまった。法人・全事業所同じ発表時間設定だったが、各事業所で設定するよう次年度検討。</p> <p><b>研修効果</b> ・事業計画の理解について、センター・みなみ共に100%の職員が理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜研修を踏まえた今後の取り組みについて＞</li> <li>①感染予防対策を行いながら、基本理念(お客様に喜んでいただけるように)に基づき、サービス質向上を図りながら、日々の業務に取組んでいきたい。</li> <li>②「コロナ禍の中でも収益を上げて事業の安定を目指していきたい」。</li> <li>③支援力の向上とスタッフ間の相連相を重点に取り組みたい。</li> <li>④チームケアとチームアプローチの強化という意見が多数あった。</li> </ul>
<p>3</p>	<p>定期委員会(第4火曜) 16:30(訓練棟)</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み ・センターとみなみで会場を分け、リモート研修実施。ソーシャルディスタンスと換気、消毒、時間短縮で実施。 ・振り返りでオンライン活用について、参加者全員「良かった」の回答であった。 ＜具体的な多数意見として＞ ①職を取りやすかった ②感染予防やみなみ職員負担軽減できた。 ③バス通動のみなみ職員も参加できた。 ＜改善点＞ ①マイクのハウリングやマスク装着のため発表の聞き取りにくさは多少あった。 ～マイク1本へ、発表者はマスクなしで飛沫防止シート使用～</p> <p><b>企画</b> ・感染予防の観点からテーマは事業計画1つに絞った。振り返り結果より参加者全員が各事業計画について理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できなかった職員も研修動画を視聴できるように各課・係のPCにコピーした。</li> </ul> <p><b>経過</b> ・研修期間が多少延ばってしまった。法人・全事業所同じ発表時間設定だったが、各事業所で設定するよう次年度検討。</p> <p><b>研修効果</b> ・事業計画の理解について、センター・みなみ共に100%の職員が理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜研修を踏まえた今後の取り組みについて＞</li> <li>①感染予防対策を行いながら、基本理念(お客様に喜んでいただけるように)に基づき、サービス質向上を図りながら、日々の業務に取組んでいきたい。</li> <li>②「コロナ禍の中でも収益を上げて事業の安定を目指していきたい」。</li> <li>③支援力の向上とスタッフ間の相連相を重点に取り組みたい。</li> <li>④チームケアとチームアプローチの強化という意見が多数あった。</li> </ul>
<p>4</p>	<p>資格取得に関する情報提供</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策の取組み ・センターとみなみで会場を分け、リモート研修実施。ソーシャルディスタンスと換気、消毒、時間短縮で実施。 ・振り返りでオンライン活用について、参加者全員「良かった」の回答であった。 ＜具体的な多数意見として＞ ①職を取りやすかった ②感染予防やみなみ職員負担軽減できた。 ③バス通動のみなみ職員も参加できた。 ＜改善点＞ ①マイクのハウリングやマスク装着のため発表の聞き取りにくさは多少あった。 ～マイク1本へ、発表者はマスクなしで飛沫防止シート使用～</p> <p><b>企画</b> ・感染予防の観点からテーマは事業計画1つに絞った。振り返り結果より参加者全員が各事業計画について理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できなかった職員も研修動画を視聴できるように各課・係のPCにコピーした。</li> </ul> <p><b>経過</b> ・研修期間が多少延ばってしまった。法人・全事業所同じ発表時間設定だったが、各事業所で設定するよう次年度検討。</p> <p><b>研修効果</b> ・事業計画の理解について、センター・みなみ共に100%の職員が理解できたという結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜研修を踏まえた今後の取り組みについて＞</li> <li>①感染予防対策を行いながら、基本理念(お客様に喜んでいただけるように)に基づき、サービス質向上を図りながら、日々の業務に取組んでいきたい。</li> <li>②「コロナ禍の中でも収益を上げて事業の安定を目指していきたい」。</li> <li>③支援力の向上とスタッフ間の相連相を重点に取り組みたい。</li> <li>④チームケアとチームアプローチの強化という意見が多数あった。</li> </ul>

**評価基準**： 5. 良くできている(期待した以上の成果が得られた) 4. できている(期待した成果が得られた) 3. 十分ではない(期待した成果が得られなかった) 2. できていない(見直しが必要) 1. 全くできていない

2020年度 食事検討委員会 事業総括

目的 (ねらい)	食事に係わる課題の対応策を協議し改善をはかる。		
	相談役: 齊藤施設長 委員: 本戸和美 ・ 濱本さなえ ・ 水留直樹 ・ 西田健徳 ・ 中川明日香 石戸橋江美子 ・ 笠原晴香		
担当職員	項目	事業内容	実績 評価内容
計画	1	食に関する啓蒙活動 (センター)	4 実施した
	2	食事時の衛生環境改善 (センター)	4 随時実施している
	3	給食係と介護職との連携により食事提供方法の見直しを図る (センター)	3 不十分だった
	4	食事環境改善 (みなみ)	4 随時実施している
	5		
	6		
	7		
備考			

評価基準: 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

# 1. 職員の状況

## (1) 職員の状況

### ア. 職員の配置状況

2021年3月31日現在

	特別養護老人ホーム四恩園	デイサービス四恩園	デイホームさとみ	デイホームかたる	みなみ高齢者支援センター	居宅介護支援事業所四恩園	グループホーム四恩園	複合型サービス四恩園	ホームヘルプサービスステーション四恩園	訪問看護ステーション四恩園	サービス付き高齢者向け住宅しおん	北広島地域交流ホームふれて	
正規職員	17	9	0	9	9	9	10	8	4	3	3	0	81
臨時職員	31	16	10	6	1	1	26	21	26	0	9	2	149
合計	48	25	10	15	10	10	36	29	30	3	12	2	230

### イ. 役付職員の状況

2021年3月31日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	三瓶 徹	施設サービス課係長	長谷川 智彦
常務理事	中川 浩一	会計課経理係長	前川 忍
四恩園施設長 高齢者地域支援課長	神部 健史	施設サービス課係長	横尾 真素枝
地域サポートセンターともに施設長 管理課長	向山 篤	給食サービス課係長	土池 康介
複合型サービス課長	平野 佐緒利	複合型サービス課係長	奥山 智直
訪問看護課長	吉永 美香	高齢者地域支援課係長	林 晃市
通所介護課課長	玉邑 亜矢	通所介護課係長(かたる)	吉田 匡貴
グループホーム課長	皆木 有子	グループホーム課主任	恩田 不美代
居宅介護支援課長	新沼 右文	施設サービス課主任	鈴木 優子
訪問介護課長	吉永 美香	居宅介護支援課主任	秋田 梢
施設サービス課課長	清水 孝修	会計課経理係主任	田村 啓之
給食サービス課係長	長谷川 倫子		
管理課係長	大日向 伸也		

ウ. 職員の異動状況

区 分	*2020. 4. 1	2020年度 (4.2~3.31)	2020年度 (4.2~3.31)	2021. 3. 31
	現 在 数	中途採用	退 職	年度末数
正規職員	74	12	5	81
臨時職員	151	18	20	149
計	225	30	25	230

\* ( ) 4. 1付採用

エ. 国家資格等取得者

2021年3月31日現在

※ (重複有り)

	管 理 課	サ ー ビ ス 課 食	サ ー ビ ス 課 設	デ イ サ ー ビ ス	さ ー ビ ス ホ ー ム	か ー サ ー ビ ス ホ ー ム	ス テ ー シ ョ ン パ ー ト	居 宅 介 護 支 援	高 齢 者 地 域 支 援	訪 問 看 護	複 合 型	ホ ー ム グ ル ー プ	高 齢 者 住 宅 サ ー ビ ス 付 き	計
社会福祉士	2	0	2	1	1	3	0	4	8	1	2	0	1	25
精神保健福祉士	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	5
介護福祉士	1	0	19	7	6	5	25	8	3	0	7	11	2	97
介護支援専門員	2	0	4	3	1	3	4	8	6	2	3	4	1	41
保健師	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
看護師	0	0	1	2	1	2	1	0	1	3	6	0	0	17
准看護師	0	0	1	4	0	1	0	0	0	0	4	0	0	10
作業療法士	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栄養士	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
調理師	1	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	9
実務者研修	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4
ヘルパー1・2級 初任者研修	2	0	8	4	2	1	6	5	1	0	1	10	2	42

(2) 職員研修状況

ア. 外部研修実施状況

2020 年度

地区	月	日	開催地	研修会名称	参加者名
道外				なし	
	6	12	札幌市	福祉有償運送運転講習・セダン等運転者講習	トサトス千春 福田美穂 林大輔
	9	1	札幌市	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る研修	神部健史 菊地新子
		15～16	札幌市	新任介護職員研修	南 佳子
	10	5	札幌市	北海道介護支援専門員研修	長谷川智彦
		20	札幌市	福祉のリアルが聞けるオンラインセミナー	阿部春花
		27	札幌市	令和2年度介護予防ケアマネジメント研修	三浦和紀 前本睦美
	11	4	札幌市	令和2年度北海道高齢者虐待防止推進委員会研修会	三浦和紀
	2	5～12	札幌市	2020年度社会福祉士実習指導者講習会（オンライン）	中尾真紀
		23～24	札幌市	北海道小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	奥山智直
		25	札幌市	令和2年度北海道認知症対応型サービス事業管理者研修	奥山智直

延べ14名

イ. 法人合同研修

新規採用職員合同研修

日時	場所	障害施設	高齢施設	計
6. 8～9、6. 10～11	地域サポートセンターともに	20	0	20
6. 15～16、6. 15～16	同上	0	20	20
10. 5～6	同上	11	6	17
2021. 3～29～31	同上	7	5	12

延べ69名



2020年度サービス向上推進プロジェクト 研修委員会 法人合同研修実績

種別	日時	場所	研修目的	研修タイトル	講師	参加者		
						障がい施設	高齢施設	
全体	2020. 6. 8～9・10～11	地域サポートセンターともに	法人職員として基本理念を遵守し、サービスを利用する人、地域住民の幸福実現にかかわる社会的責務を担う者として地域に貢献し、人に感謝し感謝されながら互いに助け合い仕事に取り組み義務と責任について理解する。	なし	法人職員	20	0	
		地域サポートセンターともに						
	2020. 6. 15～16・17～1	地域サポートセンターともに		2019. 20新規採用職員研修	法人職員	0	20	
		地域サポートセンターともに		2020年下半期新規採用職員研修	法人職員	11	6	
階層別	2020. 10. 5～6	地域サポートセンターともに		2020. 2021新規採用職員研修	法人職員	7	5	
		地域サポートセンターともに		なし				
専門別						38	31	
								69

## 2. 事業実施状況

### (1) 特養部

#### 1) 施設サービス利用者状況

##### ア. 在籍者人数調

2021年3月31日現在

項目	男	女	合計
人数	4	46	50

##### イ. 年齢別

2021年3月31日現在

区分 分年齢	男	女	計
50～59歳	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	1	1
70歳～74歳	0	3	3
75歳～79歳	0	5	5
80歳～84歳	0	7	7
85歳～89歳	3	5	8
90歳～94歳	1	13	14
95歳～99歳	0	11	11
100歳以上	0	1	1
計	4	45	47
平均年齢	87.8	87.9	87.8

※最高100歳

##### ウ. 障害現症別（身体障害者手帳保持者のみ）

2021年3月31日現在

区分 分障害名	男	女	計
脳血管障害（右麻痺）	0	0	0
脳血管障害（左麻痺）	0	0	0
脳血管障害（その他）	0	2	2
頸髄損傷	0	1	1
脳性麻痺	0	0	0
神経難病	0	0	0
知的障害	0	0	0
その他	0	1	1
計	0	4	4

エ. 障害等級別

2021年3月31日現在

分 等 級	区	男	女	計
1 級		0	2	2
2 級		0	1	1
3 級		0	1	1
4 級		0	0	0
5 級		0	0	0
6 級		0	0	0
計		0	4	4

オ. 利用経路

2021年度3月31日現在

居宅より	病院より	老人保健施設より	その他	計
5	7	0	0	12

カ. 退所理由

2021年度3月31日現在

居宅へ	病院へ	老人保健施設へ	その他（含看取り）	計
0	5	0	3	8

キ. 在所期間

2021年度3月31日現在

分 年 数	区	男	女	計
1 年 未 満		2	8	10
2 年 未 満		0	6	6
3 年 未 満		2	14	16
4 年 未 満		0	2	2
5 年 未 満		0	3	3
5 年 以 上		0	12	12
10 年 以 上		0	1	1
計		4	46	50
平 均		1年8ヵ月	2年11ヵ月	2年6ヵ月

ク. 保険者別

2021年3月31日現在

実施機関名	男	女	計
北 広 島 市	3	42	45
札 幌 市 北 区	0	1	1

滝川市	0	1	1
赤平市	0	1	1
紋別市	0	1	1
厚真町	1	0	1
計	4	46	50

ケ. 診療別施設外受診状況表

2020年度

受診先 症状	北広島市	恵庭市	札幌市									長沼町	その他	合計
			清田区	豊平区	白石区	厚別区	中央区	東区	南区	北区	西区			
一般内科	99	2	4		5	1	7							118
呼吸器科														0
循環器科	24		2			1	1							28
消化器科	112						2							114
外科					5									14
整形外科	62	1	2			1								66
脳神経外科	30	6		5		10		3						54
神経内科														0
精神科	14		5										3	22
泌尿器科	19			8										27
婦人科														0
耳鼻科	5												1	6
眼科	4													4
皮膚科	260													260
歯科														0
その他	1		9			1	1						1	13
計	630	9	22	13	10	15	12	10	0	0	0	0	5	726
上記中の 定期受診者	264	4	19	10	10	3	3	1	0	0	0	0	0	314

※ 入退院含む

コ. 月別施設受診状況表 (施設外受診)

2020年度

	入所者			ショート利用者				往診 (ショート)			計 (ショート)
	協力医療機関 受診	他病院 受診	入院	退院	受診	入院	輪厚三愛 (看取り)	やまと 皮膚科	他		
4月	11	19	4	3	1	0	1	25	0	63 (5)	
5月	10	27	0	1	0	0	0	21	0	59 (4)	
6月	20	27	5	3	7	1	0	22	0	77 (10)	
7月	8	25	5	3	7	0	0	20	0	61 (7)	
8月	20	22	1	3	5	0	0	21	0	67 (5)	

9月	11	28	7	4	9	1	0	19 (1)	0	69 (11)
10月	14	22	3	1	2	1	0	23	0	63 (4)
11月	15	17	1	1	2	0	0	12	0	46 (2)
12月	8	15	4	2	4	0	0	12 (1)	0	41 (5)
1月	16	24	2	4	6	0	0	21	0	67 (9)
2月	6	21	2	1	5	0	0	21 (2)	0	51 (4)
3月	16	23	3	1	3	2	0	19 (2)	0	62 (8)
計	155	270	37	27	58	5	1	236 (6)	0	726 (78)

※( )数字は、受診・往診者の数中のショートステイ利用者数状況

サ. 特別養護老人ホーム四恩園身体状況

2021年3月31日現在

	障害自立度					認知症自立度						
	自立	J	A	B	C	I	II	III	IV	M	なし	
介護1	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0
介護2	3	0	0	0	3	0	0	0	2	0	1	0
介護3	15	0	0	1	14	0	0	6	8	0	1	0
介護4	24	0	0	1	23	0	0	0	9	14	1	0
介護5	6	0	0	0	6	0	0	0	2	3	1	0
合計	50	0	0	3	47	0	0	7	22	17	4	0
%	100	0	0	6.0	94.0	0	0	14.0	44.0	34.0	8.0	0
合計	50	50名					50名					

<参考>

障害自立度	J	A	B	C	認知症自立度	I	II	III	IV	M
		何らかの障害を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ		一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに介助を要す		何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても誰かが注意していれば自立できる	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが時々みられ、介護を必要とする

2)施設サービス行事等実施状況

ア. 行事实績一覧

特別養護老人ホーム四恩園 (ショートステイ含む)

2020年度

月	日	曜日	行事名	参加人数				計
				利用者	職員	ボランティア	家族	
8	7	金	七夕食事会	58	9	0	0	67
9	24	木	敬老会食事会	58	9	0	0	67
12	3	木	もちつき食事会	56	9	0	0	65
12	25	金	クリスマス食事会	56	8	0	0	64
1	1	金	新年交礼会	52	10	0	0	62
計				280	45	0	0	325

※誕生日のお祝い等は個別に企画

### 3) ボランティア受入状況

#### ア. 定期ボランティア

2020年度

月 日	内 容	団 体 名
月1回第4曜日	華道クラブ	2020年度感染対策により活動休止
月1回	書道クラブ	休止中
月1回第1日曜日	音楽クラブ	2020年度感染対策により活動休止
毎月1回	車椅子清掃、加湿器清掃 花壇整備	2020年5月家族ボランティア花壇整備のみ実施

#### イ. 月別ボランティア内容

2020年度

月	内 容	人 数	団 体 名 等
4	感染対策による活動休止	0	
5	花壇整備	4	旧家族会ボランティア
6	感染対策による活動休止	0	
7	感染対策による活動休止	0	
8	感染対策による活動休止	0	
9	感染対策による活動休止	0	
10	感染対策による活動休止	0	
11	感染対策による活動休止	0	
12	感染対策による活動休止	0	
1	感染対策による活動休止	0	
2	感染対策による活動休止	0	
3	感染対策による活動休止	0	
計		4	

### 4) 四恩園面会者数

2020年度

月 項目	2020年度												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
人 数	50	14	8	15	20	17	14	9	13	7	16	10	193人
1日平均(人)	1.7	0.5	0.3	0.5	0.7	6.6	0.5	0.3	0.4	0.2	0.6	0.3	0.5人

### 5) 家族ボランティア報告

月	日	事 業	家族等参加者数
4	23	加湿器清掃	中止
5	21	花壇整備	3名
6	25	花壇整備	中止
7	30	花壇整備	中止
8	27	花壇整備	中止
12~3	—	加湿器清掃	中止

特別養護老人ホーム 要介護度別利用者状況

2020年度

月	人数	要 介 護 度					計	入院	外泊	一日平均 利用者数(%)
		1	2	3	4	5				
4月	実人数	2	5	16	20	5	48	31	0	97.8
	延利用者数	60	150	480	588	131	1,409			
5月	実人数	2	5	16	20	7	50	0	0	98.0
	延利用者数	62	155	496	589	217	1,519			
6月	実人数	2	5	16	19	7	49	47	0	94.9
	延利用者数	60	150	452	551	210	1,423			
7月	実人数	2	5	17	19	7	50	82	0	94.7
	延利用者数	62	155	445	589	217	1,468			
8月	実人数	2	5	17	19	7	50	43	0	97.2
	延利用者数	62	155	484	589	217	1,507			
9月	実人数	2	5	17	19	7	50	81	0	94.6
	延利用者数	60	138	451	560	210	1,419			
10月	実人数	2	5	17	19	7	50	110	0	92.1
	延利用者数	60	144	465	558	200	1,427			
11月	実人数	2	5	16	19	7	50	142	0	88.5
	延利用者数	60	150	398	540	180	1,328			
12月	実人数	2	4	17	20	7	50	90	0	92.8
	延利用者数	62	124	459	578	215	1,438			
1月	実人数	2	4	17	20	7	50	52	0	93.5
	延利用者数	62	124	489	582	192	1,449			
2月	実人数	2	3	15	23	7	50	30	0	93.6
	延利用者数	56	84	392	627	152	1,311			
3月	実人数	2	3	15	24	6	50	18	0	97.2
	延利用者数	62	93	463	720	168	1,506			
計	実人数	24	54	196	241	81	597	726	0	94.6
	延利用者数	728	1,622	5,474	7,071	2,309	17,204			

### 3. 在宅福祉サービス事業実施状況

・短期入所生活介護要介護度別利用状況

2020年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	0	0	2	6	7	2	0	17	15.8
	延利用者数	0	0	31	123	78	31	0	263	
5月	実人数	0	0	1	6	7	2	0	16	17.7
	延利用者数	0	0	31	132	87	33	0	283	
6月	実人数	0	0	2	6	7	2	0	17	15.6
	延利用者数	0	0	18	97	113	38	0	266	
7月	実人数	0	0	4	6	8	2	0	20	14.4
	延利用者数	0	0	41	102	129	16	0	288	
8月	実人数	0	0	4	6	4	1	0	15	16.8
	延利用者数	0	0	48	113	82	8	0	251	
9月	実人数	0	0	3	7	7	3	1	21	13.8
	延利用者数	0	0	11	130	90	41	18	290	
10月	実人数	0	0	6	6	7	3	1	23	11.7
	延利用者数	0	0	29	122	89	26	2	268	
11月	実人数	0	0	2	7	9	2	0	20	14.0
	延利用者数	0	0	6	103	146	24	0	279	
12月	実人数	0	0	3	8	10	2	1	24	12.0
	延利用者数	0	0	24	107	143	12	1	287	
1月	実人数	0	0	3	8	8	3	1	23	13.0
	延利用者数	0	0	35	108	134	21	1	299	
2月	実人数	0	0	1	7	8	3	2	21	15.3
	延利用者数	0	0	8	117	149	17	31	322	
3月	実人数	0	0	5	6	9	1	1	22	14.1
	延利用者数	0	0	16	110	141	12	31	310	
計	実人数	0	0	36	79	91	26	7	239	14.5
	延利用者数	0	0	298	1,364	1,381	279	84	3,406	



・デイサービスセンター要介護度別利用状況

2020年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	4	6	20	16	6	4	7	63	21.5
	延利用者数	14	41	172	162	66	26	78	559	
5月	実人数	4	6	19	15	5	4	8	61	21.1
	延利用者数	17	38	162	165	62	30	74	548	
6月	実人数	6	10	20	19	7	3	8	73	23.9
	延利用者数	23	59	153	218	56	24	88	621	
7月	実人数	6	9	22	19	8	3	9	76	26.1
	延利用者数	25	60	179	219	93	29	99	704	
8月	実人数	7	8	22	18	9	3	9	76	25.5
	延利用者数	24	47	161	219	85	28	98	662	
9月	実人数	7	7	23	18	11	3	9	78	26.5
	延利用者数	29	51	178	211	101	28	92	690	
10月	実人数	7	8	24	18	12	3	9	81	23.4
	延利用者数	26	49	193	227	107	29	94	725	
11月	実人数	7	8	23	18	13	3	9	81	26.3
	延利用者数	26	47	156	185	113	27	103	657	
12月	実人数	6	4	23	15	9	4	9	70	24.4
	延利用者数	23	24	191	186	97	33	106	660	
1月	実人数	5	6	21	18	9	5	10	74	24.3
	延利用者数	19	37	149	192	99	36	101	633	
2月	実人数	6	5	21	16	8	5	10	71	24.6
	延利用者数	21	30	150	174	87	25	103	590	
3月	実人数	7	5	21	18	8	4	10	73	25.6
	延利用者数	33	30	168	214	97	26	124	692	
計	実人数	72	82	259	208	105	44	107	877	24.4
	延利用者数	280	513	2,012	2,372	1,063	341	1,160	7,741	

・デイホームかたる 要介護度別利用者利用状況

2020年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(人)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	10	11	39	10	7	1	0	78	23.1
	延利用者数	34	74	314	94	64	20	0	600	
5月	実人数	8	11	38	11	6	2	0	76	24.1
	延利用者数	33	77	335	104	54	24	0	627	
6月	実人数	10	12	41	12	6	1	0	82	23.7
	延利用者数	42	83	316	113	46	15	0	615	
7月	実人数	9	15	40	13	6	2	0	85	25.1
	延利用者数	40	105	323	131	54	26	0	679	
8月	実人数	10	14	39	14	7	2	0	86	26.5
	延利用者数	40	97	313	128	46	29	0	653	
9月	実人数	12	12	39	14	9	2	0	88	26.6
	延利用者数	50	92	324	134	65	26	0	691	
10月	実人数	12	13	39	14	10	2	0	90	26.0
	延利用者数	48	106	308	125	65	23	0	675	
11月	実人数	11	14	36	15	10	2	0	88	21.4
	延利用者数	38	85	249	99	66	20	0	557	
12月	実人数	7	13	28	13	9	1	0	71	21.6
	延利用者数	29	100	251	113	70	20	0	583	
1月	実人数	8	13	30	13	9	3	0	76	22.7
	延利用者数	29	93	259	108	74	26	0	589	
2月	実人数	9	11	32	14	8	4	0	78	24.0
	延利用者数	31	81	252	104	62	29	0	559	
3月	実人数	9	14	35	14	9	3	0	84	24.3
	延利用者数	36	105	300	112	69	33	0	655	
計	実人数	115	153	436	157	96	25	0	982	24.1
	延利用者数	450	1,098	3,544	1,365	735	291	0	7,483	

・デイホームさとみ要介護度別利用者状況

2020年度

月	人数	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(人)
		1	2	3	4	5		
4月	実人数	5	2	3	0	1	11	4.8
	延利用者数	36	33	47	0	9	125	
5月	実人数	5	2	3	0	1	11	4.4
	延利用者数	35	30	41	0	9	115	
6月	実人数	5	2	2	0	1	10	4.5
	延利用者数	38	35	35	0	8	116	
7月	実人数	6	2	2	0	1	11	4.3
	延利用者数	46	36	23	0	10	115	
8月	実人数	6	2	2	0	2	12	5.4
	延利用者数	51	32	17	0	29	129	
9月	実人数	6	2	2	0	2	12	4.7
	延利用者数	55	33	18	0	16	122	
10月	実人数	5	2	3	0	1	11	4.1
	延利用者数	42	35	20	0	13	110	
11月	実人数	4	3	3	0	1	11	4.0
	延利用者数	26	46	14	0	13	99	
12月	実人数	4	2	1	0	1	8	3.1
	延利用者数	23	38	7	0	15	83	
1月	実人数	3	2	1	0	1	7	3.0
	延利用者数	17	35	7	0	12	71	
2月	実人数	5	3	1	0	1	10	3.0
	延利用者数	21	36	3	0	12	72	
3月	実人数	6	3	2	0	1	12	4.0
	延利用者数	38	41	23	0	6	108	
計	実人数	60	27	25	0	14	126	4.1
	延利用者数	428	430	255	0	152	1,265	

・ホームヘルプサービス 要介護度別利用者状況(定期巡回)

2020年度

月	人数	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(件)
		1	2	3	4	5		
4月	実人数	3	1	1	0	1	6	6.0
	延訪問回数	90	30	30	0	30	180	
5月	実人数	4	2	1	0	1	8	7.2
	延訪問回数	99	62	31	0	31	223	
6月	実人数	3	2	1	0	1	7	7.0
	延訪問回数	90	60	30	0	30	210	
7月	実人数	3	2	2	0	2	9	8.7
	延訪問回数	93	62	55	0	61	271	
8月	実人数	3	2	2	0	1	8	7.8
	延訪問回数	93	62	57	0	31	243	
9月	実人数	3	2	3	0	1	9	8.2
	延訪問回数	90	60	67	0	30	247	
10月	実人数	2	3	2	0	2	9	8.0
	延訪問回数	62	93	61	0	33	249	
11月	実人数	2	2	2	0	1	7	7.0
	延訪問回数	60	60	60	0	30	210	
12月	実人数	3	2	2	0	1	8	7.8
	延訪問回数	87	62	61	0	31	241	
1月	実人数	2	2	1	0	1	6	5.9
	延訪問回数	58	62	31	0	31	182	
2月	実人数	3	2	1	0	1	7	6.1
	延訪問回数	58	56	28	0	28	170	
3月	実人数	3	2	1	0	1	7	6.9
	延訪問回数	89	62	31	0	31	213	
計	実人数	34	24	19	0	14	91	7.2
	延訪問回数	969	731	542	0	397	2,639	

・ホームヘルプサービス要介護度別利用者の状況(介護保険)

2020年度

月	人数	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	一日平均利用者数(件)
				1	2	3	4	5		
4月	実人数	27	11	44	15	8	1	2	108	28.1
	延訪問回数	144	80	368	98	92	2	58	842	
5月	実人数	26	11	44	16	8	0	2	107	26.9
	延訪問回数	115	80	352	143	86	0	59	835	
6月	実人数	26	10	45	17	6	2	2	108	28.4
	延訪問回数	133	85	360	152	61	3	59	853	
7月	実人数	25	12	47	16	8	2	3	113	29.2
	延訪問回数	108	84	362	152	104	5	90	905	
8月	実人数	25	10	46	17	8	1	3	110	26.5
	延訪問回数	100	76	333	149	100	4	61	823	
9月	実人数	25	11	47	18	6	2	1	110	21.5
	延訪問回数	117	64	308	74	46	10	27	646	
10月	実人数	26	9	49	17	6	2	1	110	20.5
	延訪問回数	120	49	276	113	41	6	31	636	
11月	実人数	26	11	45	15	7	1	1	106	18.7
	延訪問回数	102	73	223	87	41	4	30	560	
12月	実人数	27	10	43	14	8	1	1	104	20.2
	延訪問回数	142	58	257	97	40	3	30	627	
1月	実人数	27	10	41	13	7	1	1	100	18.3
	延訪問回数	120	62	231	84	37	4	30	568	
2月	実人数	24	10	40	12	7	1	2	96	19.0
	延訪問回数	101	53	226	84	37	2	29	532	
3月	実人数	24	12	40	12	6	1	1	96	18.8
	延訪問回数	115	64	248	79	42	5	31	584	
計	実人数	308	127	531	182	85	15	20	1,268	23.0
	延訪問回数	1,417	828	3,544	1,312	727	48	535	8,411	

・ホームヘルプサービス類型別利用の状況（自立支援法）

2020年度

月	人数	居宅介護				重 訪 問 介 護	一日平均 利用数 (人)
		身体介護	通院介護 (身体伴う)	家事援助	通院介護 (身体な い)		
4月	実人数	26	2	13	0	31	13.8
	延利用数	354	3	151	0	413	
5月	実人数	25	2	12	0	28	12.9
	延利用数	377	2	149	0	399	
6月	実人数	30	5	12	0	33	15.5
	延利用数	421	7	138	0	466	
7月	実人数	27	2	11	0	30	14.2
	延利用数	414	3	145	0	438	
8月	実人数	28	2	13	0	31	13.9
	延利用数	392	4	128	0	431	
9月	実人数	30	5	10	0	32	14.9
	延利用数	411	5	137	0	447	
10月	実人数	27	4	12	0	30	14.6
	延利用数	408	9	144	0	452	
11月	実人数	29	2	11	0	29	12.7
	延利用数	353	3	132	0	381	
12月	実人数	29	3	11	0	29	13.2
	延利用数	381	6	131	0	409	
1月	実人数	26	1	9	0	26	13.7
	延利用数	379	1	115	0	426	
2月	実人数	31	2	9	0	32	13.6
	延利用数	359	3	103	0	382	
3月	実人数	26	2	11	0	27	13.7
	延利用数	408	2	130	0	424	
計	実人数	334	32	134	0	358	13.9
	延利用数	4,657	48	1,603	0	5,068	

・居宅支援事業所 要介護度別利用者の状況

2020年度

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	139	64	30	12	15	260
5月	148	64	28	15	16	271
6月	151	66	26	16	17	276
7月	145	65	27	17	21	275
8月	146	69	27	14	18	274
9月	152	67	30	16	17	282
10月	152	69	29	17	17	284
11月	153	69	34	17	15	288
12月	148	72	30	17	15	282
1月	147	73	30	18	16	284
2月	140	66	28	18	17	269
3月	135	73	31	18	18	275
計	1,756	817	350	195	202	3,320
割合	53.0(53.6)	24.6(27.0)	10.5(9.6)	5.9(4.5)	6.1(5.3)	100

( )内2019年度

・訪問看護ステーション要介護度別利用者の状況

2020年度

月	人数	要支援1	要支援2	要介護度					計	医療	計	平均 利用数 (件)
				1	2	3	4	5				
4月	実人数	3	5	8	8	3	1	3	31	13	44	10.1
	延利用回数	9	8	49	40	18	2	13	139	73	212	
5月	実人数	3	3	7	9	3	2	2	29	14	43	10.7
	延利用回数	9	7	43	46	8	7	13	133	60	193	
6月	実人数	3	3	7	10	1	1	3	28	10	38	9.0
	延利用回数	11	7	47	53	4	8	22	152	46	198	
7月	実人数	3	3	7	11	1	1	4	30	10	40	9.4
	延利用回数	9	8	51	42	5	8	33	156	42	198	
8月	実人数	3	3	9	9	1	1	3	29	6	35	9.4
	延利用回数	11	7	60	38	4	7	7	134	26	160	
9月	実人数	3	3	9	9	1	1	2	28	6	34	8.6
	延利用回数	9	8	61	41	5	8	8	140	31	171	
10月	実人数	1	3	8	10	1	2	2	27	7	34	8.5
	延利用回数	4	7	46	54	5	13	6	135	53	188	
11月	実人数	1	3	7	9	1	1	2	24	7	31	7.3
	延利用回数	5	7	42	37	5	8	7	111	27	138	
12月	実人数	1	4	6	9	2	1	2	25	6	31	7.6
	延利用回数	4	17	43	38	8	9	9	128	31	159	
1月	実人数	1	4	7	10	2	1	1	26	7	33	7.6
	延利用回数	3	16	39	35	8	8	7	116	29	145	
2月	実人数	1	4	6	8	2	1	2	24	5	29	6.8
	延利用回数	4	14	28	34	8	7	7	102	20	122	
3月	実人数	2	6	6	10	3	1	3	31	7	38	7.5
	延利用回数	6	19	29	47	11	8	16	136	36	172	
計	実人数	25	44	87	112	21	14	29	332	98	430	8.5
	延利用回数	84	125	538	505	89	93	148	1,582	474	2,056	



・複合型サービス要介護度別利用者状況

2020年度

月	人数	要 介 護 度					計	一日平均 利用者数(人)
		1	2	3	4	5		
4月	実人数	1	6	8	1	6	22	18.0
	延利用者数	30	168	187	20	135	540	
5月	実人数	0	6	6	3	6	21	17.7
	延利用者数	0	173	158	83	136	550	
6月	実人数	1	6	7	2	6	22	18.4
	延利用者数	30	168	158	50	145	551	
7月	実人数	1	6	5	3	6	21	18.0
	延利用者数	31	171	142	70	145	559	
8月	実人数	1	6	6	2	6	21	17.3
	延利用者数	31	172	139	51	142	535	
9月	実人数	1	6	5	2	6	20	16.6
	延利用者数	30	155	128	44	141	498	
10月	実人数	2	6	4	2	6	20	16.0
	延利用者数	38	172	89	52	146	497	
11月	実人数	2	6	3	3	6	20	16.5
	延利用者数	45	156	77	80	138	496	
12月	実人数	3	6	3	3	6	21	16.6
	延利用者数	58	170	80	61	145	514	
1月	実人数	2	6	4	1	6	19	15.8
	延利用者数	43	170	103	31	142	489	
2月	実人数	2	5	5	2	6	20	16.8
	延利用者数	40	127	119	48	133	467	
3月	実人数	2	4	5	1	7	19	16.0
	延利用者数	38	119	136	31	171	495	
計	実人数	18	69	61	25	73	246	17.0
	延利用者数	414	1921	1516	621	1725	6197	

・グループホーム 要介護度別利用者の状況

2020年度

月	人数	要 介 護 度					計	入院	ひと月平均利用者(%)
		1	2	3	4	5			
4月	実人数	1	3	8	4	3	19	0	97.6
	延利用者数	30	90	197	120	90	527	0	
5月	実人数	1	3	7	4	3	18	0	100.0
	延利用者数	31	93	217	124	93	558	0	
6月	実人数	1	3	7	4	3	18	1	99.6
	延利用者数	30	88	210	120	90	538	2	
7月	実人数	1	3	6	5	3	18	1	99.1
	延利用者数	31	90	186	150	96	553	5	
8月	実人数	1	3	7	4	3	18	0	100.0
	延利用者数	31	93	217	124	93	558	0	
9月	実人数	1	3	7	4	3	18	0	100.0
	延利用者数	30	90	210	120	90	540	0	
10月	実人数	1	3	7	4	3	18	1	97.8
	延利用者数	31	93	217	124	93	546	12	
11月	実人数	1	3	7	3	3	17	3	88.9
	延利用者数	30	90	210	83	67	480	60	
12月	実人数	1	3	8	4	2	18	2	91.0
	延利用者数	31	93	247	75	62	508	46	
1月	実人数	1	3	8	4	2	18	0	97.0
	延利用者数	31	93	248	107	62	541	0	
2月	実人数	1	3	8	4	2	18	0	100.0
	延利用者数	28	84	224	112	56	504	0	
3月	実人数	1	3	8	4	2	18	0	100.0
	延利用者数	31	93	248	124	62	558	0	
計	実人数	12	36	88	48	32	216	8	97.6
	延利用者数	365	1,090	2,631	1,383	954	6,423	125	

・サービス付き高齢者住宅 要介護度別利用者の状況

2020年度

月	人数	自立	要支援1	要支援2	要 介 護 度					計	入院	ひと月平均 利用者(%)
					1	2	3	4	5			
4月	実人数	1	3	5	14	7	3	0	1	34	1	99.3
	延利用者数	30	85	150	420	210	88	0	30	1,013	5	
5月	実人数	1	3	5	13	7	3	0	1	33	2	98.4
	延利用者数	31	93	145	427	217	93	0	31	1,037	10	
6月	実人数	1	3	5	7	13	3	0	1	33	2	92.6
	延利用者数	30	90	10	480	210	90	0	30	910	80	
7月	実人数	1	3	5	7	13	2	1	1	33	2	95.3
	延利用者数	31	93	110	217	400	62	31	31	975	48	
8月	実人数	1	2	4	15	8	2	1	1	34	2	92.0
	延利用者数	31	62	112	424	217	62	31	31	970	43	
9月	実人数	1	2	4	16	7	2	0	1	33	1	97.0
	延利用者数	30	60	120	479	210	60	0	30	989	30	
10月	実人数	1	2	4	16	7	3	0	1	34	1	97.6
	延利用者数	31	62	124	489	217	78	0	31	1,029	10	
11月	実人数	1	2	4	17	5	4	0	1	34	1	97.1
	延利用者数	30	60	120	480	150	120	0	30	990	30	
12月	実人数	1	2	7	14	5	4	0	1	34	1	96.6
	延利用者数	31	62	217	403	155	119	0	31	1,018	31	
1月	実人数	1	2	7	12	5	4	0	1	32	1	97.6
	延利用者数	31	62	217	391	155	124	0	31	1,011	11	
2月	実人数	1	3	6	14	5	4	0	1	33	1	95.5
	延利用者数	28	84	147	374	140	108	0	28	909	43	
3月	実人数	1	3	6	14	5	4	0	1	34	2	95.1
	延利用者数	31	93	165	403	155	124	0	31	1,002	52	
計	実人数	12	30	62	159	87	38	2	12	402	17	96.2
	延利用者数	365	906	1,637	4,987	2,436	1,128	62	365	11,886	393	

種別	相談状況														相談者内訳																													
	相談件数				利用方法別相談状況(件)						年齢区分				性別		要介護認定状況																											
	件数	実人数	新規人数	訪問	来所	電話	事業	文書	その他	時間外対応	第1号被保険者			その他	不明	女性	男性	不明	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当	その他	本人	家族	知人	民生委員	医療機関	サービス			福祉サービス	保健・医療サービス	介護保険サービス		行政	高齢者支援センター	福祉機関	社会福祉協議会	その他
											後期高齢者	前期高齢者	その他																				福祉サービス	介護用品機器業者	住宅介護支援事業所									
4	466	288	10	132	15	309	0	7	3	3	71	393	2	0	138	328	0	220	92	25	3	1	1	2	1	121	301	22	1	1	7	32	3	5	20	6	0	1	0	6				
5	475	255	17	119	13	309	0	30	4	7	50	416	9	0	113	362	0	211	103	25	8	3	1	3	0	121	251	44	2	3	24	54	5	8	21	7	0	2	3	15				
6	543	313	24	142	30	347	0	20	4	5	51	485	7	0	156	387	0	225	103	43	23	1	0	0	0	162	277	57	8	5	14	41	4	15	43	8	1	1	1	19				
7	561	282	11	150	22	361	0	17	11	13	51	509	1	0	139	392	0	265	134	22	5	4	3	0	0	0	161	292	93	3	2	16	77	6	9	34	9	0	2	1	7			
8	589	314	21	160	32	370	0	25	12	6	57	540	2	0	181	418	0	248	123	22	8	3	1	1	0	203	344	68	5	7	12	60	6	7	41	9	0	3	0	20				
9	584	328	22	173	25	356	1	18	11	4	66	516	2	0	150	434	0	251	121	37	2	1	0	7	0	183	338	96	3	4	19	40	8	10	48	9	0	3	2	4				
10	660	318	21	199	24	413	0	14	10	4	90	589	1	0	172	488	0	292	150	59	4	2	1	0	0	186	376	105	7	7	29	46	9	20	41	12	2	2	2					
11	577	304	18	123	20	407	0	20	7	9	82	491	4	0	152	425	0	270	133	32	4	6	0	0	0	0	153	349	78	4	4	23	57	5	19	27	3	1	1	1				
12	598	336	21	149	22	403	0	19	5	1	95	497	6	0	173	425	0	244	143	43	3	4	0	0	3	169	359	90	3	5	21	40	4	18	29	14	0	5	1	6				
1	518	296	14	118	20	365	1	10	4	3	75	442	1	0	152	366	0	242	123	30	6	5	2	0	0	141	294	85	6	4	10	45	3	15	40	2	0	2	5	3				
2	544	313	13	119	12	388	4	13	8	2	74	487	3	0	181	363	0	235	120	40	10	4	0	1	0	141	344	91	3	6	9	35	2	8	23	8	0	4	0	4				
3	593	329	25	149	25	400	1	15	3	4	73	518	2	0	187	406	0	244	156	30	4	4	3	0	0	170	365	99	6	2	22	37	5	9	36	3	2	1	2	2				
計	6718	3676	217	1733	260	4428	7	208	82	61	835	5843	40	0	1894	4794	0	2947	1501	408	80	38	13	14	4	1911	3890	928	51	50	206	564	60	143	403	80	6	27	18	89				

<総評>

・2020年度は、コロナ禍という状況から人との接触を避ける意識が高まり、上半期は相談件数も減少に転じたが、下半期はさまざまな生活課題が表れ始め、最終的には前年度を上回る相談対応を実施した。担当領域における元々の傾向(高齢化率上昇【前年度46.8%⇒今年度47.1%】・1世帯当たりの人口減少等)に加えて新型コロナウイルス流行が影響し、特に高齢者全体のフレイル進行・認知機能低下を招き、今後早急な取り組みが求められるところである。今後においては、地域包括支援センターとして、現在困っている方への個別支援をしっかりと対応していくと共に、フレイル進行予防の取り組み・認知機能低下予防の取り組みを感染対策と掛け合わせながら実施していく事が出来るよう、デジタル・アナログ等さまざまな手法を用いて実施出来るよう努める。ワクチン接種を経て感染収束が今年度中に実現するとは考えにくく、大々的に集まるイベント等の実施は難しいものの、チャレンジ性を持って取り組みの企画や立案を実施していきたい。



5-1 2020年度地域交流ホームふれて・地域サポートセンターともに イベント等報告

2020年度ふれて・ともにコンデション体操、スマホ相談

コンデション体操	
5月	15
6月	46
7月	70
8月	63
9月	60
10月	60
11月	110
12月	100
1月	87
2月	79
3月	80

スマホ相談	
6月	5
7月	5
8月	5
9月	8
10月30日	2
10月26日	1
10月9日	2
10月22日	1
10月27日	1
11月6日	1
11月7日	1
11月9日	2
11月10日	2
11月11日	1
11月19日	1
11月22日	1
11月24日	1
12月1日	1
12月8日	2
12月10日	1
12月12日	1
12月14日	3
12月18日	2
12月21日	1
12月23日	1
1月4日	2
1月8日	2
1月14日	1
1月15日	1
1月21日	2
2月26日	3
3月1日	1
3月4日	1
3月8日	1
3月9日	2
3月10日	2
3月29日	1

5-2 2020年度地域交流ホームふれて・地域サポートセンターともに イベント等報告

2020年度ふれて・ともにミニ講座動画一覧表

開催日	タイトル	参加人数
11月2日	「高齢者施設の豆知識」北広島にある身近な高齢者施設の紹介	8
11月19日	「ともに施設のオンライン見学ツアー」地域サポートセンターともにの施設内オンライン見学	8
12月10日	「今のうちから行う備え」（前編）エンディングノートをかいてみましょう	8
12月24日	「今のうちから行う備え」（後編）エンディングノートをかいてみましょう	8
1月14日	「Goodbyeウイルス！Hello元気！」コロナウイルス！編	8
2月15日	「喉つまり、むせることが多くなった人へ」対処法と日頃からのトレーニング	8
3月11日	「知って得する認知症予防」MCIってなんだろう？	8
3月25日	「ハッと気づかされる薬のハナシ」身体とくすりの関係	10





7. 2020年度 地域サポートセンターとともに地域交流スペース利用状況

(令和2年度)  
＜宿泊利用＞ (人)

月	団体数	人数
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
合計	0	0

＜団体利用＞

月	団体数	活動室1	活動室2	活動室3	活動室4・5	体育館	グラウンド	まーぶる		ともにの つどい	合計
								大人	子供		
4	1										0
5											0
6	1										0
7	2						46				46
8	3						40				40
9	3						54				54
10	2						43				43
11	5	7		11		24	13				55
12	1										0
1											0
2											0
3											0
合計		7	0	0	11	24	196	0	0	0	238

＜個人利用、一般＞

月	利用日数	体育館	グラウンド	喫茶	キッズ	体操			販売		合計
						健康体操	100歳	つむら	ヤクルト	パン	
4						お客様 一般	85	0			85
5						お客様 一般	0				0
6						お客様 一般	87				87
7						お客様 一般	92				92
8						お客様 一般	82				82
9						お客様 一般	107				107
10						お客様 一般	134				134
11						お客様 一般	104				104
12						お客様 一般	118				118
1						お客様 一般	102				102
2						お客様 一般	103				103
3						お客様 一般	98				98
合計	0	0	0	0	0	お客様 一般	1,112	0	0	0	1,112

(総人数)

団体	個人	合計
0	85	85
0	0	0
0	87	87
46	92	138
40	82	122
54	107	161
43	134	177
55	104	159
0	118	118
0	102	102
0	103	103
0	98	98
238	1,112	1,350

※4月18日から6月まで健康体操中止  
 ※健康体操以外の利用なし  
 ※7月5日からグラウンドのみ使用開始  
 ※11月4日から一軒活動室、体育館利用開始  
 ※11月7日から活動室、体育館利用停止  
 ※1月から健康体操団体に入れない(施設長指示)

2020年度 管理課 事業総括

主管 管理課

事業方針	
<p>先行きが予測困難な時代において、職員が安心して働くことができ質の高いサービス提供が安定かつ継続的に提供できることが、サービス利用者、家族、地域住民の安心や満足につながる。</p> <p>管理課は法人経営を直接的に補佐する役割を持ち、組織を束ね、職員一人ひとりの生活を支える機能を果たすことが求められる。</p> <p>働き方改革が進められる中で、これまでも試行錯誤を繰り返し、多くの指摘、助言を受けながら柔軟な働き方や多様な背景を持つ職員の採用等、働きやすい、やりがいを感じられる職場づくりの基盤整備をしてきたところである。</p> <p>今年度も継続して、人材確保と定着、地域公益活動への積極的な取り組み、働きやすい環境整備、安定経営への直接的かつ間接的な関与を行いながら法人経営を下支えしていく。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人材確保と定着                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが働きやすいやさしい職場環境への取り組みと外国人介護人材の受け入れのための準備</li> </ul> </li> <li>2. 大規模改修工事に向けた準備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の大規模改修に向け ICT 機器の導入を含めた業務効率化による職員の働きやすさとサービス利用者の暮らしやすさへの取り組み</li> </ul> </li> <li>3. 地域公益活動への参画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで通りの市民スタッフへの協力と、さらに多くの職員の参加への取り組み</li> </ul> </li> <li>4. 安定経営のための各事業の収支管理とリスク管理                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業が個々で事業展開するに留まらず、迅速かつ効果的な連携が図れるよう「横串」としての機能の発揮。</li> <li>・新型コロナウイルス収束後の交流スペース利用のルール検討と感染症発症時、自然災害等に備えたリスク管理。</li> </ul> </li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保について外国人介護人材はコロナのため来日できず次年度へ持ち越し。その他の人材については職員紹介、ハローワークを通じて一定の採用ができていくとともに定着している。</li> <li>・大規模改修は次年度申請、2022年工事を目指し準備中である。</li> <li>・コロナのため地域交流ホームの休館、地域行事の中止により思うような活動はできていない。</li> <li>・高齢者施設全体の収支状況は安定で推移。コロナウイルス対策として法人本部、衛生委員会との協力で衛生用品の管理を実施。</li> </ul>	<p>【最終評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて採用ができていく。ここ数年新卒者の入職が1名以上あり、広報委員会、カイゴみらい委員会の活動が功を奏している。次年度も各委員会や、養成校教員らとの連携を図りながら若手職員の採用や地域住民とのコネクション利用した採用を継続していく。</li> <li>・大規模改修工事に向けた本格的な準備に入った。振興局、建設会社等との連絡を密に行いながら事業を進めていく。</li> <li>・コロナ禍の長期化により活動は停滞。しかしオンラインでの体裁の配信、スマホ教室等新たな活動様式が根柢することできていく。</li> <li>・コロナウイルス対策の徹底により、陽性者ゼロであった。今後も最新の注意を払いながら、率先した行動で啓発していく。</li> </ul>

2020年度 施設係 事業総括

主管 管理課 施設係

事業方針	
<p>基本理念に基づいてお客様はもとより地域社会への貢献を担う法人職員として各事業が安全、円滑、快適に運営できるよう主にハード面における管理業務を主軸とし事業の運営に寄与するものとする。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 施設内、設備機器及び備品等の保守点検、法定点検整備、メンテナンス、修繕の実施</li> <li>2) 施設ご利用のお客様及び職員の送迎、並びに各車輛の法定点検、メンテナンス、修繕の実施</li> <li>3) 敷地内、及び各拠点の屋外環境整備（除雪、草刈、花壇整備等）の実施</li> <li>4) その他施設に関わる業務、行事、催し等の補助、及び用務全般</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事異動により新たに管理課施設係に加入した職員と共に例年通り通常業務を実施できた事は良かったものと振り返る。</li> <li>・コロナの影響により例年6月に行っていたガラス清掃を実施できなかった事は残念である。</li> <li>・四恩園引込道路の外灯ポール、中庭車庫、ふよて物置、看板柱脚、玄關扉の塗装を職員自主作業にて実施。</li> <li>・施設設備に関しては大きな故障等も無く、毎年実施していた高圧洗浄機修理も今期は実施せずにすみそうである事は幸いである。</li> </ul>	<p>【最終評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季除雪業務については各拠点ごとに担当職員を選任し、乗者に依頼することなく実施し、なおかつ無事故で雪解けを迎えられた事は良かったものと振り返る。</li> <li>・四恩園は大規模改修を控えているため極力経費をかけずに維持したいと方針が、さつき、ふよて、ともに3拠点については要修繕の課題が見えてきたところである。それぞれ課題について重要度や経費面を考慮し実施可能な部分については極力自主作業とする方向で計画している。</li> <li>・車両管理に関しては送迎委員会において全車両の長期更新、修理計画や定期自主点検整備、安全通所啓発ピラの配布等を実施。来年度は車両のへこみや傷等を修理する年として計画しているため実施にむけて取り組んでいきたい。</li> </ul>

2020年度 給食サービス課事業総括

主管 給食サービス課

事業方針	
1. お客様満足に向けて各拠点（四恩園・ともに・かたる）のニーズを図り、各拠点の特色を活かし、①生活食（身体の基礎・健康促進・予防）、②治療食（回復・維持）、③行事食（心と体の栄養・楽しみ・喜び・感謝）の三つを柱としてお客様本位の提供に努める。	
2. 安全・安心の信頼を損ねることの無いよう清掃・衛生管理・健康管理の強化に努める。	
3. 地域の行事への参加、つながりに努める。	
4. 栄養相談、食事の感心を高め体調不良軽減につながるよう努める。	
5. お客様から観える仕事、提供の仕方の工夫に努める。	
6. 人材確保、機器導入、マニュアルの作成など業務の効率化を図る。	
重点事業項目	
1) 各拠点の特色を活かした食事、行事に取り組み。	
2) 清掃・衛生管理、健康管理、機器・設備管理の周知、徹底。	
3) 職員のスキルアップ、モチベーションの維持・向上、ムリ・ムラ・ムダを無くすよう話し合い、意見交換をしていく。	
4) 病気・怪我など長期欠勤により人員不足となった場合の対策。	
【上半期評価】	【最終評価】
・正職員が増えて指導方法等、見直すべきこともあり、色々と考えさせられる上半期だった。 ・職員が怪我で数週間休んだ時期もあったが、シフトの変更、調理法の工夫などで乗り越えた。 ・コロナ禍の影響で行事などが減っているなか、食事だけでも行事食で出して欲しいとの依頼もあり、各部署のお客様、職員から大変喜ばれた。	・拠点ごとに職員の増減、長期休暇などもあり落ち着かない下半期になった。 ・コロナ禍において衛生について工夫、強化を検討したが、そんなに変更することも無く、普段の意識の高さが見て取れた。 ・各拠点も人手不足で弁当の日などで休みを確保しているが現状維持が精一杯で、現状からの向上、新しく何かを始めるなどは厳しい状況。

2020年度 施設サービス課事業総括

主管 施設サービス課

事業方針	
四恩園施設サービス機能を地域の拠点と位置付け、在宅生活の延長としてお客様をお迎えできるよう生活の継続において四恩園に関わる全ての「人」の満足高め、またこれから出会う全ての「人」の幸福を願ひ、我々施設サービス課は基本理念を念頭に2020年度「SHIONケア」をスローガンに掲げお客様に四恩園に巡り合えて幸福を感じて頂ける生活ケア提供を目指します。	
「SHIONケア」S=Satisfied 満足、H=Happiness 幸福、I=Idia 想像、O=Originality 独自性、N=N o.1 プランの5項目をお客様支援に位置づけ施設サービス課は取り組みます	
重点事業項目	
1. 施設サービス機能の要望に応えるべく多職種連携、調整を図ります。 施設サービス課の入所機能（施設入所、短期入所）の利用希望、要望を施設サービス課長以下各チームのよる積極的支援を展開し四恩園施設ベッドを提供していきます。利用に際しお客様ならびにご家族様の身体状況を確認の後、医務課、栄養課、担当ケアマネ等多職種連携に努めご利用ニーズに応えます。	
2. 施設サービス機能存分に發揮すべく人材確保を実現します。 昨年度に引き続き、業務の内容・時間など働き方を見直し、働きやすく働き甲斐のある職場作りに取り掛かります。またここが私たちの願ひお客様が実現できる場所となるよう感染症対策を徹底し安全面を確保しつつ、ハード面の改修準備を進めていきます。ハード面の魅力アップだけでなく、私たちが積極的に地域に出向きケアの魅力を伝え共に夢を目指す仲間を増やします。	
3. 多様なニーズに応えるべくサービスの質向上を実現します。 研修方法を一新し、職員の学びがケア実践に反映される仕組みを作ります。外部機関との連携も強化し感染症認定看護師による感染症対策研修、提携透析科医院による口腔ケア管理指導やオムツアドバイザーによる排泄ケア研修を定期開催し、ケアの質向上に努めます。また最新福祉機器の導入と活用を進め、お客様・職員双方にとって安全・安心のケアを実現しつつ多様なニーズにも応えます。	
【上半期評価】	【最終評価】
感染症予防に資する新たな生活様式の確立、家族面会の制限や外出の自粛、クラブ活動や催し行事を中止とする中、お客様に安全に生活を送って頂くことに重きを置き取り組んできた。その中でもお客様の感染を下さず一定の稼働を維持し、職員についても法人によるバックアップ体制の中、感染予防及び体調不安時の早期受診にてお客様への日常ケア支援に影響を及ぼすことなく上半期を経過。 新規職員入社後の育成プログラムの実施によるケアアシスタントからケアスタッフへの移行、施設サービス課職員による初任者研修資格の受講、8月期からは感染予防への配慮を考慮しながら高齢部門による協力において社会福祉援助技術実習生を受け入れ、お客様へのケース分析、相談援助機能の学習や項目別全体研修プログラムを実施など人材育成、スキルアップ、将来活躍の場の提供の機能も施設サービス課として取り組むことができた。	2020年度入所及び短期利用において感染者発生に至らなかつた事は集団生活環境下、法人、高齢部門、医療関係機関、ご家族支援、施設サービス課内従事者共通協力体制、自己予防、新生活スタイルの見直しに取り組みた事が要因と考える。又自事業所のみならず管内感染施設へ職員派遣協力の実施において派遣に係る職員を応援することで自事業所の感染も予防すると位置づけ派遣職員の安全復帰を歓迎できた点は課内職員の連携強化となった。2019年より取り組んでいるお客様に喜んでもらえるよう四恩園ベッドを活用頂くことに稼働安定を目指し新規相談の実施、入退所及び入退院調整、介護支援専門員の計画作成業務の遂行にも取り組めた。アクションプラン位置付けである稼働率の維持、お客様に安全な生活環境と食事排泄入浴8大ケアの提供に着目し継続。機器の活用頻度も徐々に定着しお客様への事故防止、職員負担軽減にも引き続き取り組み。

2020年度 北広島デイサービスセンター四恩園事業総括

主管 通所介護課

事業方針	
北広島デイサービスセンター四恩園は、お客様お一人お一人が“自然に心と身体が動く”ケアを提供することで心身機能の安定と笑顔を引き出し、お客様はもちろん、介護するご家族や地域をも元気にできる事業所になることを目指しています。	
今年度は、食事(水分・排泄・入浴)の三大ケアに起居移動を加えたケアについて、お客様が“自然にかつ最大限に自身の力を発揮し続けることができる”ことがお客様“あたりまえの生活”の継続につながるという基本に立ち返り、ケアの質の担保と向上に取り組むとともに、“自然にかつ最大限に自身の力を発揮し続けることができる”生活がリハビリテーションそのものであり、心身機能の維持安定につながっているということの啓蒙にも取り組みます。	
介護保険制度が改正になる度に通所系事業所に変化を求められているという状況を鑑み、来年度に迫る制度改正と第8期介護保険事業計画についても情報収集を続け、対応の検討と準備を行います。	
重点事業項目	
1. お客様お一人お一人が“自然に心と身体が動く”プログラムの再検討 心身機能が軽度・重度に関わらず様々なお客様と一緒に楽しむことができるプログラムを検討します。	
2. お客様が安心して利用できるための環境作り 体調変化を早期に発見・対応すること、感染症対策を徹底することで、お客様が安心して利用できる環境を作ります。	
3. 評価と成果の見える化とケアの統一化に向けた取り組み 既存の書類、数値やグラフ、写真や動画の活用で評価と成果の見える化とケアの統一化を図ります。	
4. 職員の知識と技術の向上 三大ケアと起居移動のケアについてお客様が“自然にかつ最大限の力を発揮することができる”ことが基本であることを再理解するための取り組みを行います。	
【上半期評価】	【最終評価】
上半期は新型コロナウイルス感染症への対策が最優先となり、三大介助に係る以外の部分についてのプログラムは一部又は全部を変更・省略せざるを得ない事態となりました。そのような状況の中でも納涼祭、敬老祭を工夫しながら実施し、お客様に喜んでいただくことができたのは評価に値する点と考える。検温等の体調管理や換気・消毒等にも慣れることができたように感じている。下半期については、現在行っている感染症予防対策を風化させずに継続・発展しつつも上半期に省略していた通常プログラムを再開することができよう取り組むこととしたい。	今年度は新型コロナウイルス感染症への対応が最優先の一年であった。下半期にはケアパレットの導入により検温にかかる時間を半減したこともあり、以前のプログラムのほぼ全てを実施することができた。行事についても例年同様の「餅つき」は中止したが、お餅を食べることで季節を感じていただく「もちまわりの」を企画・実施することができたこと、行事内でのレクリエーションをきっかけに「スポレク」を開始できたことは職員にとつて良い経験になったのではないかと感じている。次年度も感染対策の徹底とそれの中でもお客様に喜んでいただけたための工夫に取り組みしていきたいものである。

2020年度 デイホームさとみ事業総括

主管 通所介護課

事業方針	
基本理念を基に思いやりやりの通じ合う、身近な存在として、安心してすごしてもらう。事業内容もこれまでの生活で担ってきた家事全般を中心にできることに自信をもって参加していただく。魅力のある事業内容で登録者15名を目標にする。地域資源の活用をしながら自分たちの住んでいる北広島の再発見の取組を考へる。お茶の間を通じてさとみ5/6丁目に住む一人暮らしの方、世話人と介護事業所、市役所、南支援センターとの結びつきも増えている。これらのつながりから介護予防のお手伝いの役割を担う。	
重点事業項目	
1) 身近な存在で安心して過ごしてもらう。 ○安心安全なケア → 適切な身体介護、基本ケア 介護職員、機能訓練担当、調理担当、運転手、添乗職員	
○役割を担う → 昼食準備、洗濯、掃除 お客様、介護職員、調理職員、相談員	
2) 魅力のある事業 目標 登録者15名 ○おもしろい、好きなこと、 → 脳トレ、手芸、おやつ お客様、介護職員 随時 → 合唱交流(グランパ) マージャン(ボランティア)	
○季節の事業 → 誕生会、節句、BBQ、流しそうめん、敬老、もちつき、Xmas	
○身体にいいこと、健康予防 → 百歳体操、かみかみ体操、音楽体操 毎回午前 全職員	
○外出を増やす → 歩く機会、北広島を知る 外気浴をする。	
○日帰り行事を増やす → サンパーク、ふれあい公園、島松駅連 午後 好天、暖かい日	
○室内 → 市役所イシヤカフェ、生協エルフィン、イオン西岡 雨天 冬季	
○日帰り行事を増やす → 温泉、レストラン外食、千歳サーモンパーク、動物とのふれあい	
3) 全職員が役割をもって事業に取り組む ○質の向上を目指し、研修、公開講座に参加して現場にフィードバックする 経験の多い職員が状況でサポート役、アドバイスを行い介護のスキルを身に着け、適切な介護につながる。 → 通年 全職員	
【上半期評価】	【最終評価】
新型コロナウイルスからの事業継続も制約がある中影響を避けながら、いつもと違う受け入れで、不手洗もあるが、(マスクしたくない)(しつこいほど)発熱予防の水分摂取も含めギリギリ実施できた。下期も気持ちを整えず、感染予防を最重点に実施。	年間を通じて新型コロナウイルスからの事業継続も制約がある中影響を避けながら、いつもと違う受け入れで、不手洗もあるが、(マスクしたくない)(しつこいほど)発熱予防の水分摂取も含めギリギリ実施できた。下期も気持ちを整えず、感染予防を最重点に実施。

2020年度 デイホームかたる事業総括

主管 通所介護課

事業方針(なせ)	
<p>デイホームかたるは、介護保険の入り口的な役割を担い、軽度者の方をターゲットとし、「お客様お一人お一人の“やりたいこと”が“できる”ために」という視点で生活力が維持・向上するサービスを目指します。地域の社会資源を活用し、地域交流ホームふれてやボランティア、各相談機関と連携をとりながら地域に根差したサービスを目指します。</p> <p>また、安定した事業が展開できるように、業務の効率化、職員の資質向上、次世代を担う職員の発掘・育成、地域のマンパワーの活用にも積極的に力をいれています。</p> <p>そして、介護保険法の改正と第8期介護保険事業計画については、引き続き、情報収集と対応すべく準備を進める年度としたい。</p>	
重点事業項目	
<p>1) アセスメントを徹底し、お客様個々の生活力を維持・向上すべく「楽しい」を基本としたプログラムを検討、実施します。</p> <p>2) 日常の感染予防対策を徹底し、お客様や職員の健康管理に努めます。</p> <p>3) お客様と地域、事業所と地域がつながり、支え合える関係を構築します。</p> <p>4) 業務内容の整理と改善、職員のスキルアップを進め、安心・安定した事業の運営を目指します。</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>・外出行事に関しては、感染症へのリスクを回避することが優先と考え上半期は中止としている。外出できない状況の中で、室内活動の充実を図り、手芸の追加、ゲーム週間の設定など変更に活動の幅を広げている。</p> <p>・送迎時の検温、車内でのマスク着用、カラオケの飛沫予防対策、座席間隔の配慮、清掃等実施している。職員も毎朝の検温チェック実施している。</p> <p>・ふれて閉館に伴い、ボランティアさんの協力も見合わせており、お客様の接点が不特定多数にならないようにしている。関係が切れぬように、定期的に電話連絡している状況。</p> <p>・感染症による職員のお休みが増えることも予測できるため、少人数でも運営が可能となる方法を模索する。従来にとらわれず柔軟に対応する。未経験職員の技術向上に力を入れている。</p>	<p>・室内での活動中心の1年となり、レク、趣味活動等の多様化の必要性を強く感じた。次年度の課題として、質の高い(地域の方にも喜んでいただける品質)内容で参加できるものを増やし実施していきたい。</p> <p>・昼食前のアルコール消毒、車輛の消毒を増やすなど、上半期に増して取り組んでいる。陽性者1名がでた11月以降は職員の意識も高く対策の徹底ができた。</p> <p>・コロナウィルスの影響を受けて、ボランティアの中止、ふれて休館等により、繋がる関係が構築できていない。オンライン体操での繋がりを活かした取り組みを次年度は進めたい。</p> <p>・職員が4名離職し、1名入職するも現状の業務内容を続けていくことに無理が生じてきている。業務内容の均等化、前略化、ICTの活用など次年度に向けて取り組んでいきたい。</p>

2020年度 北広島市みなみ高齢者支援センター事業総括

主管 高齢者地域支援課

事業方針	
<p>・2020年度は、北広島団地地区を担当圏域とする地域包括支援センターとして、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らして続けることのできる地域包括ケアシステム構築を目指し、「個を地域で支える援助」と「個を支える地域を作る援助」を両輪で実践します。近年は我が事・丸ごと地域共生社会実現本部の設置などから、支え手や受け手という考え方の徹底・年齢による縦割りの区切りの撤廃などが浸透しつつあり、高齢者の活躍が今後ますます期待されることです。自助・互助・共助・公助で言う「自助」機能強化ができるようコーディネート機能を発揮する他、地域住民・自治会・行政・病院・大学・社会福祉協議会・民生委員や地区福祉委員・民間企業など関係機関とのネットワーク連携を構築し、住みよいまちづくりを目指します。</p> <p>・近年は自然災害や新型コロナウイルスなど疫病の流行等、予め予期できないような現象が続いています。広域的に生活へ影響を及ぼす災害等が発生した際も、情報収集・過去の教訓等を生かし、臨機応変に対応することで、たくましく支え合える地域づくりを目指します。</p>	
重点事業項目	
<p>1) 地域包括支援センターが実践している各事業の円滑な実施と他機関・他職種連携(総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネジメント事業、介護予防マネジメント事業、家族支援事業など)</p> <p>2) 北広島団地地区の地域課題解決に向けて、生活支援コーディネーター及び第2層協議体活動を通じた自助・互助機能の強化</p> <p>3) 新型コロナウイルスの流行に伴い、地域でどのようなことが実際に起こっているのか情報収集と今後にかがすことのできる情報分析の実施</p>	
【上半期評価】	【最終評価】
<p>・地域包括支援センターとして担当している北広島団地地区は、高齢化率が上昇の一途を辿っている状況。(R2.7.31時点の高齢化率46.7%) 新型コロナウイルスの流行は、人と人のつながりや集団活動の在り方などを一変させ、特に住民主体・ボランティアなどインフォーマルな取り組みが減少。医療機関や入居施設などフォーマルなサービスでも感染症流行への不安から、アクセスがしにくくなっている。公的サービスだけで住民生活の全てを対応する事は到底困難であり、在宅でどのような人々の生活を支える体制を作っていくか大きな課題となっている。又、課題を抱えた人々の潜在力は広がっている。又、課題を抱えた人々の潜在力は広がっている。又、課題を抱えた人々の潜在力は広がっている。又、課題を抱えた人々の潜在力は広がっている。</p>	<p>・2020年度は、コロナ禍という状況から人との接触を避ける意識が高まり、上半期は相談件数も減少に転じたが、下半期はさまざまな生活課題が表れ始め、最終的には前年度を上回る相談対応を実施した。担当圏域における元々の傾向(高齢化率上昇【46.8%-47.1%】・1世帯当たりの人数減少・圏域全体の人口減少【14,866人→14,825人】)と新型コロナウイルス流行の影響は、特に高齢者全体のフレイル進行・認知機能低下を招き、今後早急な取り組みが求められるところである。今後においては、地域包括支援センターとして、今既に取り組んでいる方々への“個別支援”をしっかりと対応していくと共に、フレイル進行予防の取り組み、認知機能低下予防の取り組みを感染症対策と掛け合わせ、実施していく事が出来るようデジタル・アナログ等さまざまな手法を用いて実施できるよう努める。ワクチン接種を促して感染収束が今年度中に実現するとは考えにくく、大々的に集まるイベント等の実施は難しいものの、チャレンジ性を持って、取り組みの企画・立案を実施していきたい。</p>

### 2020年度 地域交流ホームふれて事業総括

主管 地域交流ホームふれて

事業方針(なぜ)	
<p>「人と人のつながり(ふれて)から生きることの喜びを知らう!!」          人が生きることの究極の目的は、一人ひとりの人格が尊重され尊厳が保持されることとあります。ふれては、子供・高齢者・障がい児者など、地域住民一人ひとりがつながることによって、お互いを尊重し尊厳をもって安心して生活のできる豊かな地域社会となるようその実現を目指します。</p>	
重点事業項目	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共生の理念のもと、地域の方が数多く集い、積極的に交流できる場になります。 (2020年度目標：毎月の来場者数平均800人を継続します。)</li> <li>2. ふれて市民スタッフを増やし組織化します。 (2020年度目標：市民スタッフ数を70人にします。)</li> <li>3. 地域住民・社会資源・関係機関と連携し、地域力を高め、地域を考える場になります。 (2020年度目標：認知症の方やその家族の方も安心してくつろげる場所を提供します。)</li> <li>4. 情報の発信と相談対応により、不安を解決できる場になります。</li> <li>5. 北広島団地地区の資源・象徴として、建物管理や環境整備を行います。</li> <li>6. 新型コロナウイルスの流行に伴い、来場者へ感染拡大防止のケアを行います。</li> </ol>	
【上半期評価】	【最終評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生の理念による交流 新型コロナウイルス感染拡大の状況から2月末から開始することができませんでした。自粛期間の長期化により、交流機会の減少やフレイルが引き続き心配されています。新たにオンラインから配られている。新たにオンラインで体配配信をはじめました。今後インターネット活用して参加できる環境づくりを進めています。</li> <li>・市民スタッフの組織化 館内での活動は難しく、花壇の手入れ等屋外での活動を少人数で実施した。</li> <li>・地域力の向上 ちむてとるの活動は、職員のみでベンチを設置し、白幡高等学校へ搬入したベンチの修繕を依頼した。</li> <li>・情報発信と相談対応 毎月1回発行しているふれて通信とブログを活用し、フレイル予防や認知症対策等コロナ禍における過ごし方の情報を発信しました。スマホやタブレットの活用方法の相談は1.5名から問い合わせがありました。またオンラインで体配の配信やお茶会を開催しました。今後は、スマホ・タブレットの保有人数増やしていき、インターネットを活用したつながりづくりの構築も進めていく。</li> <li>・建物管理と環境整備 ふれて及びサブセンターの環境整備については、ふれて市民スタッフ、四恩園各事業所の協力・連携により計画どおり実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生の理念による交流 2020年度は、開始することができませんでした。自粛期間の長期化により、交流機会の減少やフレイルが引き続き心配されています。新たにオンラインをはじめた体配とミニ講座の仲間がどんどん増えています。今後もオンラインを使ったつながりづくりを進めていく。</li> <li>・市民スタッフの組織化 館内での活動は難しく、花壇の手入れ等屋外での活動を少人数で実施した。</li> <li>・地域力の向上 ちむてとるの活動は、職員のみでベンチを撤去しました。白幡高等商業専門学校から新たに10台ベンチを購入し、搬入したベンチの修繕も依頼した。</li> <li>・情報発信と相談対応 毎月1回発行しているふれて通信とブログを活用し、フレイル予防や認知症対策、また新たにスマホ・タブレットの活用方法の情報を発信しました。下半期のスマホ・タブレットの活用方法の相談件数は70件でした。相談をきっかけに、オンライン体配やミニ講座へつながっていく。今後は、スマホ・タブレットの保有人数を増やし、インターネットを活用したつながりづくりの構築を進めていく。</li> </ul>

### 2020年度 北広島居宅介護支援事業所四恩園 事業総括

主管 居宅介護支援課

事業方針	
<p>近年、北広島団地においても「8050問題」「親亡き後問題」「ダブルケア」「高齢者の運転」などの課題が顕在化している。いずれも10年前には地域のニーズとして取り上げられることがなかった新しい課題である。「地域包括ケア」が提唱され十数年が経ち、「地域包括ケア」が支えるべきニーズが変容しつつあると言える。介護支援専門員の個々の関りから地域のニーズを改めて理解し、ニーズを支える地域像を考えた。</p> <p>介護支援専門員は、介護保険サービスの利用という切り口から、それらの課題を抱えた人や家族を支える立ち位置に身を置いている。今まで以上に、介護保険サービス利用の支援に取寄せず、その家族固有のシステムや生き方、背景を理解するための関わり方について研鑽を積まなければならない。また、こうした課題は容易に解決することが困難であり、関わる介護支援専門員もストレスに耐えながら実践を重ねることもとなる。事業所内のスーパービジョンや関係機関との連携においてストレスに耐えながら実践する体制をとっていく。</p> <p>地域で暮らす高齢者の多様な生き方や違いを認め合い、様々な課題を抱えつつ生活している人々を寛容に受け止めることのできる「共生社会」を目指し、独居や高齢世帯であっても「私を分かってくれる人がある」と感じる「つながり」を形成し「人間としての尊厳」が保たれ「幸せ」な生活を実現するための支援を実践していきたい。</p>	
重点項目	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. お客様を地域で支えるケアマネジメントの実践</li> <li>2. 安定経営と業務改善の取り組み</li> <li>3. 地域の基盤づくり</li> <li>4. 地域を支えるソーシャルワーク・ケア育成</li> </ol>	
【上半期評価】	【最終評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスの流行により、ケアマネジャーの訪問等が計画通りできず、お客様との対面の関わりが希薄となった。</li> <li>・しかし、そのことで、日ごろの関わりがいかにもその人を孤立させないために大切だったかを改めて感じることなってきた。</li> <li>・話しを聞くことでその人が承認され、関係性の中で自分の存在を感じて一人ではないことを感じる。「ふれて」ともに「かたじけ」の理念の大切さを再認識した。</li> <li>・きたひろサービステック居宅部会が7月まで開催できず、施策の解釈や社会資源等周囲の状況は共有しにくく状況となった。改めて、ケアマネジャーの事業所を起した必要性を感じた。</li> <li>・4-5月はコロナウィルス流行の影響で、新規の依頼が少なかつた(特に通所系)が、以降は、増員したこともあり月平均を上回る数の依頼を頂いた。(上半期の新規～昨年：45件、今年：52件)</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の研修・事例検討が少なく学びの機会がない。</li> <li>・主任介護支援専門員の資格更新に必要な研修受講の機会が少なく、資格更新に支障が出ないよう居宅部会等で研修を企画していく。</li> <li>・ICT化について、現状で取り組める部分が明確になつたため実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスの流行により、年間通して対面の面談・サービ担当会議等を控えながらの実践となった。対人援助の面談に関する研修や会議やカンファレンスでの事前準備について学び、限られた時間でお客様との関係の構築と課題解決への支援を行った。</li> <li>・コロナ下ではあったが年間の新規受け入れ件数は97件と昨年度の96件を上回った。増員による受け入れ態勢の成果と考えている。</li> <li>・経営面では、今年度は増員(ケアマネジャー未経験者を含む2名)の影響で一人当たりの担当件数が低く収支差は昨年ほど稼いでいないが、次年度は年間通して一人当たりの担当件数は高く維持できる見通しとなっている。</li> <li>・コロナウィルスの影響もありメンタルヘルス不調となつた職員が数名おあり、うち1名は2か月間の求職後復職した。求職中も他の職員の努力で支援を継続、件数も落とさず実績を残した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで相談やカンファレンスは対面を基本としてきたが、この機会に、対面でなければならぬこと、オンラインでできることを整理した。</li> <li>・次世代のリーダー育成として、スーパービジョン関係によるお互いの機会、ミニ講座等の主体的な運営、資格取得による成長を促していきたい。</li> </ul>

2020年度 北広島グループホーム四恩園 事業総括

主管 グループホーム課

事業方針	重点項目	【最終評価】
<p>グループホームでの生活は、馴染みの関係性の継続として捉え、認知症になっても安心した環境の中でお客様それぞれの人生を最期まで全うできるよう支援していく。専門性を発揮し多方面からアプローチできるよう知識、技術を深めるとともに、ケアの質向上に努め、その人らしさを追求し続ける事で細やかな支援を継続していく。また、感染対策予防に努め、研修の実施やマニュアルを通して職員の意識を高める。働きやすい環境づくりに努めることでサービスの安定を図り、チームとしての力をつけて認知症ケアに取り組んでいきたい。また、稼働率100%を目標とし理念をもとに日々の関わりの中で積み上げていきたい。地域とのつながりが日常の生活の中で継続していきけるよう、運営推進会議、ボランティア、市民スタッフ、家族の集いのみなさまとの関係性を継続し、イベント活動等にも取り組んでいく。</p>	<p>1. 多面的な視点でその人を捉えケアの質の向上を図る。                      ① 職員が担当しているお客様の個人史を踏まえ、アセスメントの視点を広げ想像力を深める。                      ② 個別シートを活用しグループワークを通して実践力を得る。                      ③ 事例を通して職員全体で要因分析の視点やコミュニケーション力の向上を図る。                      ④ 感染対策について、基本的知識、手順等の確認実施。</p> <p>2. 人材育成とチーム力の向上                      ⑤ 業務の見直し（日勤業務内容を中心にムリ、ムダ、ムラの排除）。                      ⑥ 資格取得に向けて目標を持つことで知識をつけて取り組める力を得る。                      ⑦ 職員の心得など（チェックシート）を活用し、客観的な視点で自己を振り返るよう取り組む。                      ⑧ 職員個々の役割を明確し、職員同士が相互に関わり合いチーム力を深めていく。</p> <p>3. 地域とのつながりを大切にお客様が生き生きと暮らす喜びを感じて頂けるよう努める。                      ⑨ 運営推進会議、ボランティア、市民スタッフ、家族の集いのみなさまと一緒に日々の馴染みの関係性を継続しイベント活動にも取り組んでいく。                      ⑩ お客様が今まで大切にしていたものを継続できるようさまざまな交流を活用し、生活に楽しみを感じて頂ける様取り組む。</p>	<p>【上半期評価】</p> <p>1. お客様のこれまでの生活や、既往歴、ご家族との関係性等を含め、担当職員が他職員へお伝えし、これからも大切にしたいケア内容を報告し、統一したケアが継続できるよう取り組み行っている。少しずつではあるが実施している。感染症の対策も今回感染防止のための取り組みを具休的にコミュニケーションすることができた。手順や消毒エッセツ表の見直しをしている。下半期でも継続できるよう再度資料活用し周知していきたい。</p> <p>2. 専門的知識を深めるためであったが、研修会への参加が今年度は難しかった。小規模でGH会議等活用し少しずつ進めていきたい。職員同士相談できる力を個々に養い、自発的に行動し互いに協力し合える関係性を醸成してきた。地域や家族とのつながりは、実際に集まって行うことが難しい時期であったため、できるだけお手紙や電話、zoom を活用していた。</p> <p>【最終評価】</p> <p>1. お客様、職員の健康状態について感染対策に最善の配慮をおこなってきた。感染蔓延防止に今後継続的な対応が必要。職員が担当しているお客様のケア内容について、再アセスメント内容などを検討し統一されたケアに今後とも取り組んでいきたい。                      2. 認知症実態者研修、認知症リーダー研修など、今後に向けて研修に参加しケアの質の向上に努めていく。                      3. 今年、地域との交流、行事など取り組みができていなかった。ご家族とも実際に集まっておこなうことが難しくなってきたため、今後も電話連絡やホームページ、ZOOM 面会などを活用し継続的な関係性を継続していきたい。</p>

2020年度 北広島複合型サービス四恩園 事業総括

主管 複合型サービス課

事業方針	重点事業項目	【最終評価】
<p>1. 「住み慣れたこのまちで暮らし続けたい」そうしただお客様やご家族の思いを支え、その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現していくため、地域に開かれた家庭的な事業所を目指します。生活の主人はお客様です。「～したいの実現」「生活の継続性」を大切に、なじみの介護・看護職員が「通い」「泊り」「訪問」「訪問看護」のサービス提供し24時間・365日、切れ目のない支援をおこないます。</p> <p>2. 介護と医療の連携のもと地域で暮らし続ける事ができよう、認知症の方や医療ニーズのある方の在宅生活継続を支援します。訪問診療医療機関との連携により、看取りの希望にも対応していきます。</p>	<p>1. お客様本位の自立支援介護、個別性の高いサービス提供に努めます。                      ① 個々のお客様の生活の意向を踏まえ、その人固有の価値観に基づいた生活を継続できるよう、なじみの関係を活かした個別的な自立支援介護に努め、生活リハビリ・看護サービスを提供します。                      ② お客様、ご家族の意向を確認し、いつでもつながる安心を提供するため、随時の相談援助や介護相談、随機応変なサービス提供体制を維持し他機関とも連携していきます。                      2. お客様のより良い生活、健康管理のため、主治医やかかりつけ薬局、サ高住しおん、グループホーム四恩園、訪問リハビリ、レンタル事業所との連携を強化します。（看取り対応も含む）                      ① 主治医との連携を取るため、看護サービスの提供、訪問診療の立ち合いや受診同行、主治医とのメール等の情報共有により、お客様が適切な医療サービスが利用できるよう支援します。                      ② ご本人がより安全に自分の能力を活かして生活できるよう、訪問リハビリや居宅療養管理、福祉用具等活用します。                      3. サードの感染予防対策を徹底し、お客様や職員の健康管理に努めます。                      ① 研修やストレスマネジメントにより、職員の技術や知識、倫理の向上をはかります。                      ② リスクマネジメント（シートの活用、車両管理、コンプライアンス）に努めます。                      4. 地域との繋がりを、法人としての地域貢献に努めます。                      運営推進会議、ボランティアや市民スタッフ、家族との繋がりを活用し、多様な交流と地域行事や外出機会を作っていきます。地域の一人として楽しみある生活を送れるよう支援していきます。</p>	<p>【上半期評価】</p> <p>1. まだまだ改善の余地はあるが、お客様本位のサービス提供に努めている。接遇態度については言葉遣いやお客様へ向き合う姿勢など問題意識。判断予防やお客様の安否を目的としたポジティブな姿勢と課題が多い。                      2. 他事業所との連携を強化、乗換準備にも取り組む。感染対策はお客様家族の体調不良などにも感度の高い対応ができてきたが、気を緩めることなく取り組む必要あり。                      3. 3密を避けるため会議を時間短縮。まとまった時間での研修ができていないが、ケーススタディを通じて学ぶことを意識している。                      4. コロナ感染予防対策により地域交流や外出行事が中止。複合型内での季節感を感じる行事などに振り替えている。感染予防対策に努め、家族や地域との交流は制限を設けながらの運営であったが、日々の体調管理や乗換準備に努め成果を上げている。今後も新たな生活様式に準拠し感染予防に努めつつ、お客様の心身の健康への影響も確認しながら運営していくことが肝要である。</p> <p>【最終評価】</p> <p>1. 改善の余地は多いが、お客様本位のサービス提供に努めている。接遇態度については言葉遣いやお客様へ向き合う姿勢など問題意識。判断予防やお客様の安否を目的としたポジティブな姿勢と課題が多い。一部お客様の重傷化もあるため、主治医との密な連携と家族のサポート、日々の体調管理や乗換準備に努め成果を上げている。                      2. 後半はかかりつけ薬局との連携により、業務改善、乗換準備の低リスク化が図れた。                      3. ケアパレットの導入により、ICT化の取り組みが始まる。記録の効率化、業務改善、情報の共有の強化に着手。しっかりと活用できるよう研修も行っていく。                      4. コロナ感染予防対策により地域交流や外出行事が中止。複合型内での季節感を感じる行事などに振り替えている。感染予防対策に努め、家族や地域との交流は制限を設けながらの運営であったが、日々の体調管理や乗換準備に努め成果を上げている。今後も新たな生活様式に準拠し感染予防に努めつつ、お客様の心身の健康への影響も確認しながら運営していくことが肝要である。</p>

2020年度 北広島訪問看護ステーション四恩園 事業総括

主管 訪問看護課

<p><b>事業方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社会情勢を踏まえ、在宅生活を送る療養が必要な方々やそのご家族が、住み慣れた地域でできるだけ長くその方らしい生活を送れるように、医療・福祉・保健の連携・ネットワークを構築する一助となるよう関わる。また、予防的な視点を持ち、医療面のみならず総合的な知識や技術を習得できるように各々が努力し、ステーション自体の質向上を図る。</li> <li>・訪問看護が療養生活を支える上で重要な役割を果たすこと、最期の過ごし方や看取り等についてより多くの住民や医療・福祉従事者を知ってもらうための啓蒙活動を実施し、地域とのつながりを深める。地域包括ケアの担い手としての役割を認識し、次世代の育成も視野に活動を展開する。</li> <li>・市内訪問看護ステーション間の連携を強め、市民が受けられる在宅医療のケアの質向上を図る。</li> <li>・感染予防対策を徹底し、安心して訪問看護を利用いただけるようにする。</li> </ul>	<p><b>重点項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アセスメント力を高め個別性を尊重した看護計画作成と看護実践を行う。目的を持った研修を実施し、当ステーションの質向上を目指す。</li> <li>2. お客様の療養生活における目標設定をサポートし社会活動・社会参加を積極的に支援する。モニタリングを実施し、お客様やご家族の意向をサービスに反映させる。</li> <li>3. 地域包括ケアシステムの担い手としての役割を認識し、医療従事者・介護事業者・地域住民への啓蒙活動を実施し、訪問看護の普及への地域活動を実施する。</li> <li>4. 市内訪問看護ステーション間の情報交換と連携を図る。</li> <li>5. グループホーム入居者（しおん・ヤマキ）の健康管理や看取り支援の充実を図る。</li> <li>6. 次世代育成への取り組みを実施し、事業継続への担保を図る。</li> <li>7. 日頃の感染予防対策を万全にし、利用者とそのご家族、スタッフ自身の健康管理に努める。</li> </ol>	<p><b>【上半期評価】</b></p> <p>管理者交替のため上半期の事業計画は実行されたいなかった。7月以降計画の遂行と見直しを実施した。</p> <p>看護師2名業務稼働のため、医療対応ケースは一部他事業所へ移行した。新規ケースは定期巡回利用から医療対応の2件だった。外出行事は感染対策が十分でないことから今年度は見送ることとした。職員研修や面談が実施できていないため下半期に内部研修が実施できるように企画する（8月ヘルパーと合同研修実施。内容によっては合同研修を企画）新入職員が10月から配置された。訪問看護師、福祉施設における看護の役割などOJTを通して現任看護師とともに指導を行っていきたい。</p> <p><b>【最終評価】</b></p> <p>新入職員が配置され他事業所と連携を取りながら訪問ができていた。入院等で訪問終了ケースが続き、新規利用で件数を維持することはできなかった。定期巡回サービスとの連携が強化、ICTの活用により情報の共有が可能となったことでミーティング時点を削減、ペーパーレス記録となり時間外記録等を行うことが少なくなった。研修では、オンライン様に行い、ストーマケアについて学び、お客様にフィードバックすることができた。内部研修でリハビリについて再研修を専門職から受けることができ自身の実技を検証できた。今年度は感染対策を重点に置いてきたため外出行事や集合の機会がなかった。次年度は新しいスタイルで地域とつながる方法で活動していきたい。</p>
---	--	--

2020年度 ホームヘルプサービス 事業総括

主管 訪問介護課

<p><b>事業方針</b></p> <p>お客様一人ひとりの「その人らしい生き方」を継続するために、その方の持てる力を見つけ、生活の中でサポートできる介護を、基本理念に基づき実践します。</p> <p>訪問サービスを安心して受けていただけるように感染予防策を徹底します。</p> <p>従来の訪問介護とは別な形で生活を支える定期巡回随時対応型訪問介護看護を地域や連携多職種の方へ知っていただくように情報を発信していきます。</p> <p>ホームヘルパーの魅力伝え、新人ヘルパーの獲得と育成を行い、訪問件数の増加に努めます。</p>	<p><b>重点事業項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「その人らしい生活とはなにか」をチームで統一したケアで実践する。</li> <li>2) 訪問時の感染対策が各自さちんとできる。</li> <li>3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実践と地域へ周知する。</li> <li>4) ヘルパーの質の向上に努める。</li> <li>5) 業務の効率化をはかる。</li> <li>6) 人材確保に努める。（在籍ヘルパー離職防止と新人ヘルパー確保）</li> </ol>	<p><b>【上半期評価】</b></p> <p>2020年3月以降新型コロナウイルス感染対策により、お客様の利用数が一時減少していたが、介護・障がいにも新規ケース紹介は月4~9件、定期巡回利用者は月8~10件で推移した。全体で集合したミーティング等は時短、回数を減らして実施。踏み込んだ検討はできていない。ICTを活用した訪問介護では、情報共有ができ、周知事項はタイムリーに行えた。お客様ファイルの減量化は途中であり、下半期への課題。新人ヘルパー1名採用、OJT、面談を定期的に実施し継続して勤務ができています。感染対策については研修を実施、発熱時の対応も周知徹底ができていた。</p> <p><b>【最終評価】</b></p> <p>感染対策は各ヘルパーの意識が高く体調不良のお客様に対し必要とされる支援の継続ができた。定期巡回サービス利用は6~10名と伸び悩みがあったが、入院できないケースへ迅速な対応ができていた。ICT活用し情報の共有が可能となったことが迅速な対応が昼夜問わず行えた。研修については感染対策から、グループ研修は行わず視聴・体験研修に切り替えた。個人研修テーマの内容が多様化され個人のテーマが全体のテーマへ共有ができるようになってきている。新人採用は1名で退職2名、病欠1名と職員数が増えていない。</p>
--	---	---



2020年度 サービス付き高齢者向け住宅しおん 事業総括

主管 サービス付き高齢者向け住宅しおん 事業総括

事業方針	
<p>お客様が今まで暮らしてきたいろいろな思い出や関わりを大切に、一人一人の思いに寄り添い、状況の変化にも迅速に行動し、お客様に安心・安全に暮らしていただきます。 また、お客様の自分らしい生活がいつまでも継続できるよう、健康寿命を意識した生活を送ります。 お客様が長い間築き上げた人間関係や地域との繋がりを大切にしつつ、入居者同士の新たな交流、そしてともにに関わる地域の人々や職員との新しいコミュニティを築き、楽しく、充実した日々を過ごしていただきます。 サービス付き高齢者向け住宅しおんは、お客様が自分らしい生き方で、楽しく幸せな終の棲家になることを目指します。</p>	<p>重点事業項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染予防を徹底し、日々の暮らしの中で安心・安全を実感できる住宅にします。</li> <li>2. 人とのつながりの中から、楽しみや幸せを共感できる拠点にします。</li> <li>3. 自立支援を促し、健康寿命を延ばします。</li> <li>4. 快適な住環境を目指して、建物管理や環境整備を行います。</li> <li>5. 職員の質の向上を図ります。</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <p>コロナ感染で行事等は全てキャンセルになっており、またお客様同士が密にならないよう取り組みを行っている。そのためお客様が孤立しないように目配り気配りを心がけた。一人で歩いている時には一緒に歩きながらの声かけや、普段より頻繁に部屋を訪ねて話を聞くなどの工夫をした。 お客様も外出を控えるなど感染予防には協力的で、ご家族も十分状況を考慮し面会を控えてくれたり、その分日常生活に必要な買い物等職員の負担も増えた。 病気の進行や高齢による体力低下、認知症の進行等以前にも増して一人一人のお客様に合わせた回数も多く増えている。対応しなければならぬお客様も増えてきている。日常生活を送っていくために必要な関わりは十分承知している。 突発的に介助が生じる場面も出ており、職員に介護技術も必要となっているため今後は研修等を行っていく。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>コロナ感染対策に取り組んだ一年であった。換気や消毒の仕方、お客様の健康チェックなど常に振り返り、内容を検討しながら実施してきた。お客様にも手洗い、消毒、マスクの着用等感染予防をお願いしたが認識できない方もおり、職員が手を貸すなど徹底するのに時間が掛かった。 行事はほぼ中止になり、ご家族との面会自粛が開かれ、またお客様同士のコミュニケーションも控えて頂いた。お客様の活動が制限され大変ご不便をかけた一年であった。その中で体育館を開放したことはお客様に運動不足だけではなく、精神的ストレスの解消にも役買った。来年度も体育館の使用に感度改め体感していた。来年度も体育館の使用については、お客様の有意義な時間が過ごせるよう工夫を行っていく。 移動や非世など、職員の手が必要になってきているお客様が出現し訪問介護の調整を行っているが、介護保険制度では担えない部分も出てきており、今後その調整が増えると考えている。</p>

2020年度地域サポートセンターとともに事業総括

主管 地域サポートセンターとともに

事業方針	
<p>～ 更なるつながりを求めて ～ 私たちは更なる人と人とのつながりから生きることの喜びを創造し笑顔があふれる支え合いのまち（共生社会）をつくるための挑戦を続けていく。 地域サポートセンターとともに拠点をとして、保健・医療・福祉サービスで生きづらさを感じている人の権利を擁護し喜んでいただくサービス提供に努め、社会福祉法人の独自性、公益性、非営利性などを發揮する。そして制度に基づくサービスだけでは補えない地域の生活課題解決に向けて、地域の人々・行政とともに三位一体となり積極的に取り組む。誰もが安心して暮らすことのできる地域社会となるように。</p>	<p>重点事業項目</p> <p>北広島市において、平成22年3月につくられた北広島団地活性化計画の基本方針に3つの理念がある。一つは「北広島団地に住み続けられること」、二つ目は「将来、住民となる次世代のこと」、三つ目は「北広島団地の魅力アップ」。私たちはこれら3つの理念のもと、四つ目に「感染予防と対策」を加え、地域サポートセンターとともにが持つ特性を有効に活用し、事業計画に示す20項目の取り組みを実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北広島団地に住み続けられること (賑わいや交流の場づくり、地域コミュニティの再生、安心して暮らせる環境づくり)</li> <li>2. 将来、住民となる次世代のこと (住み替えの支援、子育て世代の転入促進)</li> <li>3. 北広島団地（さんぽ街）の魅力アップ (まちの魅力づくり、地域資源の活用、情報の発信)</li> <li>4. 感染予防と対策</li> </ol>
<p>【上半期評価】</p> <p>・北広島団地に住み続けられること コロナ禍において館内での交流、イベント・講座の開催は休止したが、ZOOMなどのインターネットを活用した、オンライン交流、オンライン体験を開始するきっかけになった。又、これからの時代においてタブレットやインターネットを活用することで、生活課題の解決や人とのつながりに活用すべく、新規のタブレット保持者を増やす活動も合わせて行った。 ・将来、住民となる次世代のこと 殆どの取り組みはコロナ禍において休止となったが、法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできている。又、ヘルパーによるタブレットを活用して多職種連携を実現している。 ・北広島団地（さんぽ街）の魅力アップ 通信は毎月発行するも、ホームページを活用した情報発信がうまく出来なかった。オンラインミニ講座企画も、法人内でコロナ陽性者は未だ出ていないが、それを疑う場面は多々あり、実証的な訓練ができている。新たな発見と課題については今後整理していく。</p>	<p>【最終評価】</p> <p>・北広島団地に住み続けられること ZOOMなどのインターネットを活用した、オンライン交流、オンライン体験を定期開催出来ている。又、これからの時代においてタブレットやインターネットを活用することで、生活課題の解決や人とのつながりに活用すべく、新規のタブレット保持者を増やす活動も継続している。 ・将来、住民となる次世代のこと 殆どの取り組みはコロナ禍において休止となったが、法人事業においては、事業所間連携とシームレスな体制でお客様をサポートできている。タブレットを活用した事業所間連携を強化している。 ・北広島団地（さんぽ街）の魅力アップ 通信は毎月発行出来た。オンラインミニ講座を定期開催している。 ・感染予防と対策 法人内でコロナ陽性者は未だ出ていないが、それを疑う場面は多々あり、実証的な訓練ができている。新たな課題については今後整理、訓練を実施していく。</p>



式2

2020年度 食事検討委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	「食へることは生きること」を念頭に置き、サービズを利用する人の食事のあり方等、他職種連携の下で口から食へる食事のあり方を検討することを目的とする。	実績	評価	評価内容
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経口摂取が困難な人への日常の食事のあり方を検討すること・食事の姿勢や環境に関すること</li> <li>2. 高齢者、要介護者の食事に関する情報提供や啓発活動に関すること</li> <li>3. 施設内の行事食に関すること・お客様の嗜好にかんすること・食に関する研修の企画、立案</li> <li>4. 各拠点給食サービズ課との連携により給食提供支援の負担軽減を図る。</li> </ol>			
委員	委員長:清水孝修 委員:長谷川倫子 土池康介 岡崎哲也 布施優子 畑中悠	事業内容	評価	実績
計画	1 委員会の主旨説明、各月定例会 委員会の取組み、研修予定作成	各拠点給食サービズ課状況把握及び食事提供方法の検討	4	給食課との連携において外部食事提供の実施検討に参加。お客様に喜んで頂きつつ給食職員体制の整備に協力。感染予防により地域の権し自肅の中委員会活動として各拠点へ氷菓の提供を行い好評。下半期外部給食アソケート作成し障がい施設へ情報提供予定。
	2 各拠点への食事提供の協力			高齢者施設全体で年度通しお客様に喜ばれる外部食事提供の検討を実施し給食職員の研修、勉強会等の機会とも重ねる事ができた。委員内打ち合わせは集合形式で行えない事で日常的に意見交換を实的に意図した機会が持たず次年度の課題。
	3 外部給食提供の資源確認と各給食拠点への情報提供			
	4 各拠点食事提供状況及び職員状況の確認			
	5 障がい施設委員会との情報交換 各拠点への食事提供の協力			
	6 年間活動振り返り・反省・次年度計画			
備考	2020年8月相談援助実習学生の活動参加同行にて各拠点氷菓提供と事業所紹介見学を実施。			

評価基準：  
 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

式2

2020年度 防災対策委員会 事業総括

主管 法人本部

3	次年度計画立案 定例委員会 3/19	4	3/19 コロナ関係者が施設では発症なかった。継続した対策や研修が必要。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点の部署における感染状況を把握し委員会で報告する。</li> <li>・感染対策等の助言を各部署へ伝達する。</li> <li>・障害施設、高齢者施設の拠点における部署ごとの感染研修の助言も行う。</li> </ul>		

評価基準：  
 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

式2

重点項目	本委員会は、火災発生や自然災害に備えるとともに、発生した被害を最小限にとどめられるよう防災訓練の企画、立案を行い、その結果を踏まえ課題を抽出し、チーム会議、幹部会議へ諮問する役割を持つ。また災害時に使用する機器の定期的管理を行うこととスムーズな活用が出来るようにすることを目的とする。			
委員	[委員長]大日向伸也 [委員]新沼 右文 吉田 匡貴 毛利 秀景			
計画	項目	事業内容	実績	評価内容
	1	消防計画に関すること		障がい施設との打ち合わせ実施
	2	防火対策に関すること		非常災害対策計画・避難確保計画・事業継続計画策定に向けた資料の読み込み
	3	自然災害に関すること		コロナ禍でも実施できる内容を検討
	4	防火、自然災害の研修に関すること		
備考	5 避難訓練等での各施設、地域住民との協力体制に関すること			

評価基準：  
 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

2020年度 研修委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	法人職員の成長や充実感の向上に向けて、多様な学びの場を創出する 1. 法人で計画されている研修会と連携し、基本理念や行動規範に基づいた人材育成に貢献する 2. 各委員会が企画している研修会や外部研修等の情報を収集し、わかりやすく周知することで、学びの機会を広げる 3. 各課単位でどのような学びを求めているかリサーチすると共に、多様な人材育成の形を模索する。	
	委員 [委員長]林 晃市 [委員]皆木 有子 泉 正人 長谷川智彦	
計画	月	事業内容
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>□各種研修運営のバックアップ</li> <li>・研修会実施時は参加者集約・会場設営・受付・後片付け等の協力</li> <li>・法人外研修の参加集約等への協力</li> </ul>
計画	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>□研修アンケートの実施</li> <li>・各課へ望む研修会のアンケート書式を作成</li> <li>・アンケートの実施・集計</li> <li>・法人や委員会等にアンケート結果をフィードバック</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>□職員への多様な学びの場、成長の場を創出する為の準備期間として、どのような方法があるのかをまとめて整理する</li> <li>・個人や部署単位で内外問わず発表・情報公表する仕組み作りを模索</li> <li>・研修という形以外での人材育成方法を模索</li> <li>・福祉の仕事の魅力を知る場、北海長正会の魅力を知る場の創出を模索</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は障がい施設研修委員会との意見交換などにも力を入れていきたい。</li> <li>・一度試験的に法人内部のオンライン研修を企画・実施していきたい。</li> </ul>	
備考	<p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>	

2020年度 広報・個人情報保護委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	1) 施設における事業の透明性を図り、サービス利用者に限らず広く地域全体へ法人の取り組みの広報活動を担う。 2) 個人情報、法人情報の適切な活用、管理方法を検討し提案を行う。	
	委員 委員長：早川 彩子 委員：玉邑 亜矢 鈴木 優子 佐々木祐輔 松沢 恵 伊東賢志朗	
計画	項目	事業内容
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 機関紙の発行</li> <li>定期的機関紙を発行する。そのための記事・写真の収集、編集を行う。</li> </ul>
計画	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ウェブサイトの運営及び活用</li> <li>随時更新及び2年ごとにトップページのリニューアルを行う。</li> <li>各事業所ページの効果的な活用を検討し作成する。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ SNS等の不適切な活用の防止に関する検討</li> <li>セキュリティポリシー・ネットリテラシーなどICT機器やインターネットの使用に関するルールの提案を行う。</li> </ul>
備考	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 研修の企画、立案</li> <li>セキュリティ・ネットリテラシーに関する研修を行う。(障がい施設との合同研修)</li> </ul>
	5	その他
備考	<p>評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)</p> <p>3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)</p> <p>1. 全くできていない</p>	

## 2020年度 快速送迎委員会 事業総括

主管 法人本部

重点項目	委員	事業内容	実績		
			評価	評価内容	
重点項目	・お客様に快適にご利用頂ける車庫や環境を維持する為に、公用車の清掃や管理についてマニュアルを作成し、車庫担当者に限らず車庫を使用する職員全員に対し車庫に対する意識向上に努める。 ・安全運転・交通事故防止に関する啓発活動を行々と共に、法人全体での研修を実施する。 ・送迎カーブス、車庫の調整等をスムーズに行なう事が出来るよう、車庫情報を集約しリスト化する。 ・また、車庫のリースや購入等に関し、法人に対し提言を行なう。 (委員長) 奥山 智直 (委員) 佐藤 吉朗 神原 英明 林 大輔	4	定例委員会 顔合わせ	4/28 開催	月一回ペースで定例の委員会を開催。高齢施設所有の全車庫をリストにし点検化。年度内2回評価見直し予定。更に「高齢施設車庫更新計画」を新たに作成し、車庫購入やリース継続等の目安にする事とした。7月に既がい、施設と合同の委員会を開催。活動内容報告実施。
		5	定例委員会 所有車庫評価①	6/09 開催	4
		6	定例委員会 車庫購入・リース計画作成	6/26 開催	4
		7	定例委員会	7/20 開催	4
		8	定例委員会	8/26 開催	4
		9	定例委員会 上半期振り返り 所有車庫評価②	9/11 開催	4
		10	法人合同委員会 冬タイヤ購入確認	10/29 開催	3
		11	定例委員会 法人全体研修(オフイスブレイン)		3
		12	定例委員会	12/08 開催	3
		1	定例委員会 所有車庫評価③		3
		2	定例委員会 下半期振り返り 事業計画作成		3
		3	法人合同委員会 夏タイヤ購入確認	3/25 開催	3
備考					

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

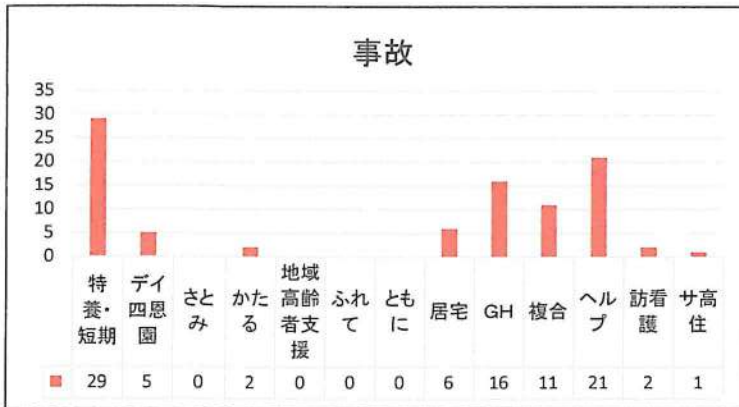
## 2020年度 カイゴみらい委員会 事業総括

主管 法人本部

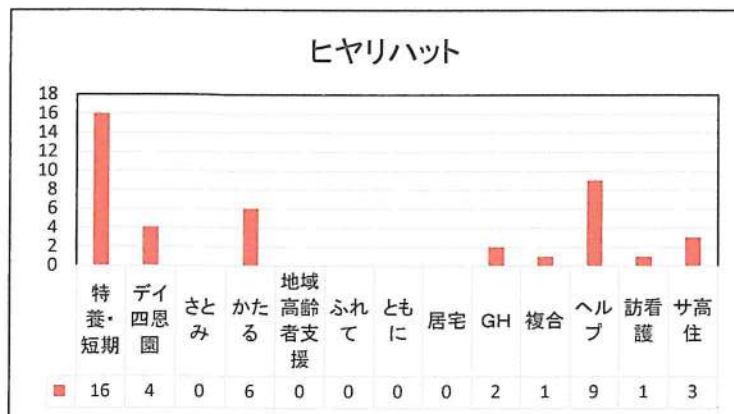
重点項目	委員	事業内容	実績		
			評価	評価内容	
重点項目	本委員会は若手職員を中心に人材確保の方法について検討する。 小、中、高校生や福祉専門職養成機関に限らない幅広く社会福祉、介護福祉の魅力を伝えるための企画、立案を行う。 ・社会福祉、介護福祉の仕事の啓蒙活動(若年層：小、中、高校生を含む) ・事業紹介、相談会に関する事 ・広報活動に関する企画立案(ハピセンター・広報委員会と協働) 委員長: 秋田 梢 副委員長: 中尾真紀 委員: 渡辺菟美 石田あゆみ 阿部春香 高屋里奈	1	定例委員会 毎月第3木曜日 18:30	5	パンフレット作成 就職相談用クリアファイル作成
		2	事業紹介用のパンフレット等作成	5	今後の開催状況を確認していく。
		3	オープンカフェ開催に向けての情報収集・見学	1	委員会の開催はできなかつたが相談実施。
		4	障がい施設と合同委員会の開催	3	今後の開催方法の再検討。新しい開催方法の検討。
		5	障がい施設と合同でのオープンカフェ開催	1	今後の新しい開催方法の検討。開催方法の再検討。
		6	広報活動・啓蒙活動の企画立案	1	オンラインでの参加
		7	各就職相談会・就学セミナーへ参加	5	対面開催ができない状況を確認し今後の活動を検討した。
		8	社会福祉、介護福祉の魅力を伝える為の研修会への参加、勉強会の開催	1	
		備考			

評価基準： 5. 良くできている (期待した以上の成果が得られた) 4. できている (期待した成果が得られた)  
 3. 十分ではない (期待した成果が得られなかった) 2. できていない (見直しが必要)  
 1. 全くできていない

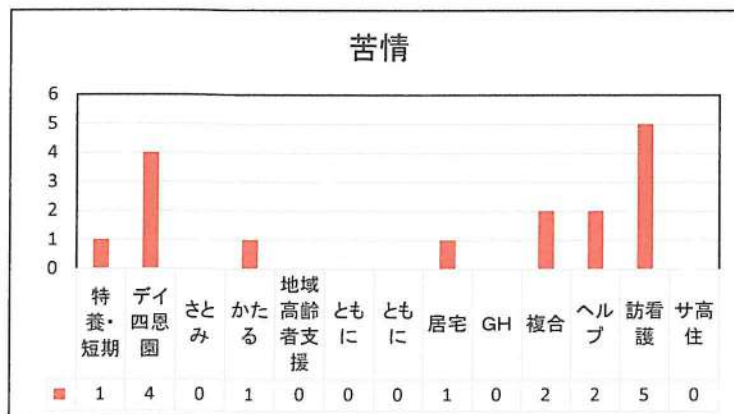
2020年度高齢者施設リスクマネジメント結果(2020. 4～2021. 3)



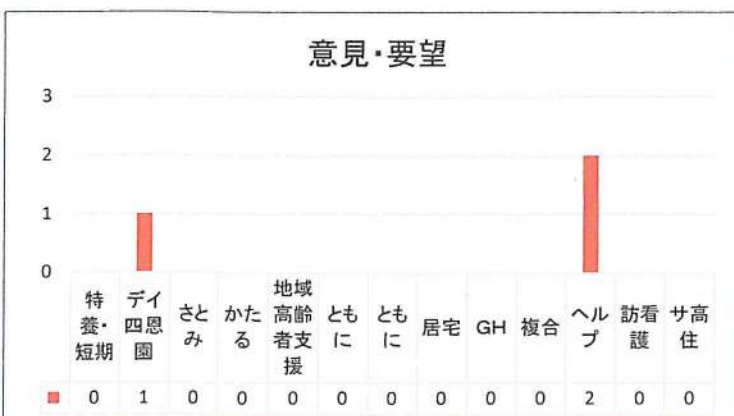
事故		
特養・短期	29	31.2%
デイ四恩園	5	5.4%
さとみ	0	0.0%
かたる	2	2.1%
地域高齢者支援	0	0.0%
ふれて	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	6	6.5%
GH	16	17.2%
複合	11	11.8%
ヘルプ	21	22.5%
訪看護	2	2.1%
サ高住	1	1.2%
計	93	100.0%



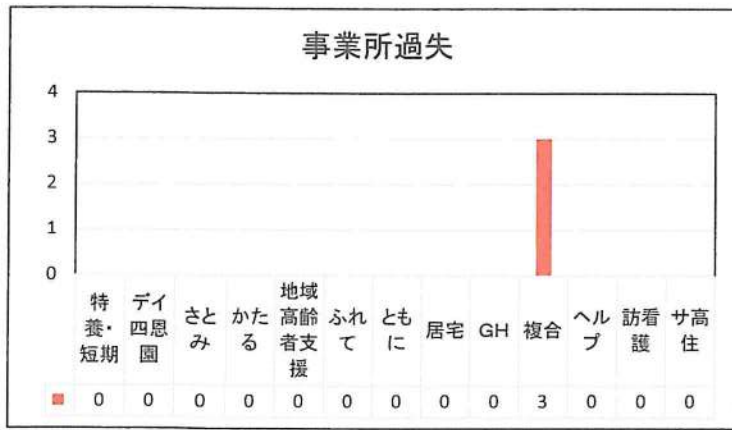
ヒヤリハット		
特養・短期	16	38.0%
デイ四恩園	4	9.6%
さとみ	0	0.0%
かたる	6	14.3%
地域高齢者支援	0	0.0%
ふれて	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	2	4.8%
複合	1	2.4%
ヘルプ	9	21.4%
訪看護	1	2.4%
サ高住	3	7.1%
計	42	100.0%



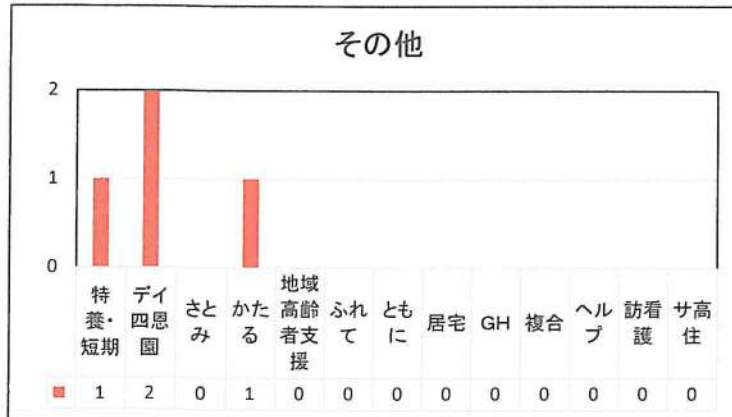
苦情		
特養・短期	1	6.3%
デイ四恩園	4	25.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	1	6.3%
地域高齢者支援	0	0.0%
ともに	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	1	6.2%
GH	0	0.0%
複合	2	12.5%
ヘルプ	2	12.5%
訪看護	5	31.2%
サ高住	0	0.0%
計	16	100.0%



意見・要望		
特養・短期	0	0.0%
デイ四恩園	1	33.4%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	0	0.0%
ともに	0	0.0%
ともに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	2	66.6%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	3	100.0%



事業所過失		
特養・短期	0	0.0%
デイ四恩園	0	0.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	0	0.0%
地域高齢者支援	0	0.0%
ふれて	0	0.0%
とみに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	3	100.0%
ヘルプ	0	0.0%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	3	100.0%



その他		
特養・短期	1	25.0%
デイ四恩園	2	50.0%
さとみ	0	0.0%
かたる	1	25.0%
地域高齢者支援	0	0.0%
ふれて	0	0.0%
とみに	0	0.0%
居宅	0	0.0%
GH	0	0.0%
複合	0	0.0%
ヘルプ	0	0.0%
訪看護	0	0.0%
サ高住	0	0.0%
計	4	100.0%